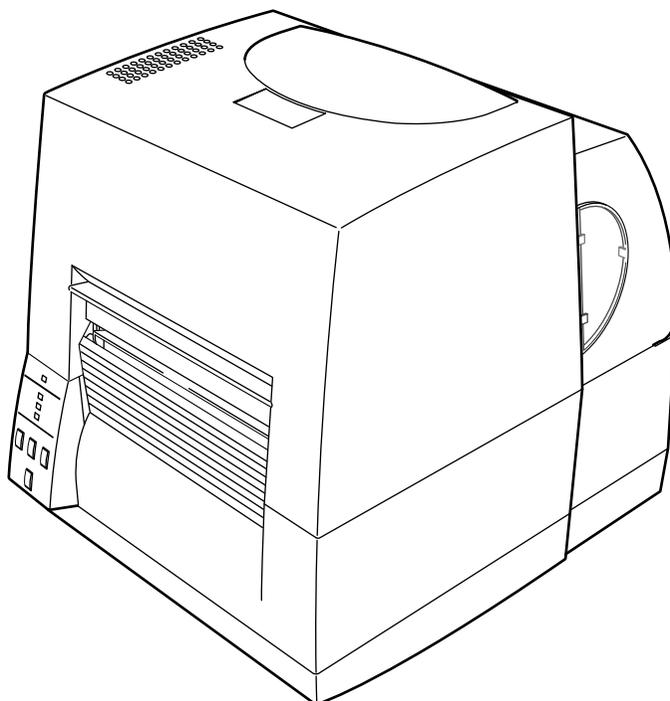
LABEL PRINTER
LP-100R

ラベルプリンタ
取扱説明書

- ご使用の前に必ずこの取扱説明書をお読みください。
- この取扱説明書と保証書は必ず保管してください。
- 本書の内容の一部または全部を無断で転載する事は禁じられています。
- 本書の内容に関しては、将来予告なしに変更することがあります。

はじめに

このたびは、マックスラベルプリンタLP-100Rをご購入いただき、誠にありがとうございます。本機はラベル作成専用ソフトウェア「楽らくラベル」で、簡単な操作でどなたにもラベルレイアウトを作成することができ、そのレイアウトを、コンパクトフラッシュカード（CFカード）に書き込み、専用キーボードにセットすることで、パソコンの無い環境でもラベル発行がおこなえます。

この取扱説明書は、機器の機能、操作方法、取り扱い上の注意などについて説明したものです。ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みいただき、正しくお使いください。
お読みになった後は、ご使用時にすぐにご覧になれるところに、大切に保管して下さい。ご使用中に操作がわからなくなったときなどにきっとお役に立ちます。

ご注意

● 本書の内容は、性能・機能の向上などにより、将来予告なしに変更することがあります。また、実際の画面表示内容が本書に記載の画面表示内容と異なることがあります。
● 本書の内容に関しては万全を期していますが、万一ご不審の点や誤りなどお気づきのことがありましたら、お手数ですが当社営業担当までご連絡ください。
● 本書の内容の全部または一部を無断で転載、複製することは禁止されています。

この装置は、クラスA情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。
VCCI-A

ご使用の前に

ご使用の前に必ずお読みください

- ご使用前に必ず本書をよくお読みください。読み終わった後は大切に保管し、必要なときに読み直しできるようにしてください。
- 本書の内容は、予告無く変更されることがあります。
- いかなる手段によっても、本書の内容を無断で転写、転用、複写することを禁じます。
- 本書の運用結果につきましては、内容の記載漏れ、誤り、誤植等にかかわらず、当社は一切の責任を負いかねます。
- 本書に指定されている製品以外のオプションや消耗品を使用した場合、その結果として発生したトラブルにつきましては、当社は一切の責任を負いかねます。
- 本書で指示している部分以外は絶対に手入れや分解、修理を行わないでください。
- お客様の誤った操作や取り扱い方法、使用環境に起因する損害については、責任を負いかねますのでご了承ください。
- データなどは基本的に一過性の物であり、長期的、永久的な記憶、保存はできません。
- 故障、修理、検査などに起因するデータ損失の損害および損失利益などについては、当社は一切の責任を負えません。予めご了承ください。
- 本書の内容についての記載漏れや誤り、不明な点などございましたらご連絡ください。

安全上のご注意　ー必ずお守りください！

● お使いになる方や他の人への危害、財産への損害を防ぐため、必ずお守りいただきたい事項を次のように表示しています。
● 表示された指示内容を守らずに、誤った使用によって起こる危害および損害の度合いを次のように説明しています。

警告	この表示を守らずに、誤った使い方をすると「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容を示しています。
	この表示を守らずに、誤った使い方をすると「障害を負う可能性、または物的損害が発生する可能性が想定される」内容を示しています。

：このマークは気をつけていただきたい「注意喚起」の絵表示です。

警告

以下の事項は本機が破損もしくは故障したり、過熱、発煙する恐れがあり、火災、感電の原因となりますので絶対に行わないでください。破損、故障した場合は電源を切り電源プラグをコンセントから抜き、販売店へご連絡ください。

● 本機を踏んだり、落としたり、叩いたりなど強い力や衝撃を与えないでください。
● 通気性の悪い場所への設置や本機の開口部をふさぐような使用はおやめください。
● 実験室など化学反応を起こすような場所、空気が塩分やガスを含んでいるような場所への設置はおやめください。
● 指定された電源電圧（100V）、周波数（50Hz or 60Hz）以外で使用しないでください。
● 電源コード、インターフェースケーブルの抜き差しをケーブルを持って行ったり、ケーブルに重さがかかる状態で本機を引っ張ったり、持ち運んだりしないでください。
● 本機内にクリップ、虫ピン等の異物を落としたり、入れないようにしてください。
● 電源コードのタコ足配線をしないでください。
● 本機にお茶、コーヒー、ジュースなどの飲み物をこぼしたり、殺虫剤を吹きかけたりしないでください。水などこぼした場合は、電源を切り電源コードをコンセントから抜き、販売店にご連絡ください。
● 本機の分解、改造を行わないでください。

一般注意事項

本機を快適にご使用いただくために、守るべき注意事項です。必ずお読みください。

⚠注意

- プリンタ内部にクリップ、ピンのような物を落とさないように注意してください。故障の原因となります。
- 本機の移動、持ち運びには十分注意してください。落下させると身体や他のものを傷つける恐れがあります。
- カバーを開けた場合には、完全にプリンタカバーを開けてから作業してください。プリンタカバーが閉じて身体などを傷つける恐れがあります。
- カバーを開けた状態の時にはプリンタカバーに注意してください。エッジなどで身体を傷つける恐れがあります。
- 印字中にプリンタカバーを開けないでください。
- 本体ケース表面を清掃する場合、シンナー、トリクレン、ベンジン、ケトン系溶剤や化学ぞうきんなどは使用しないでください。
- 油、鉄粉、ごみ、ほこりなどの多い場所での使用は避けてください。
- 本機に液体をこぼしたり、薬剤を吹きかけたりしないでください。
- 本機を踏んだり、落としたり、叩いたりなど強い力や衝撃を与えないでください。
- コントロールパネル部の操作は丁寧に行ってください。乱雑な操作は故障、誤動作の原因になります。また、ペン先などの鋭利な物での操作は絶対に行わないでください。
- 使用中に異常が発生したら、直ちに使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 故障の時は本機の分解を行わず、必ずサービスマンにお任せください。

設置上の注意事項

⚠注意

- 火気や水気のある場所、直射日光の当たる場所、暖房器具や熱器具のそば等、温度の異常に高い場所、低い場所、湿気やほこりの多い場所でのご使用、保管はしないでください。
- 実験室など化学反応を起こすような場所に設置しないでください。
- 空気が、塩分やガスを含んでいるような場所には設置しないでください。
- プリンタは水平で安定した卓上で､通気性のよい所に設置してください。（開口部は壁等で絶対に塞がないように注意してください。）
- 本機の上に物を載せないでください。
- ラジオやテレビの近くで使用したり同じコンセントを使用したりしますと受信障害の原因となることがありますので、注意してください。
- 指定された電圧、周波数以外で使用をしないでください。
- 電源コードの上に物を置いたり踏んだりしないでください。
- 電源コードまたはインターフェースケーブルを持って本体を引っ張ったり､持ち運びしないでください。
- 電源コードのタコ足配線は避けてください。
- 電源コードを束ねて使用しないでください。
- 電源コードの抜き差しは必ず電源プラグを持って行ってください。
- コネクタの接続は確実に行ってください。特に極性が逆に接続されると､内部の素子が破壊されることがあります。
- インターフェースケーブルの取り付けや取り外しは、必ず電源スイッチを“OFF”にしてから行ってください。
- 信号線を長く配線したり、ノイズの多い機器と接続したりすることは極力避けてください。やむをえず配線する時は各信号毎にシールド線、ツイストペア線などを使用するよう十分な対策をしてください。
- 機器の近くにコンセントがあり、かつそのコンセントから電源プラグを抜き、容易に電源を遮断できるように設置してください。
- コンセントは、アース端子止めネジ付タイプを使用してください。使用しないと、静電気でケガをする恐れがあります。

製品概要

この度はマックス熱転写／感熱ラベルプリンタ モデルLP-100Rをお買い求め頂きありがとうございます。本プリンタは、色々な種類の熱転写ラベルや感熱ラベルに対応した最大用紙幅118mm（印字幅 104mm）用の製品です。

■■■ 特　徴 ■■■

<高速・高品位印刷>

本プリンタはラインサーマルプリントヘッドによる感熱方式および熱転写方式を採用し、32bit RISC CPU 及び履歴制御ICにより、高速・高品位印刷を可能にしました。

<簡単操作>

- コントロールパネルによる設定は、簡単な対話形式による設定方式を採用しているため簡単にプリンタの設定を変更する事が出来ます。
- フルオープンメカニズムの採用で用紙およびリボンが容易に装着でき、ヘッドクリーニング等も簡単に行える構造となっています。
- ヘッドバランス調整・ヘッドオフセット調整・用紙センサー調整をユーザーが簡単に行える機構となっています。

<インターフェース>

シリアルポートに加え、IEEE1284（ECPモード）及びUSB1.1が標準搭載されさらにデータを高速に受信することが出来ます。

<オプションインターフェース>

内蔵型のイーサネットに対応しています。

<オプションオートカッター／剥離ユニット>

オートカッターユニット及び剥離ユニットは簡単に取付、交換できる機構を採用しています。

<アジャスタブルセンサー>

紙間・黒線検出センサー位置が紙幅方向に調整可能なアジャスタブルセンサーを標準装備しており、特殊な用紙の位置検出を行うことが出来ます。

<設置について>

インターフェース及び電源スイッチ類等を後方に配置し、トップカバーの上下開閉式を採用した事により本体側の側面が制約されません。

目次

ご使用の前に

1 プリンタの準備

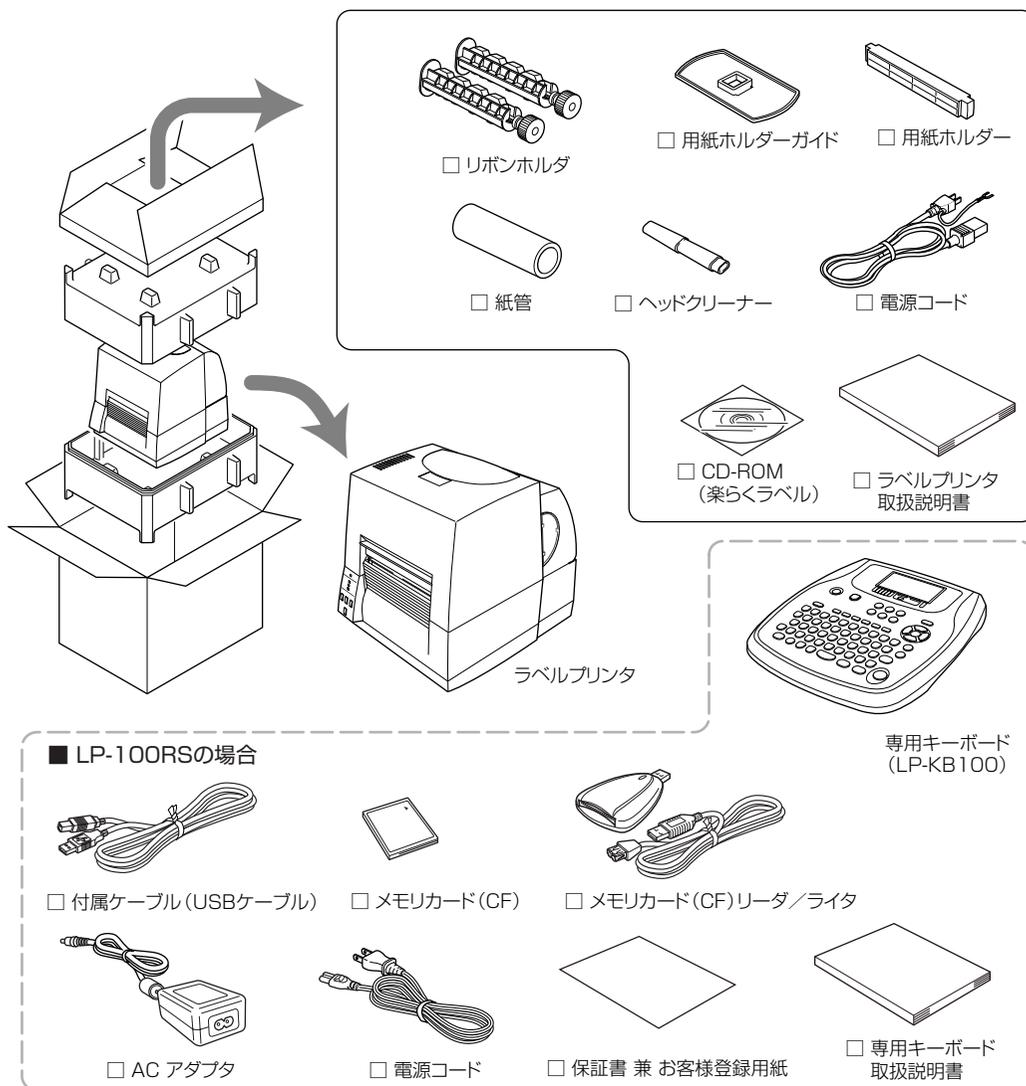
2 プリンタの操作

3 プリンタの調整

付　録

1 プリンタの準備

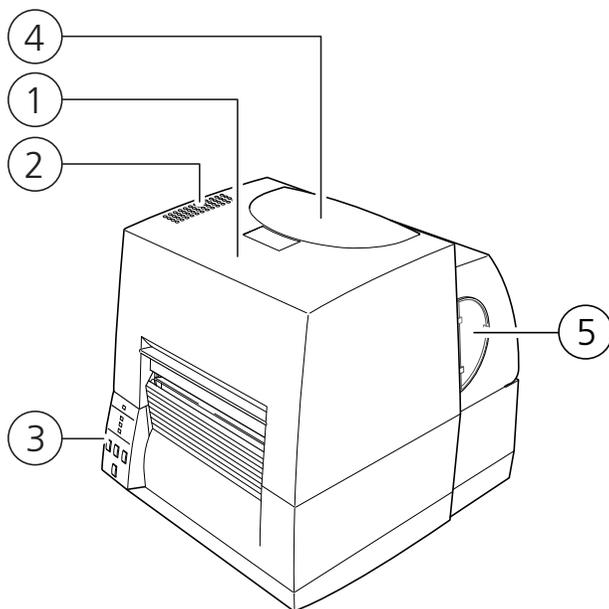
1.1 梱包内容の確認

プリンタ本体と下記の付属品が全て揃っていることをご確認ください。

●キーボードセットモデル（LP-100RS）の場合、上記破線内も付属品に含まれます。
●梱包箱や梱包材などは、輸送時に必要となりますので、必ず保管しておいてください。

⚠注意

プリンタの移動、持ち運び、梱包箱からの本機の取り外しには十分注意してください。落下させると身体や他のものを傷つける恐れがあります。
梱包箱から取り出す際にはプリンタ本体を持って行ってください。スチロールを持ってプリンタ本体を取り出すと、スチロールが割れてプリンタ本体が落下する恐れがあります。

1.2 各部の名称とはたらき

本体前面

コントロールパネル（P12）

① トップカバー

用紙やリボンを交換またはセットする時、上に開けます。

② 放熱孔

プリンタ内部の熱を放出します。
紙などで塞がないようにしてください。

③ コントロールパネル

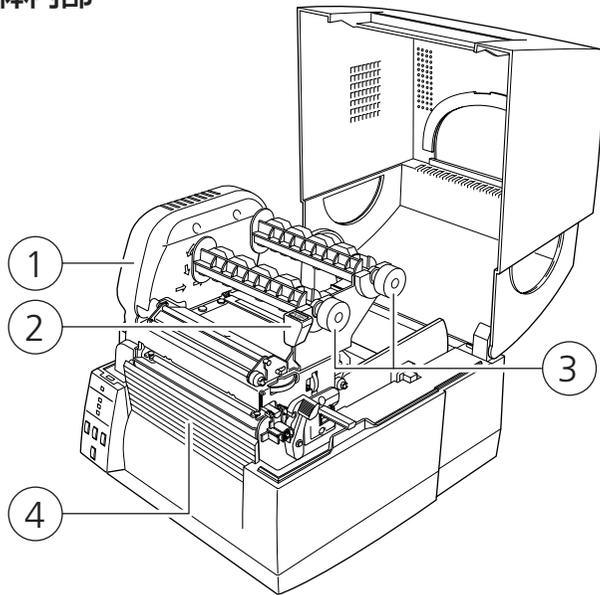
各種設定の操作を行います。

④ リボン窓

リボンの残量を確認する事が出来ます。

⑤ 用紙窓

用紙の残量を確認する事が出来ます。

本体内部

リボンのセット（P28）

①リボン駆動ユニット

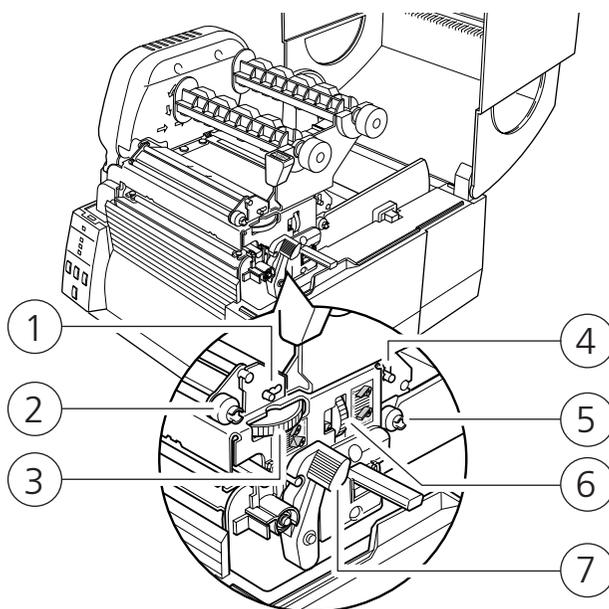
②ヘッドクローズノブ

用紙やリボンをセットした後、プリンタヘッドをセットする時に押します。
他の部分を押すと正しくセットされない場合があります。

③リボンホルダ

リボンおよび紙管を取り付けます。

④フロントカバー

オプションユニットを装着する場合に取り外します。

リボンテンション調整（P46）

①前側（巻き取り側）リボンテンション調整ノブ

使用するリボンの幅に合わせて調整します。また、リボンにシワが発生したり、スリップする場合に調整します。

リボンバランス調整（P47）

②前側（巻き取り側）リボン左右バランス調整ノブ

リボンにシワが発生する場合に調整します。通常は中央位置に合わせてください。

ヘッドバランス調整（P45）

③ヘッドバランス調整ダイヤル

用紙の幅に合わせて調整します。

リボンテンション調整（P46）

④後側（送り出し側）リボンテンション調整ノブ

使用するリボンの幅に合わせて調整します。基本的に前側の調整ノブと同じにしてください。

リボンバランス調整（P47）

⑤後側（送り出し側）リボン左右バランス調整ノブ

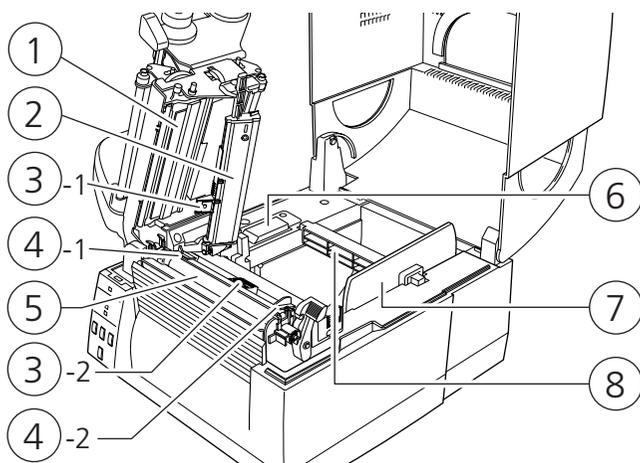
リボンにシワが発生する場合に調整します。通常は中央位置に合わせてください。

ヘッドオフセット調整（P44）

⑥ヘッドオフセット調整ダイヤル

用紙の厚みに合わせて調整します。

⑦ヘッドオープンレバー

レバーを押すことによりヘッドユニットが上へ開けられ用紙を装着する事ができます。印刷中はヘッドユニットをロックします。

センサー位置の設定（P26）
センサー調整（P41）

セットのしかた（P28）

①サーマルプリントヘッド

印刷用ヘッドです。

②センサーアーム

アームを持ち上げる事により用紙を装着する事が出来ます。
アームを下げる事により用紙を抑える事が出来ます。

③アッパーセンサー（3-1）及びボトムセンサー（3-2）

透過センサーとして使用する場合は、アッパーセンサーとボトムセンサーのセンサーマーキングを合わせて使用します。
反射センサーとして使用する場合は、ラベル剥離紙の黒線の位置にボトムセンサーのセンサーマーカーを合わせて使用します。

④用紙ガイド

（左側固定用紙ガイド（4-1）及び可変用紙ガイド（4-2））
用紙端を左側固定用紙ガイドに合わせ、右側の可変用紙ガイドを用紙サイズに合わせて水平方向に移動させます。また、可変用紙ガイドは透過センサーを使用する際にアッパーセンサーとボトムセンサーを合わせるガイドとして使用します。

⑤プラテン

サーマルプリントヘッドと組み合わされ、用紙を前後に送ります。

⑥オプションユニット接続コネクタの蓋

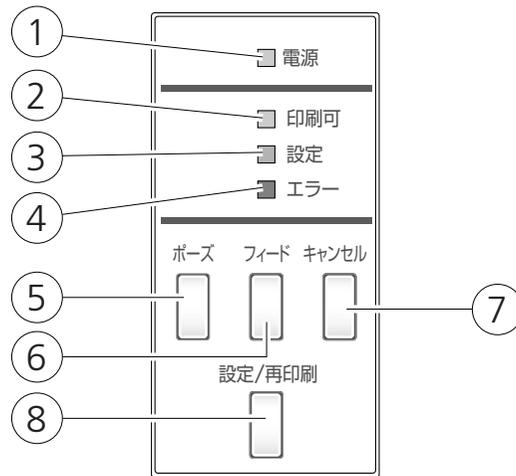
オートカッターユニット及び剥離ユニットのケーブルを接続する場合に開けます。通常の使用時は取り外さないでください。

⑦用紙ホルダーガイド

用紙サイズに合わせてガイドを水平方向に移動させます。引っ張る事によりガイドを外す事が出来ます。

⑧用紙ホルダー

用紙ホルダーに用紙を通します。

コントロールパネル

LED の機能（P23）

①電源 LED
プリンタの電源を入れると点灯します。（緑色）

②印刷可 LED
印刷可能な状態の時、点灯します。（緑色）

③設定 LED
各種設定選択時に点灯します。（オレンジ色）

④エラー LED
プリンタがアラーム状態の時、点灯／点滅します。（赤色）

通常動作モード（P22）

⑤ポーズキー
印刷の一時停止をします。

⑥フィードキー
用紙送りをします。

⑦キャンセルキー
印刷の停止及びアラームを解除します。

⑧設定／再印刷キー
設定メニュー移行及び最終ラベルの再発行を行います。

本体後面

シリアルインターフェース（P55）

① シリアルインターフェース（RS232C）

パソコンからのデータをシリアル通信にて受信します。

パラレルインターフェース（P57）

② パラレルインターフェース（セントロニクスパラレル、IEEE1284）

パソコンからのデータをパラレル通信にて受信します。

USB インターフェース（P58）

③ USB インターフェース（USB1.1）

パソコンからのデータを USB 通信にて受信します。

電源の ON/OFF（P21）

④ 電源スイッチ

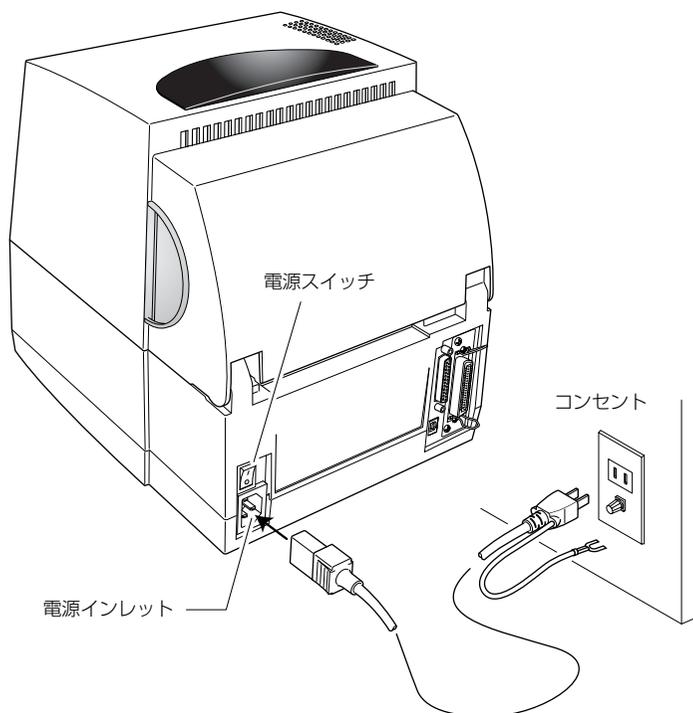
プリンタ本体の電源スイッチです。

電源の接続（P14）

⑤ 電源インレット

付属の電源コードのコネクタが接続されます。

1.3 電源の接続

1. プリンタの電源スイッチがOFFになっていることを確認してください。
2. 電源コードのコネクタをプリンタ本体の電源インレットに差し込みます。
3. 電源コードのプラグをコンセントに差し込みます。

⚠注意

コンセントは、アース端子止めネジ付タイプを使用してください。
使用しないと静電気でケガをする恐れがります。また、故障や漏電、落雷のときに感電する恐れがあります。

1.4 パソコンとの接続

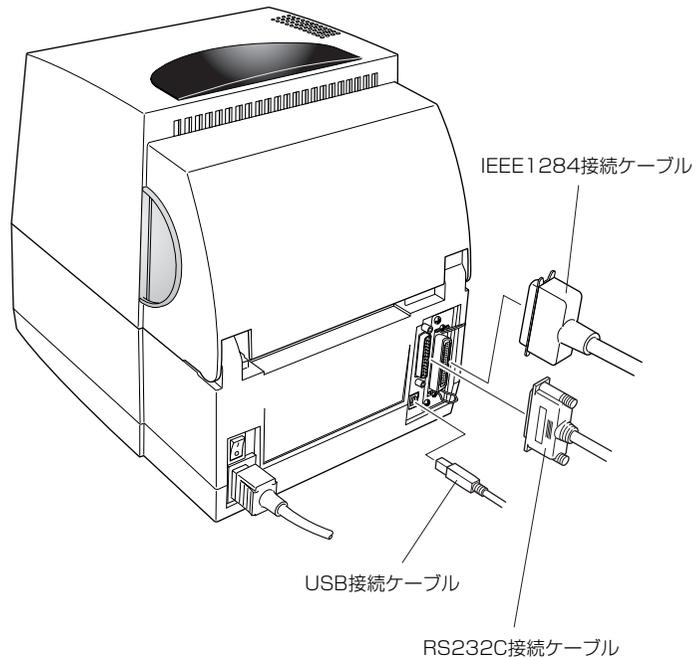
本機は、印刷データを受信するインターフェースとして、シリアルポート（RS232C）、パラレルポート（IEEE1284）とUSB ポート（USB1.1）の3種類があります。また､オプションとしてイーサネットポートでデータを受信することができます。
使用するには、それぞれの接続ケーブルが必要です。

1. プリンタとパソコンの電源スイッチがOFFになっていることを確認してください。
2. プリンタ後面のインタフェース・コネクタへの接続ケーブルをしっかりと差し込み、ロックネジを締めて固定します。
3. 接続ケーブルのもう一方をパソコンのインタフェース・コネクタへしっかりと差し込み、ロックネジを締めて固定します。

シリアルインターフェース（P55）

パラレルインターフェース（P57）

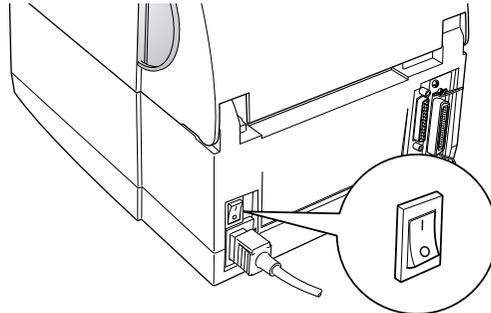
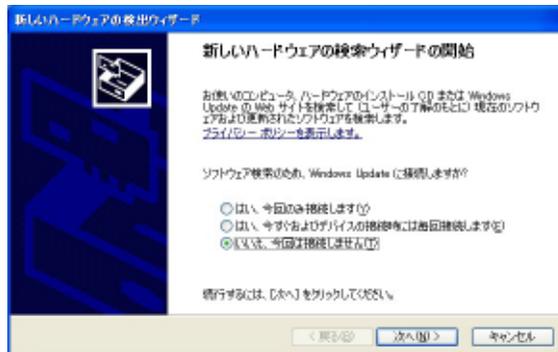
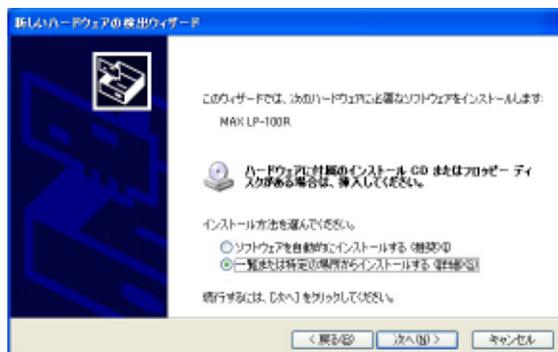
USB インターフェース（P58）

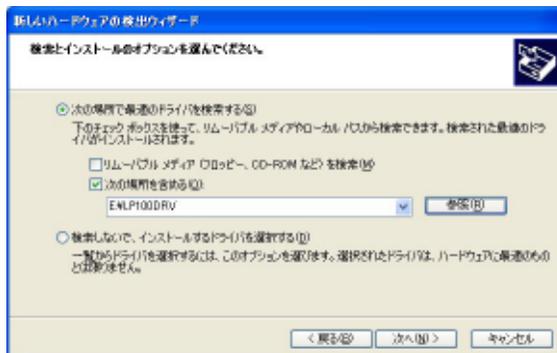
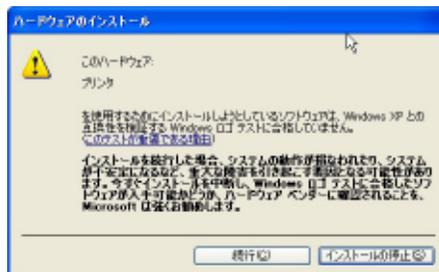
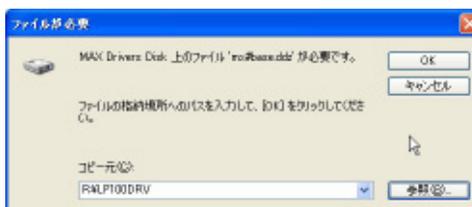
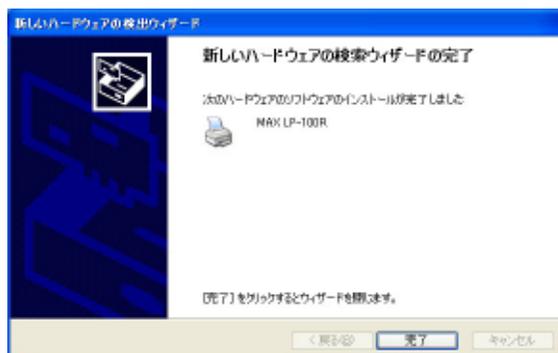
インターフェースボードの交換（P59）

注）オプションのイーサネットポートを使用する場合は、パラレルインターフェースポートを使用することはできません。

1.5 プリンタドライバのインストール

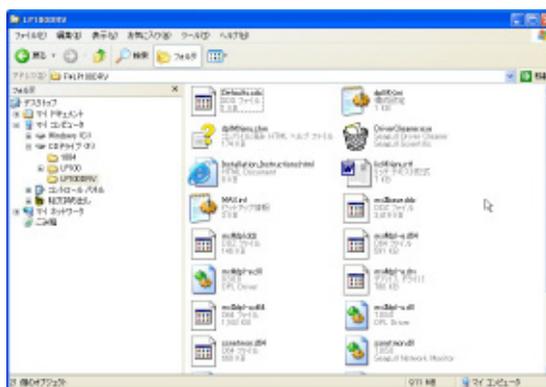
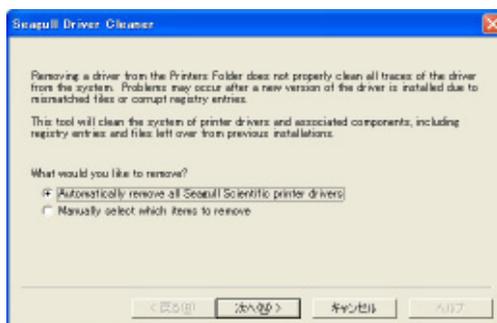
パソコンとの接続（P15）

電源の ON/OFF（P21）

1. 本機をパソコンに接続し、後面の電源スイッチの上端（ | ）を押して電源を ON にします。
   プラグ＆プレイ機能により、「新しいハードウェア検出ウィザード」が起動します。

2. 「いいえ、今回は接続しません」を選択し、［次へ］をクリックします。

3. 「一覧または特定の場所からインストールする」を選択し、［次へ］をクリックします。

4.「次の場所を含める」にチェックを入れ、[参照] ボタンをクリックして CD-ROM ドライブの楽らくラベル CD の ¥LP100DRV フォルダを指定し、[次へ] をクリックします。

検索が始まり、ドライバのインストールが開始されます。

5. インストール途中で次の警告画面が表示されたら、[続行] をクリックします。

パソコン環境によっては次のダイアログが表示されることがありますが、[参照] ボタンをクリックし、楽らくラベルCD内の¥LP100DRVを指定します。

6. 最後に［完了］をクリックします。

1.6 プリンタドライバのアンインストール

パソコンからプリンタドライバを削除する場合には、次の手順でアンインストールを行ってください。

1. 本機とパソコンの接続を解除します。
2. エクスプローラで、楽々ラベルCD内の¥LP100DRVフォルダを開きます。
3. フォルダ内の“ドライバクリーナー”アイコン（ファイル名：DriverCleaner.exe）をダブルクリックします。
   ドライバクリーナーが起動します。

4. 次のダイアログが表示されたら、「Automatically remove all Seagull Scientific printer drivers」を選択し、［次へ］をクリックします。

5. ドライバの削除が終了すると、次のダイアログが表示されますので、[完了] をクリックします。

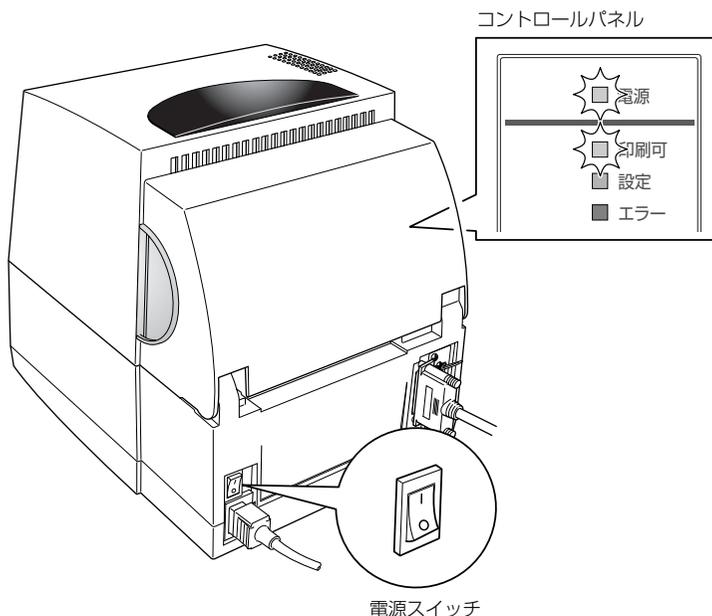
6. 次のダイアログが表示されたら、[Restart and Continue Removal]ボタンをクリックし、パソコンを再起動します。

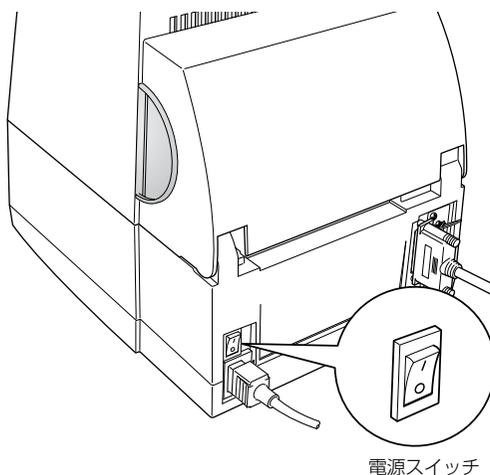
7. パソコンが再起動すると、最終確認のダイアログが表示されますので、[Ok] をクリックします。
   これでアンインストール作業は終了です。

2 プリンタの操作

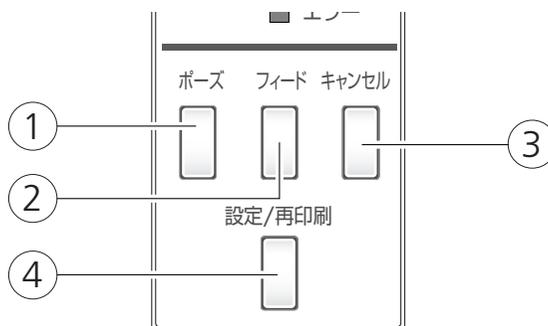
2.1 電源の ON/OFF

電源の入れ方

1. プリンタ後面の電源スイッチの上端（ I ）を押します。
2. コントロールパネルの“電源”LED および“印刷可”LED が点灯します。

電源の消し方

1. プリンタ後面の電源スイッチの下端（O）を押します。
2. コントロールパネルの“電源”LED および“印刷可”LED が消灯します。

2.2 通常動作モード

メニュー設定モード (P33)

電源投入時は通常動作モードになります。各操作ボタンには以下の機能があります。

① ポーズキー：印刷の一時停止をします。

- 一度押すと“印刷可”LED が消灯し、一時停止状態になります。
- 印刷中に押された時は、印刷中のラベルを発行した後に停止します。再度キーが押された場合は、印刷動作を再開し、枚数指定された残りのラベルを印刷します。

② フィードキー：用紙送りをします。

- 一度押すと用紙を送り、印刷開始位置で停止します。フィード量はラベル紙使用の場合は自動で紙の先頭を検出し、連続紙を指定した場合は一定量フィードした後、停止します。
- 手切り（ティアオフ）の設定が有効の場合は、手切り（ティアオフ）位置まで用紙を送り停止します。
- オプションのカッターユニットが装着されている場合は、カット位置まで用紙を送りカット動作を行います。
  設定メニューのカット動作設定の有無を問わずユニットが搭載されている場合、フィード毎にカット動作を行います。
- オプションの剥離ユニットが装着されている場合は、剥離位置まで用紙を送ります。剥離位置に用紙が待機している状態では、フィード キーを押してもフィード動作は行いません。

③ キャンセルキー：印刷の停止及びアラームを解除します。

- 印刷中に一度押すとラベルの発行終了後にポーズ状態になります。さらにポーズ状態でキャンセルキーを４秒以上押すと、1 バッチ分のラベル発行データをキャンセルする事ができます。（キャンセル中は“印刷可”LED が高速に点滅します。）

④ 設定／再印刷キー：最終ラベルの再発行を行います。

- PRINT 状態（“印刷可”LED が点灯表示されている時）で設定／再印刷キーを押すと最終ラベルの再発行を行います。最終ラベルの発行は、メニュー設定の設定／再印刷キーの設定に基づいて行われます。

LED の機能

① 電源 LED

プリンタの電源を投入すると点灯します。（緑色）

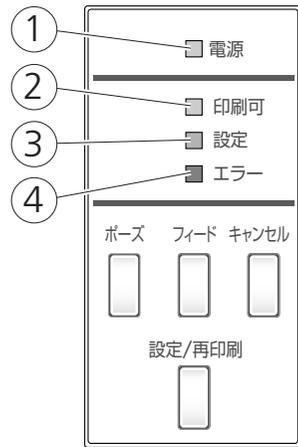
② 印刷可 LED

印刷可能な状態の時、点灯します。（緑色）

③ 設定 LED

各種設定選択時に点灯します。（オレンジ色）

④ エラー LED

プリンタがエラー状態の時、点灯／点滅します。（赤色）

アラーム及びエラー表示内容一覧

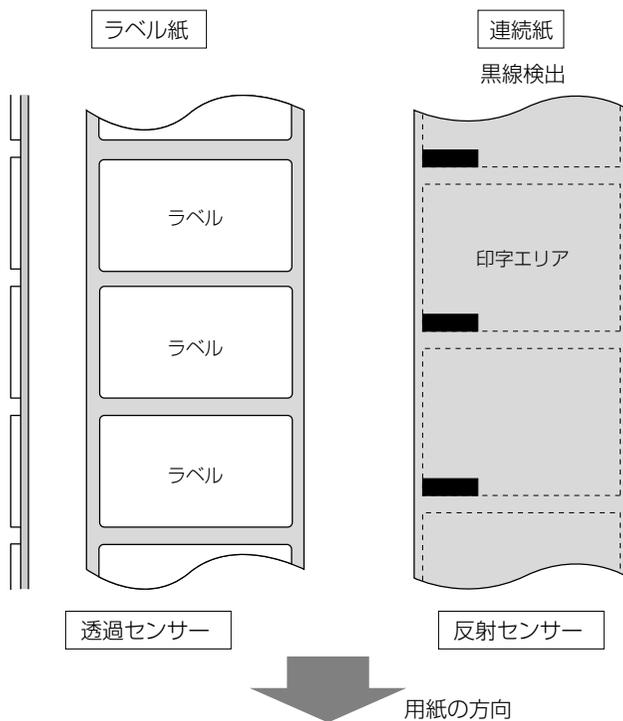
LED は通常動作モードのほかにプリンタ本体に異常が検出されると、アラームが鳴り、各 LED の点灯／点滅でエラーの内容を表示します。

項　目　内　容	印刷可 LED	設定 LED	エラー LED
キャンセルキーが押されたとき	消灯	消灯	消灯
ヘッド温度異常	ON OFF	ON OFF	消灯
モータ温度異常	ON OFF	OFF ON	消灯
ヘッドオープン	消灯	消灯	○●○●○●○●
ペーパーエンド	消灯	消灯	ON OFF
ペーパーアウト （紙位置が検出できない）	消灯	ON OFF	ON OFF
ヘッド抵抗値異常	消灯	ON OFF	OFF ON
リボン走行エラー	消灯	○●○●○●○●	○●○●○●○●
リボンエンド	消灯	○●○●○●○●	●○●○●○●○
通信エラー （受信バッファーオーバーラン）	消灯	ON OFF	消灯
通信エラー （パリティー、フレーミング）			
通信エラー （送信バッファーオーバーフロー）			
オートカッター異常 （噛み込み等）	消灯	消灯	点灯
オートカッター温度異常	ON OFF	OFF ON	消灯

時間軸 →
○: ON, ●: OFF
ON OFF ：遅い点滅、○●○●○●○● ：速い点滅

2.3 用紙のセット

用紙サイズについて

使用できる用紙の種類とサイズは以下の通りです。
ラベルの位置検出は透過センサー又は反射センサーで行います。
透過センサー：ラベル紙の紙間検出
反射センサー：黒線検出

標準ラベル	ラベル幅mm	ラベル長さmm
LP-R10070A	100	70
LP-R8050A	80	50
LP-R5550A	55	50

※上記標準ラベル以外の特注サイズについては、お問い合わせください。
※本機にセットできる用紙（台紙を含む）サイズは下記の通りです。

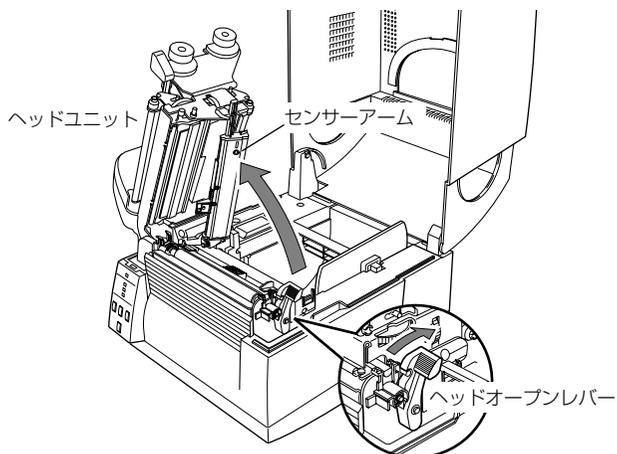
	ラベル幅mm	ラベル長さmm
最　大	118	812*
最　小	19.5	6.35

* プリンタモードで使用時、専用キーボードからの出力の場合は500mmとなります。

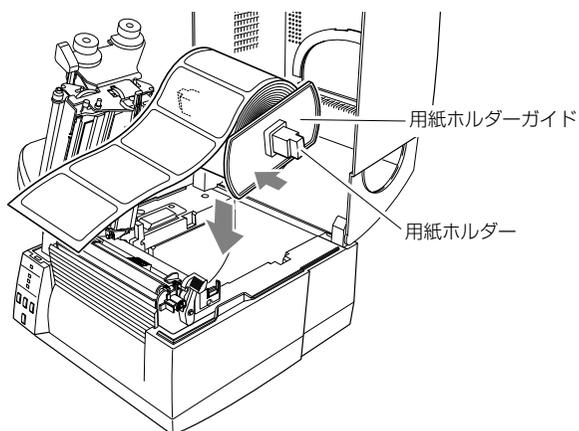
※ラベル・ピッチが1インチ以下のラベル紙をご使用の場合は、メニュー設定モードの"小型ラベルピッチ"の値をご使用のラベル紙に合わせてください。

メニュー設定の一覧
(P38)

セットのしかた

1. ヘッドオープンレバーを押すと、ヘッドユニットが開きます。さらに手でセンサーアームを図の位置まで持ち上げます。

2. はじめに用紙ホルダーと用紙ホルダーガイドを組み立ててください。
   用紙ホルダーガイドは、用紙ホルダー固定部（表面の平滑面）が外側になるように組み立ててください。

用紙サイズについて（P24）

3. 用紙を2で組み立てた用紙ホルダーに装着します。プリンタの正面から見て、用紙の右側に用紙ホルダーガイドをセットします。

4. 上記のように用紙をプリンタにセットしてください。
5. 用紙を左側にスライドさせ、それに合わせて用紙ホルダーガイドを用紙に押し当てます。

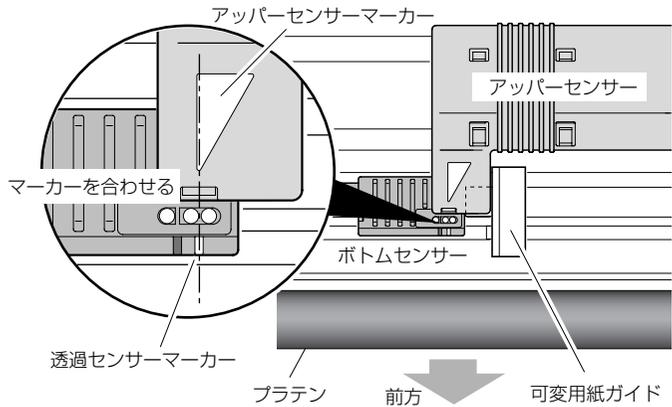
注）用紙をセットする際は、用紙および用紙ホルダーガイドを左側に強く押し当てないでください。用紙が正常に送られず、ジャムする恐れがあります。

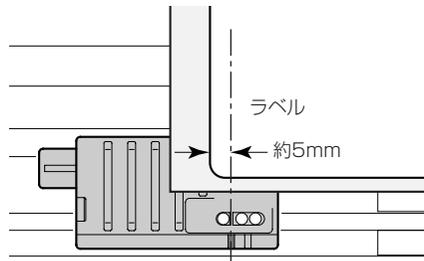
センサーの選択方法
（透過センサー ←→ 反射センサー）
（P41）

透過センサーの調整（P42）

6. センサー位置の設定

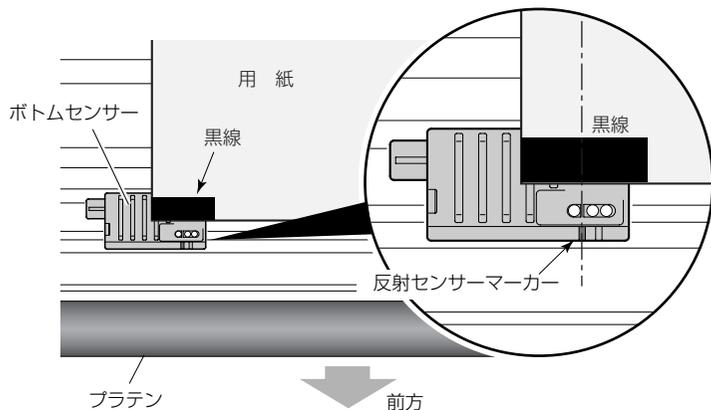
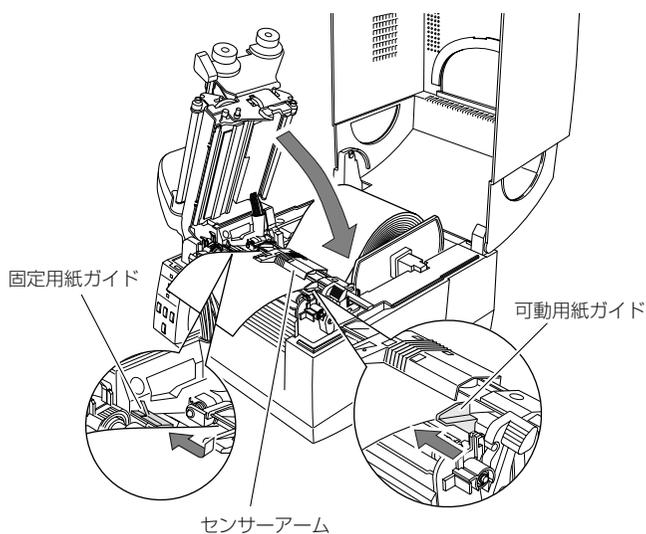
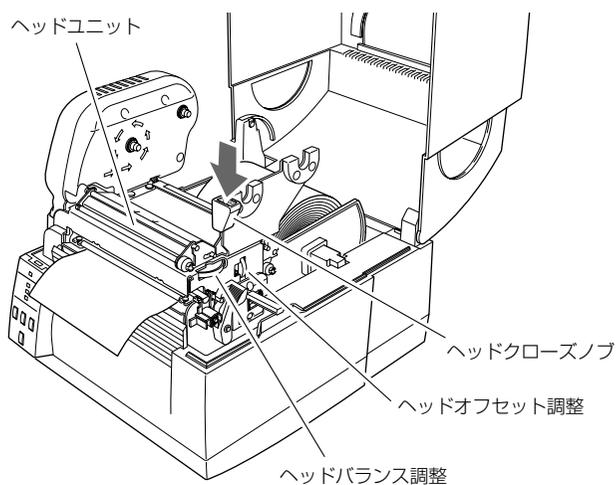
■ 透過センサーを使用する場合

ボトムセンサーを左側に寄せ、アッパーセンサーのマーカーとボトムセンサーのマーカー（白）を用紙可変ガイドを利用して位置を合わせます。

ラベル裏面の印刷にかからないように位置を合わせてください。

• この時にラベルの角 R 部にかからないようにしてください。

反射センサーの調整（P43）

■ 反射センサーを使用する場合

下記の図の様に用紙の黒線の中央にボトムセンサーの反射センサーマーカーが来るようにセンサーの位置を調整してください。

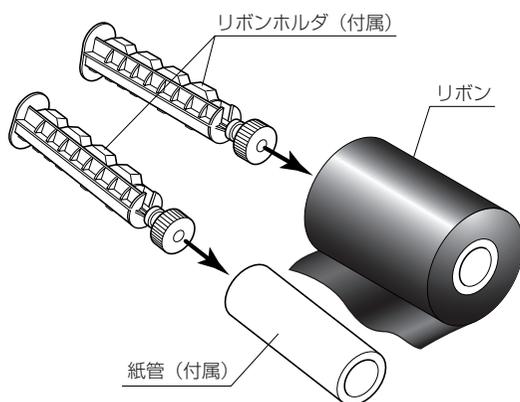
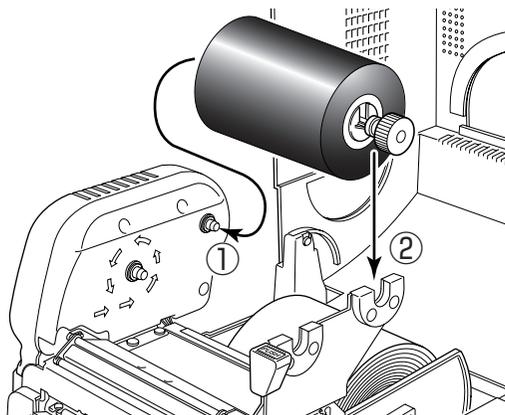
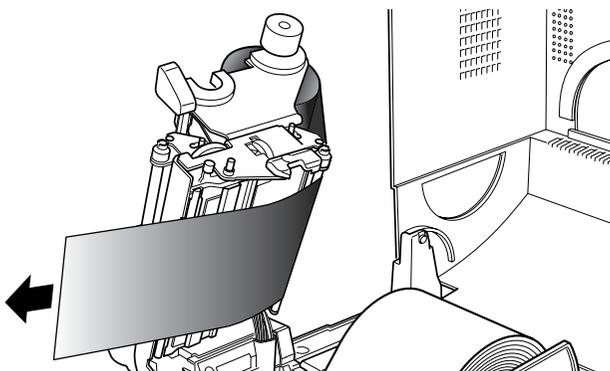
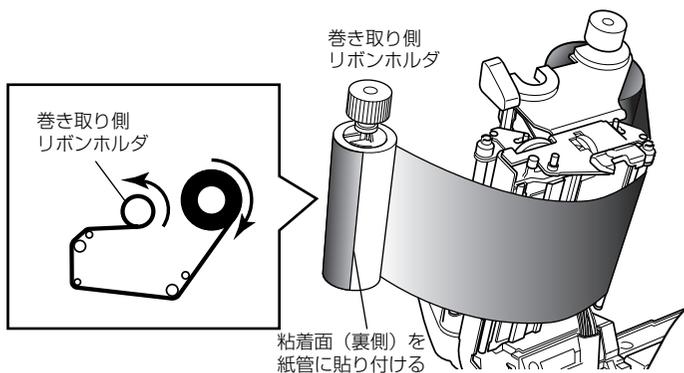
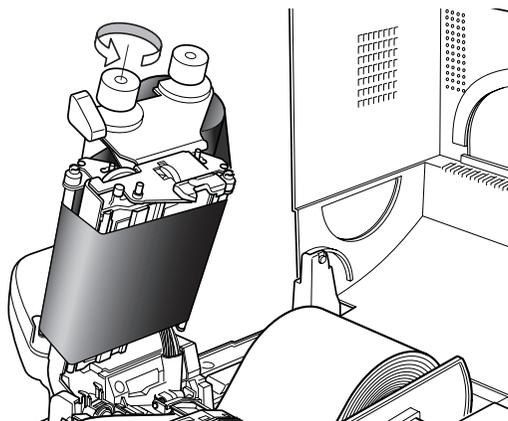
ヘッドオフセット調整
(P44)
ヘッドバランス調整
(P45)

7. 用紙を左側の固定用紙ガイドに合わせ、右側の可動用紙ガイドを用紙幅に合わせて、センサーアームを下げてください。

8. ヘッドクローズノブを押して、ヘッドユニットを下げ、ロックします。ヘッドユニットをロックする際は、必ずヘッドクローズノブを押してください。
   装着した用紙に合わせて、「ヘッドバランス調整」および「ヘッドオフセット調整」を行ってください。
   各調整方法は「第３章 プリンタの調整」を参照してください。

9. プリンタの電源を入れ、コントロールパネルのフィードキーを押すと、用紙を送り印刷開始位置で停止します。

2.4 リボンのセット

インクリボンは専用のものをご使用ください。

リボン幅：110mm、90mm、60mm

セットのしかた

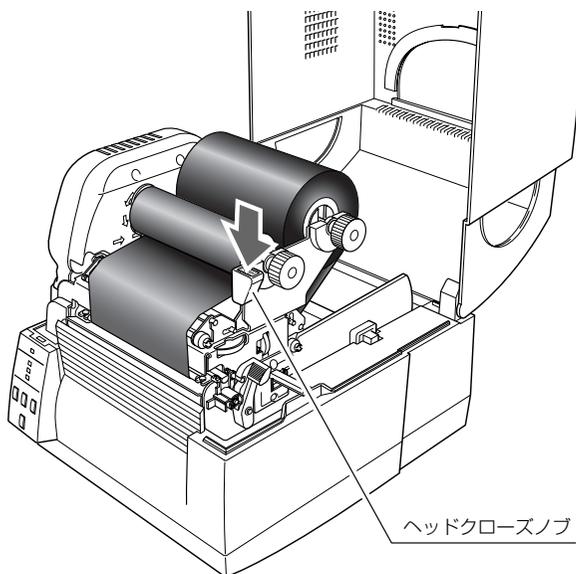
1. 付属のリボンホルダ（2 本）にリボンと付属の紙管をそれぞれセットします。リボンホルダは、リボンおよび紙管に奥いっぱいまで差し込んでください。

2. リボン駆動ユニットにリボンをセットしたリボンホルダをセットします。

3. ヘッドオープンレバーを押し、ヘッドユニットを開けます。
ヘッドユニット下部から、リボン巻き取り側へリボンを引き出します。

4. 引き出したリボン先端の剥離紙を剥がし、粘着面をリボンホルダにセットされた紙管に貼り付け、リボンを巻き付けます。

5. 紙管をセットしたリボンホルダをリボン駆動ユニットにセットし、矢印方向に回してリボンのたるみ、しわを取り除きます。

リボンテンション調整（P46）

リボンバランス調整（P47）

6. ヘッドクローズノブを押して、ヘッドユニットを下げ、ロックします。ヘッドユニットをロックする際は、必ずヘッドクローズノブを押してください。

しわが発生する場合は、しわが無くなるまでフィードキーを押してください。

それでもリボンにしわがなくならない、またはスリップする場合は、「リボンバランス調整」および「リボンテンション調整」を行ってください。

各調整方法は「第３章 プリンタの調整」を参照してください。

2.5 各種モードと設定

コントロールパネル（P12）

下記組み合わせでキーを押しながら電源を投入すると各機能へ移行します。

モード名	キーの操作
HEX ダンプモード	キャンセルキーを押しながら、電源 ON
セルフ印刷モード	フィードキー を押しながら、電源 ON
メニュー設定モード	設定／再印刷キーを押しながら、電源 ON

HEX ダンプモード

● ラベル紙の場合

キャンセルキーを押しながらプリンタの電源を投入します。“印刷可” LED が遅い点滅を開始したらキャンセルキーを離してください。用紙がフィードされた後、HEX ダンプモードに入ります。

● 連続紙の場合

キャンセルキーを押しながらプリンタの電源を投入します。“印刷可” LED が遅い点滅から速い点滅に変わったらキャンセルキーを離してください。用紙がフィードされた後、HEX ダンプモードに入ります。

```
ﾀﾞﾝﾌﾟ ﾘｽﾄ

02 40 30 31 30 30 0D 02 60 30 30 32 30 0D 02 4C  .M0100..c0020..L
44 31 31 0D 31 30 30 30 30 30 30 30 30 30 31 30  D11.100000000010
30 30 31 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 3A 3B 3C  0010123456789:;<
```

ダンプリスト

* HEX ダンプモードから抜ける場合は、プリンタ本体の電源を切り、再度電源を入れ直して（再起動）ください。

セルフ印刷モード

セルフテスト印刷を行うモードです。セルフテスト印刷はプリンタの設定状態、画質状態を簡単に知ることが出来ます。
用紙をセットして以下の操作を行ってください。

用紙のセット（P24）

● ラベル紙の場合：

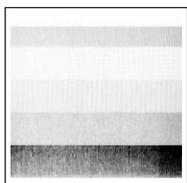
フィードキーを押しながらプリンタの電源を投入します。"印刷可" LEDが遅い点滅を開始したら、フィードキーを離してください。セルフ印刷モードに入り、用紙がフィードされた後、2枚印刷して停止します。
再度印刷したい場合は、もう一度フィードキーを押してください。

セルフ印刷パターン

● 連続紙の場合：

フィードキーを押しながらプリンタの電源を投入します。"印刷可" LEDが遅い点滅から速い点滅に変わったら、フィードキーを離してください。
セルフ印刷モードに入り、用紙がフィードされた後、印刷して停止します。
再度印刷したい場合は、もう一度フィードキーを押してください。

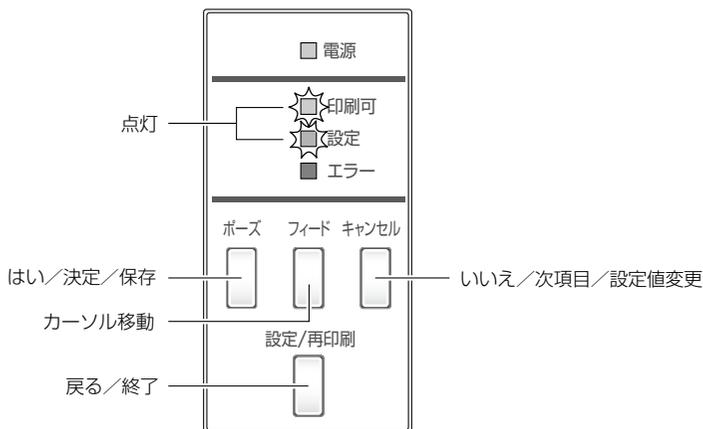
セルフテスト印刷を行い、下記のようなパターンが印刷された場合は、「ヘッドバランス調整」および「ヘッドオフセット調整」を行ってください。
各調整方法は「第３章 プリンタの調整」を参照してください。

ヘッドオフセット調整
(P44)

左のサンプルは、間違ってセットされた「ヘッドオフセット調整」を示しています。
標準の用紙の場合は、調整ダイヤルを「0」の位置にセットしてください。

ヘッドバランス調整
（P45）

左のサンプルは、間違ってセットされた「ヘッドバランス調整」を示しています。
４インチ（約102mm）幅の用紙の場合は、調整ダイヤルを「9」の位置にセットしてください。

メニュー設定モード

設定／再印刷キーを押しながらプリンタの電源を投入すると、メニュー設定モードに入ります。
メニュー設定モード中は、“印刷可”LEDおよび“設定”LED が点灯します。
設定モードは予め用紙をセットした状態で行ってください。

■ 各キーの機能

ポーズキー（はい／決定／保存）
: 設定メニューを変更するときに押します。メニュー実行後、次のメニューに進みます。

キャンセルキー（いいえ／次項目／設定値変更）
: 設定を変更しないで次のメニューに進みます。設定メニューにパラメータがある場合、パラメータ値を変更します。

フィードキー（カーソル移動）
: 変更したいパラメータの位置にカーソルを移動します。

設定／再印刷キー（戻る／終了）
: 設定メニューを抜けるか、メニュー設定モードを終了するときに押します。

⚠注意

設定時に「ポーズ」キーを押すと、選択されたパラメータの値を保存します。設定内容を更新している場合、“設定”LED が点滅しています。この時プリンタ本体の電源を切らないでください。
故障の原因となります。誤って電源を切った場合は、プリンタ本体の初期化処理をしてください。

メニュー設定の手順

メニュー設定の手順を以下に示します。

メニュー設定モード(P33)

トップメニュー設定時の印刷例 (P36)

設定内容印刷例 (P37)

サブメニュー設定時の印刷例 (P36)

コントロールパネル
電源
印刷可
設定
エラー
ポーズ
フィード
キャンセル
はい／決定／保存
カーソル移動
いいえ／次項目／設定値変更
設定/再印刷
戻る／終了

はい
はい
はい
はい
• センサー閾値(しきいち)
• ブザー
• 単位選択
• 最大用紙長
• 設定保護
• キー操作無効
• コントロールコード
• コマンドセット
• オプション自動設定
• 機能選択
• カット動作
• 用紙停止位置
• 再印刷キー機能
• シリアル ボーレート
• シリアル パリティ
• シリアル データ長
• シリアル ストップビット
• シリアル X-ON 制御
• IEEE1284
戻る
印刷速度
設定値
変更
パラメータの変更
戻る
保存
保存
戻る
印刷濃度
設定値
変更
パラメータの変更
戻る
保存
保存
• 濃度微調整
• 印刷方法
• 連続紙用紙長
• 縦方向印刷位置
• 横方向印刷位置
• 用紙センサー
• 小型ラベル印字
戻る
小型ラベルピッチ
設定値
変更
パラメータの変更
戻る
保存
保存

下記の印刷サンプルは、メニュー設定モードで出力されたものです。
プリンタからの実際の出力は、各行の文字が上下逆になります。
下記の例を参照してください。

メニュー設定の手順（P34）

トップメニュー設定時の印刷例

メニュー設定の手順（P34）

サブメニュー設定時の印刷例

設定内容印刷例

マシン情報

モデル ナンバー	:	LP-100R
Boot バージョン	:	X.XJ
ROM バージョン	:	CR0XXXXX
ROM 日付（日/月/年）	:	XX/XX/XX
ROM チェックサム	:	XXXX
漢字ROM バージョン	:	CF01XXXX
漢字ROM 日付（日/月/年）	:	XX/XX/XX
漢字ROM チェックサム	:	XXXX
ヘッド チェック	:	OK
印刷カウンタ	:	2.234km
サービスカウンタ	:	2.234km
センサーモニター	:	1.50 V
オプションインターフェース	:	無し

現在の設定

[印刷設定メニュー]		
印刷速度	:	4 IPS
印刷濃度	:	10
濃度微調整	:	00
印刷方法	:	熱転写
連続紙用紙長	:	4.00 inch
縦方向印刷位置	:	0.00 inch
横方向印刷位置	:	0.00 inch
用紙センサー	:	透過
小型ラベル印字	:	Off
小型ラベルピッチ	:	1.00 inch
* シンボルセット	:	JS
[システム設定メニュー]		
センサー閾値	:	1.5 V
ブザー	:	On
単位選択	:	インチ(inch)
最大用紙長	:	10.00 inch
設定保護	:	Off
キー操作無効	:	Off
コントロールコード	:	標準
コマンドセット	:	DM4
[印刷後動作メニュー]		
オプション自動設定	:	On
機能選択	:	無効
カット動作	:	印刷後
用紙停止位置	:	0.00 inch
再印刷キー機能	:	無効
[インターフェース設定メニュー]		
シリアル ボーレート	:	9600 bps
シリアル パリティ	:	無し
シリアル データ長	:	8 ビット
シリアル ストップビット	:	1 ビット
シリアル X-ON 制御	:	On
IEEE 1284	:	On

※シンボルセットは、コマンドによってのみ変更することができます。

注）上記内容はサンプルの一例です。
お客様の設定や、改良のために仕様の一部を変更することがありますので、実際の印刷内容とは異なる場合があります。

メニュー設定の一覧

印刷設定メニュー　　　　　　　：印刷速度や濃度、印刷方式の印字制御関係やページ書式などの設定
システム設定メニュー　　　　　：用紙の検出方法やレベル、ブザーの設定、時刻／日付などの設定
印刷後動作設定メニュー　　　　：ティアオフ動作やカッター動作などの印刷終了時の設定
インターフェース設定メニュー：インターフェースの各種通信設定

トップメニュー	サブメニュー	出荷時	設定範囲	備考
印刷設定	印刷速度	4 IPS	2 ～4 IPS	プリント速度の設定
	印刷濃度	10	00 ～30	印刷濃度の調整
	濃度微調整	0	-10 ～ 10	濃度コマンドの微調整
	印刷方法	熱転写	熱転写 感熱	熱転写（リボン）／感熱紙の選択
	連続紙用紙長	4.00 IN 101.6mm	0.25～32.00 IN 6.4～812.8mm	連続紙の用紙長を設定する ※プリンタモードの時
	縦方向印刷位置	0.00 IN 0.0mm	-1.00～1.00 IN -25.4 ～25.4mm	印刷開始位置調整 （下段は mm モード時）
	横方向印刷位置	0.00 IN 0.0mm	-1.00 ～ 1.00 IN 25.4 ～25.4mm	横方向画像位置調整
	用紙センサー	透過	透過 反射 連続紙	ラベルセンサーの選択
	小型ラベル印字	Off	On Off	小型ラベル対応の設定
	小型ラベルピッチ	1.00 IN 25.4mm	0.25 ～1.00 IN 6.4 ～25.4mm	小型ラベルの用紙長設定
システム設定	センサー閾値（しきいち）	1.5V	0.0V ～3.3V	センサーのしきい値の設定
	ブザー	On	On Off	ブザーを鳴らす時の条件設定
	単位選択	インチ（IN）	インチ（IN） ミリ（mm）	単位系の設定
	最大用紙長	10.00 IN 254.0mm	1.00～50.00 IN 25.4～1270.0mm	ラベル長の最大値を設定する
	設定保護	Off	On/Off	設定値のコマンドによる変更を禁止する
	キー操作無効	Off	On/Off	キー操作による変更を禁止する
	コントロールコード	標準	標準 /ALT	DMXモードのコマンドモードの切替え（標準は STX コントロール、ALT は AS400 モード）
	コマンドセット	DM4	DM I DM4 DPP	Datamax コンパチビリティの選択 DMI　DataMax IClass DM4　DataMax 400 like DPP　DataMax Prodigy Plus
印刷後動作設定	オプション自動設定	On	On Off	**オプション装置の自動設定** On… 自動設定有効。“機能選択”の設定に関係なく剥離ユニットまたはオートカッターユニットが装着された場合は自動的に各モードが設定される。

トップメニュー	サブメニュー	出荷時	設定範囲	備考
				Off... 自動設定無効。剥離ユニットまたはオートカッターユニットを装着しているが動作をさせない場合はOffにし、“機能選択”で動作を選択する。
	機能選択	無効	無効 手切り 剥離 * カット *	**各オプションによる用紙停止位置の指定** 選択時にその装置の動作を有効にする。 また同時にfコマンドのパラメータをオプション装置ごとにエミュレートする。
	カット動作 *	印刷後	印刷後 連続	**カッター動作方法の設定** “印刷後”は常にカット後にバックフィードする。 “連続”は、複写枚数=nの時に1～n-1枚目の後端は連続でカット、単発と複写の最終頁の後端はカット後にバックフィードする。
	用紙停止位置	0.00 IN 0.0 mm	機能選択が「無効」の場合 0.00 ～ 2.00 IN 0.0 ～ 50.8mm 機能選択が「手切り / 剥離 / カット」の場合 -1.00 ～ 1.00 IN -25.4 ～ 25.4mm	**停止位置の調整** インチ / ミリの設定の場合による。上記で設定した装置毎に停止位置の初期値があり、それからの相対値で設定する。
	再印刷キー機能	無効	ラベルセット 1 枚 無効	**再印刷方法の切替** ラベルセット .... 複数枚再発行する。 1 枚 ..... 最終ページのみ 1 枚発行する。カウントの場合は続きから 1 枚のみ発行する。 無効 ..... 設定／再印刷キーによる再印刷を無効にする。
インターフェース設定	シリアル ボーレート	9600	115200 57600 38400 19200 9600 4800 2400	**シリアルインターフェースのボーレートの設定** ※インターフェース関係の各設定は電源を入れ直した後から有効。
	シリアル パリティ	無し	無し 奇数 偶数	シリアルインターフェースの通信パリティの設定
	シリアル データ長	8 ビット	8 ビット 7 ビット	シリアルインターフェースのキャラクタ長の設定
	シリアル ストップビット	1 ビット	1 ビット 2 ビット	シリアルインターフェースのストップビットの設定
	シリアル X-ON 制御	On	On Off	シリアルインターフェースの X-ON フロー制御の選択設定
	IEEE1284	On	On Off	セントロインターフェースの双方向の設定

* オプションユニット取付時のみ有効。

2.6 印刷方法の設定

メニュー設定モード(P33)

印刷方法（熱転写方式／感熱方式）の設定は、メニュー設定モード以外にコントロールパネルで行うことができます。

⚠注意

設定の変更は、必ずプリンタの印刷動作が停止した状態で行ってください。印刷中（一時停止含む）は、設定を変更することはできません。

設定のしかた

“設定／再印刷キー”を押しながら“ポーズキー”を押す毎にブザーが鳴り、熱転写方式と感熱方式が交互に切り換わります。

- 熱転写方式が選択されると、ブザーが 1 回鳴り、“設定”LED が点滅します。

  感熱方式が選択されると、ブザーが 2 回鳴り、“設定”LED が点滅します。

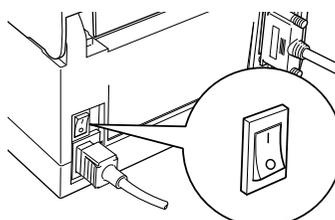
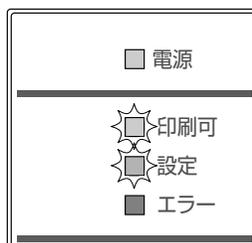
  “設定”LED が消灯すると変更を完了します。

3 プリンタの調整

3.1 センサー調整

センサー調整には、透過センサーの調整と反射センサーの調整があります。
センサー調整を行うには使用するセンサー毎に行います。
各調整はメニュー設定モードもしくは以下の方法で行うことができます。

調整モードの入りかた

1. “ポーズキー”+“フィードキー”+“キャンセルキー”を同時に押しながら電源を投入します。

2. “印刷可”LEDと“設定”LEDが点灯してからキーを離すとセンサー調整設定モードに入ります。

センサーの選択方法

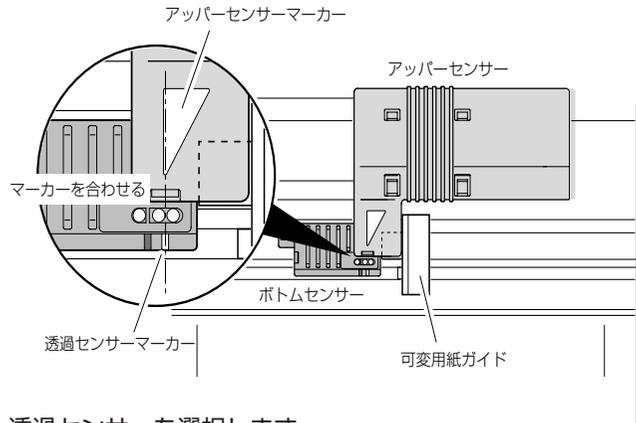
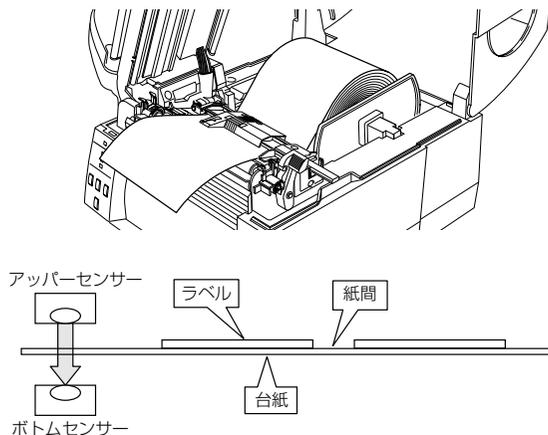
セットのしかた（P25）

センサーを選択するには、“設定”LEDが点灯した状態で設定／再印刷キーを押しながらキャンセルキーを押します。押す毎にブザーが鳴り透過センサーと反射センサーが交互に切り換わります。
透過センサーが選択されると1回ブザーが鳴り“印刷可”LEDが点灯します。
反射センサーが選択されると2回ブザーが鳴り“印刷可”LEDがゆっくり点滅します。

セットのしかた（P25）

センサーの選択方法
（透過センサー ⟷ 反射センサー）
（P41）

透過センサーの調整

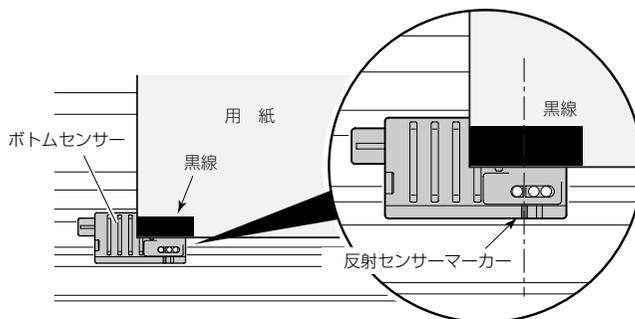
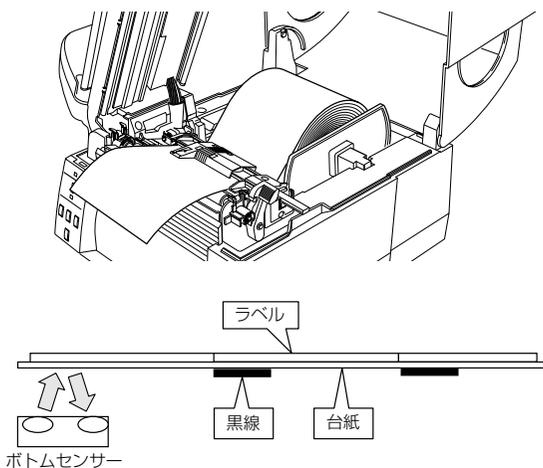
1. ヘッドオープンレバーを押して、ヘッドユニットおよびセンサーアームを開け、センサーアームのみもとに戻します。
アッパーセンサーのマーカーとボトムセンサーのマーカー（白）を用紙可変ガイドを利用して位置を合わせます。

2. 透過センサーを選択します。
3. ラベル紙をはがした台紙（グラシン紙）のみをプラテンローラー及び用紙センサーに掛かるように装着（黒線の入った用紙は黒線が用紙センサーに掛からないように注意してください。）し、ヘッドユニットをロックします。

4. 設定／再印刷キーを押しながらポーズキーを押して離すと、“印刷可”LED が消灯して“設定”LED が点灯から高速点滅に切り換わり、用紙送りを開始してセンサーを自動調整します。
5. 自動調整が正常終了すると“印刷可”LED と“設定”LED が点滅し元の状態に戻ります。

   異常終了（調整が不可能）すると“設定”LED と“エラー”LED が点滅します。
6. キャンセルキーを押すと、センサー調整モードからぬけます。

センサーの選択方法
（透過センサー ←→ 反射センサー）
（P41）

反射センサーの調整

1. ヘッドオープンレバーを押して、ヘッドユニットおよびセンサーアームを開けます。

   ボトムセンサーの反射センサーマーカーが、用紙の黒線の中央にくるようにセンサーの位置を調整してください。

2. 反射センサーを選択します。
3. 反射センサーが選択された状態でラベル紙がプラテンローラ及び用紙センサーに掛かるように装着（黒線と及び紙間が用紙センサーに掛からないようにしてください。）し、ヘッドユニットをロックします。

4. 設定／再印刷キーを押しながらポーズキーを押して離すと、“印刷可”LED が消灯して“設定”LED が点灯から高速点滅に切り換わり、用紙送りを開始してセンサーを自動調整します。
5. 自動調整が正常終了すると“印刷可”LED と“設定”LED が点滅し元の状態に戻ります。

   異常終了（調整が不可能）すると“設定”LED と“エラー”LED が点滅します。
6. キャンセルキーを押すと、センサー調整モードからぬけます。

3.2 ヘッドオフセット調整

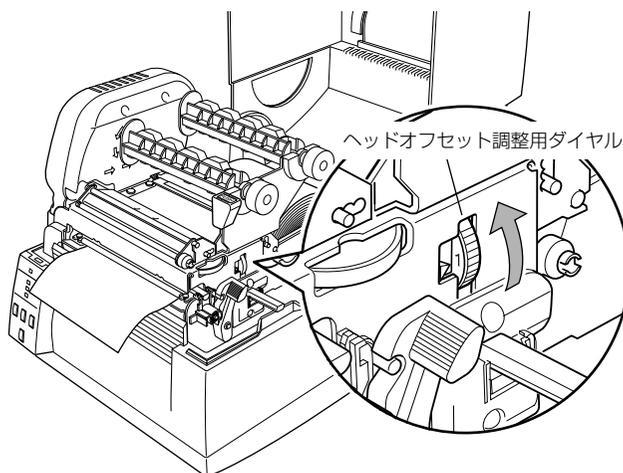
セットのしかた（P25）

用紙の種類によって､ヘッドオフセットが違うためオフセット調整が必要になります。本プリンタはヘッドオフセット調整ダイヤルを回す事により簡単に調整することができます。

●印刷の品質が悪い場合はヘッドオフセット調整を行ってください。
●印刷の片側がかすれたり、用紙が蛇行する場合はヘッドバランス調整を行ってください。（次項参照）

セルフ印刷モード（P32）

専用ラベル紙、専用感熱紙の場合

ダイヤルの番号の小さい方から大きい方へとダイヤルを1 段づつ回してテスト印刷をして調整してください。

ダイヤル	用紙の種類
0	感熱紙（薄紙）
1	ラベル紙、感熱紙など
3-5	ユポ紙、上質紙、アート紙など
6-9	5 より厚い紙

* これらの値は目安です。実際に使用される用紙の厚さにあったダイヤルに調整してください。

※工場出荷時はダイヤル“1”に設定されています。
※オフセット調整は用紙の厚さ及び用紙の硬さにより違いが発生します。

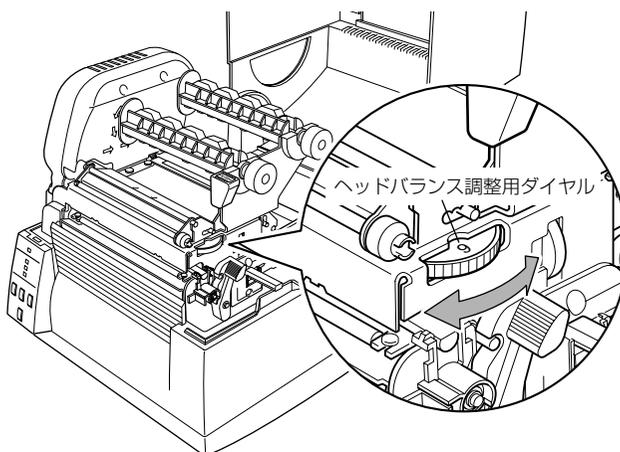
3.3 ヘッドバランス調整

セットのしかた（P25）

セルフ印刷モード（P32）

印刷する用紙の幅が変わると、ヘッド圧が変わります。ヘッドに一定のヘッド圧をかけるため、用紙幅に応じてヘッドバランス調整が必要になります。
本プリンタはヘッドバランス調整ダイヤルを回す事により簡単に調整することができます。
印刷の片側がかすれたり、用紙が蛇行する場合はヘッドバランス調整を行ってください。
調整後、テスト印刷をして確認してください。

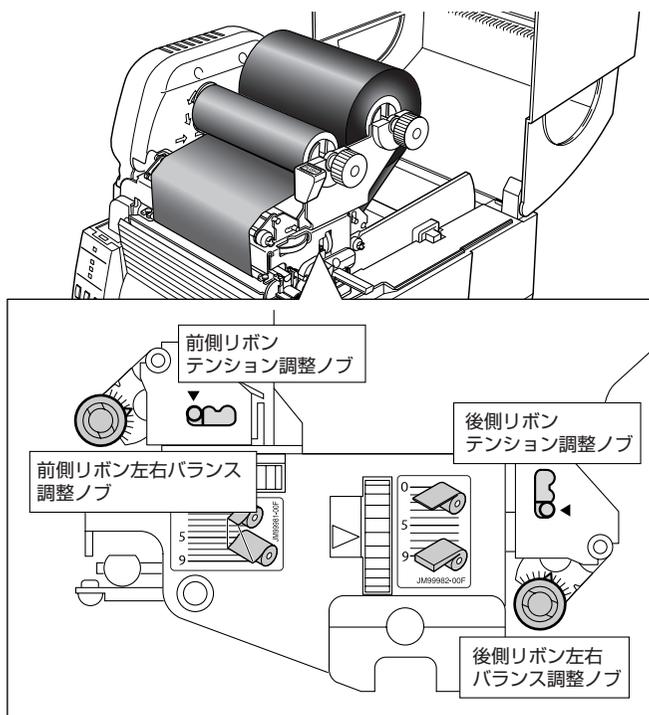
⚠注意

幅の狭い用紙を使用する場合は、必ず調整を行ってください。（行わないとごみ噛み込み等によりヘッドが破損する場合があります。）

メモリ	用紙幅 mm (inch)	ヘッド圧
0	19.5～23.0mm (0.77～0.90)	小 ↑
1	23.0～30.0mm (0.90～1.18)	
2	30.0～39.0mm (1.18～1.53)	
3	39.0～49.0mm (1.53～1.92)	
4	49.0～62.0mm (1.92～2.44)	
5	62.0～76.0mm (2.44～2.99)	
6	76.0～88.0mm (2.99～3.46)	
7	88.0～99.0mm (3.46～3.89)	
8	99.0～108mm (3.89～4.25)	
9	108～118mm (4.25～4.65)(工場出荷設定)	↓ 大

* 上記数値は目安です。

3.4 リボンの調整

リボンのセット（P28）

使用するリボンの幅が変わると、ガイドローラーなどに一定の圧力をかけるため、リボン幅に応じてテンション調整やバランス調整が必要になります。
リボンにしわが発生したり、スリップする場合はテンション調整およびバランス調整を行ってください。

リボンテンション調整

リボンテンションは、送り出し側（後側）、巻き取り側（前側）でそれぞれ３通りで組み合わせ９通りの調整ができます。

調整の目安

リボン幅４インチ：強
リボン幅３インチ：中
リボン幅２インチ：弱

セルフ印刷モード（P32）

設定後、セルフ印刷モードでテスト印刷を行い、下記の症状が発生した場合は、その都度調整してください。

●リボンにしわが発生する：テンションを強くする
●リボンがスリップする（汚れが出る）：テンションを弱くする

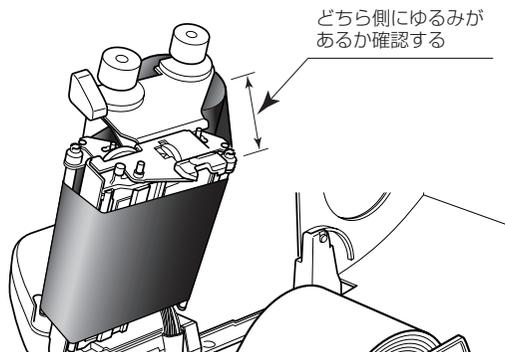
調整後、再度テスト印刷を行って、リボンにしわが発生しないか確認してください。

セルフ印刷モード（P32）

リボンバランス調整

前後のバランス調整ノブを回して、調整します。リボンにしわが発生する場合は、下記の手順で調整を行ってください。通常は目盛りの位置を中央に合わせてください。

調整の手順

1. 供給側のリボンと後側バランス調整ノブの間で、どちらにリボンのゆるみがあるかを確認してください。

■ 調整ノブの反対側がゆるんでいる場合

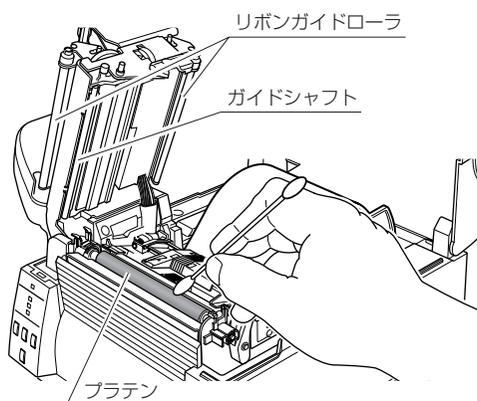
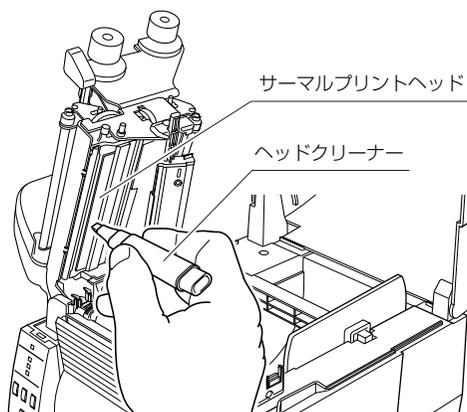
2. 前側調整ノブを左に回してゆるみをとり、セルフ印刷モードでテスト印刷を行って、しわが発生しないか確認してください。
   しわが発生した場合は、後側調整ノブを右に回して再度テスト印刷を行い、しわが発生しないか確認してください。

■ 調整ノブ側がゆるんでいる場合

2. 前側調整ノブを右に回してゆるみをとり、セルフ印刷モードでテスト印刷を行って、しわが発生しないか確認してください。
   しわが発生した場合は、後側調整ノブを左に回して再度テスト印刷を行い、しわが発生しないか確認してください。

3.5 プリンタのお手入れ

いつでも最良の状態でプリントできるように、定期的にプリンタのお手入れをしてください。
本体の表面（プラスチック部）やプラテンは、エチルアルコールを少量つけた柔らかい布、綿棒などで塵やほこりなどを拭き取ってください。
サーマルプリントヘッドは、付属の専用ヘッドクリーナーを使用してください。

注）サーマルプリントヘッドは付属のヘッドクリーナー以外は使用しないでください。

⚠注意

お手入れの際はエチルアルコール以外（ベンゼン、アセトン、シンナー等)の溶剤は使用しないでください。プリンタ本体の表面や部品などが変質・変形する恐れがあります。
プラテンのお手入れに過度にエチルアルコールを使用すると表面が硬化する恐れがあります。

4 トラブルシューティング

本章ではトラブルが発生した場合やエラーメッセージが出た時の対処法について説明します。

トラブル時のチェック項目

プリンタ本体の操作中にトラブルが発生した時は、下表を参考にして処置を行なってください。処置を施しても直らない場合は、お買い求め先のサービスマンにご相談ください。

電源の接続（P14）

プリンタのお手入れ（P48）

リボンのセット（P28）

症状	チェック	処置
プリンタの電源を投入してもLEDが点灯しない	1）電源コードのプラグが正しくコンセントに差し込まれていますか？	1）電源コードのプラグを正しくコンセントに差し込んでください。
	2）電源コードのコネクターが正しくプリンタ本体の電源インレットに差し込まれていますか？	2）もう一方の電源コードのコネクターを正しくプリンタの電源インレットに差し込んでください。
	3）電源コードが損傷していませんか？	3）電源コードを取り替えてください。その際、本プリンタの専用電源コードをお買い求め先にご相談ください。 注意：本プリンタ専用電源コード以外は使用しないでください。
	4）プリンタに使用するコンセントに電気がきていますか？	4）コンセントに電気がきているかをチェックしてください。問題がなければ建物に電気がきているかをチェックしてください。又は停電の可能性があるかどうかもチェックしてください。
	5）建物用フューズボックス内のメインフューズが切れていませんか？	5）必要ならば建物用フューズボックス内のメインフューズを取り替え、遮断器を再び入れてください。取り替えは、資格を有したサービスマンに依頼してください。
用紙はフィードするが何も印刷されない	1）サーマルプリントヘッドが汚れていませんか？ラベルが付着していませんか？	1）汚れていれば、付属のヘッドクリーナーで拭き取ってください。ラベルが付着していれば除去してください。 注意：プリンタ内部に付着したラベルを除去するのに金属性の道具は使わないでください（サーマルプリントヘッドを損傷する恐れがあります。）ラベル粘着材がサーマルプリントヘッドに付着した場合は、エチルアルコールを湿した柔らかい布等で拭き取ってください。
	2）専用のリボンを使用していますか？	2）専用のリボンを使用してください。

セットのしかた
（P25、28）

メニュー設定の一覧
（P38）

プリンタのお手入れ
（P48）

リボンのセット
（P28）

ヘッドオフセット調整
（P44）

ヘッドバランス調整
（P45）

セットのしかた
（P25、28）

プリンタのお手入れ
（P48）

LED の機能（P23）

症状	チェック	処置
本文がきれいに印刷されない	1）用紙およびリボンは正しくセットされていますか？	1）用紙およびリボンは正しくセットしてください
	2）印刷濃度が高過ぎたり又は低過ぎませんか？	2）メニュー又は制御ソフトを通して適正な印刷濃度を設定してください。
	3）プラテンが汚れていませんか、変形していませんか？	3）汚れていれば、エチルアルコールで拭き取ってください。変形していれば、取り替えてください。 **注意**：取り替えは、お買い求め先にご相談ください。
	4）サーマルプリントヘッドが汚れていませんか？ラベルが付着していませんかか？	4）汚れていれば、付属のヘッドクリーナーで拭き取ってください。ラベルが付着していれば除去してください。 注意：プリンタ内部に付着したラベルを除去するのに金属性の道具は使わないでください（サーマルプリントヘッドを損傷する恐れがあります。）ラベル粘着材がサーマルプリントヘッドに付着した場合は、エチルアルコールを湿した柔らかい布等で拭き取ってください。
	5）専用のリボンを使用していますか？	5）専用のリボンを使用してください。
	6）使用する用紙に対してサーマルプリントヘッドの位置は正しいですか？	6）ヘッドオフセット調整ダイヤルサーマルプリントヘッドのオフセットを調整してください。
	7）使用する用紙の幅に対してプリンタ本体のヘッド圧バランスは正しいですか？	7）ヘッドバランス調整ダイヤルでサーマルプリントヘッドのヘッド圧を調整してください。
印刷位置が変わる	1）用紙およびリボンは正しくセットされていますか？	1）用紙およびリボンは正しくセットしてください
	2）プラテンが汚れていませんか、変形していませんか？	2）汚れていれば、エチルアルコールで拭き取ってください。変形していれば、取り替えてください。 注意：取り替えは、お買い求め先にご相談ください。
	3）データ内容及びパソコンからの信号は適切ですか？	3）もしエラーメッセージが表示されたらソフトの内容及びパソコンに設定された通信状態をチェックしてください。

メニュー設定の一覧
(P38)

症状	チェック	処置
印刷位置が変わる	4) メニューの設定値は適切ですか？	4) コントロールパネル又はパソコンを通して正しいメニューの設定値を設定してください。
	5) 使用する用紙に対して用紙センサ感度は適切ですか？	5) 用紙感度を適切な値に設定してください。 それでも改善が見られない場合は“システム設定”メニューで“センサー閾値（しきいち）”の値を変更してください。
リボンにしわが発生する	1) 使用するリボン対して、リボンテンションは適切ですか？	1) リボンテンション調整ノブでテンションを調整してください。
	2) 使用するリボン対して、左右のバランスは適切ですか？	2) リボンバランス調整ノブで左右のバランスを調整してください。
	3) 印字濃度が高過ぎませんか？	3) メニュー又は制御ソフトを通して適正な印刷濃度を設定してください。
	4) 用紙とリボンは専用品を使用していますか？	4) 専用品を使用してください。それでも改善が見られない場合はサービスマンにご相談ください。
リボンがスリップする（リボン汚れが発生する）	1) 使用するリボン対して、リボンテンションは適切ですか？	1) リボンテンション調整ノブでテンションを調整してください。
リボンを巻取らない	1) リボンは正しい経路でセットされていますか？	1) リボンを正しい経路でセットしてください。
	2) リボンの巻き取り方向が、逆になっていませんか？	2) 正しい巻き取り方向にセットしてください。

リボンテンション調整
(P46)
リボンバランス調整
(P47)
リボンテンション調整
(P46)
リボンのセット
(P28)

付　録

仕　様

項　目		内　容	
印　字	印刷方式	感熱／熱転写	
	解像度	主走査線密度：203 dot / inch (8 dot / mm)	
		副走査線密度：203 dot / inch (8 dot / mm)	
		ヘッド　864 ドット（有効ドット832 dot ）	
	最大印刷幅	104 mm	4.1 inch
	最大印刷長	812.8 mm	32 inch
	印刷濃度	印刷濃度はプログラムで調整可能	
印刷速度	印刷速度設定	2 ～4 インチ／秒まで 1 インチ単位で指定可能	
印刷モード	バッチモード	通常印刷（1 枚又は複数枚）	
	ティアオフモード	印刷終了後、手切りカット位置まで用紙をフィードします。	
	カットモード *1	指定枚数単位でカットしながら印刷します。 カットモードには次の 2 種類の動作があります。 ・印刷後 ・連続 （連続は、前回のラベル用紙がカット位置へ来たら現在の印刷を中断してカットします。カット終了後に印刷を再開しますがこの時印刷の繋ぎ目に隙間が出来る可能性があります。）	
	剥離モード *2	ラベル印刷後、台紙からラベルを剥離します。	
用　紙	用紙タイプ	ロール、ファンフォールド （連続ラベル紙、ダイカット、感熱紙）	
	最大用紙幅	118.0 mm	4.65 inch
	最小用紙幅	19.5 mm	0.77 inch
	最小ラベル幅	19.5 mm	0.77 inch
	最小用紙ピッチ *3	6.35 mm	0.25 inch
	最大用紙厚	0.254 mm	0.01 inch
	最大用紙長	812.8 mm	32 inch
	最小用紙長	6.35 mm	0.25 inch
	最小用紙厚	0.0635 mm	0.0025 inch
	内蔵ロール径	最大外径：127 mm 紙管：25.4 ～ 76 mm	5 inch 1 ～ 3 inch
リボン	最大リボン幅	114.0 mm	4.50 inch
	最小リボン幅	25.4 mm	1.00 inch
	最大リボン長	360.0 m	1181 feet
	最大ロール径	74.0 mm	2.90 inch
	紙管内径	25.4 ± 0.25 mm	1.00 ± 0.01 inch
	最大ロール径	74.0 mm	2.90 inch
	リボンエンド検出	テンションセンサによるリボン切れ検出	

項　目		内　容
バーコード	1 次元	· Code 3 of 9　· UPC-A　· UPC-E　· EAN-13 (JAN-13) · EAN-8 (JAN-8)　· Interleaved 2 of 5　· Code 128 · HIBC (Modulus 43-used code 3 of 9)　· Codabar (NW-7) · Int 2 of 5 (Modulus10-used Interleaved 2 of 5)　· Plessey · Case Code　· UPC 2DIG ADD　· UPC 5DIG ADD · Code 93　· Telepen　· ITF 14　· ITF 16　· Matrix 2 of 5 · COOP 2 of 5
	2 次元	UPS Maxi Code、PDF-417、Data Matrix、QR Code
フォント		1 . 固定ピッチフォント 7 種 ·英数字及びカナ 2 . OCR フォント　OCR-A*4、OCR-B*4 3 . プロポーショナルフォント CG Triumvirate smooth font CG Triumvirate Bold smooth font (6、8、10、12、14、18、24、30、36、48 ポイント) · キャラクターセット: コードページ 850 準拠 4 . TrueType™ rasterizer *5 5 . 漢字フォント（ゴシック体） JIS 第一水準、第二水準、特殊記号、拡張漢字 (16、24、32、48 ドット)
制御言語		DATAMAX 言語準拠 *6
電装概要	CPU	32Bit RISC CPU
	ROM	標準搭載：FLASH ROM 12 MByte（ユーザー領域 4 MByte）
	RAM	標準搭載：SDRAM 16 MByte（ユーザー領域 4 MByte）
メディア検出センサー	透過型センサー	ラベル紙の紙間、タグ紙のノッチ、紙無し検出
	反射型センサー	用紙裏面の黒線検出、紙無し検出
	剥離ラベル検出センサー *1	
通信インターフェース	パラレル	IEEE1284 (コンパチブル、Nibble、ECP Mode)
	シリアル	2400 4800 9600 19200 38400 57600 115200bps
	USB	FULL Speed　USB1.1
通信インター フェースオプション	ネットワーク	イーサネット
表示及びスイッチ	LED	電源、印刷可、設定、エラー
	ブザー	アラームやエラー状態時等
	コントロールパネルキー	ポーズ、フィード、キャンセル、設定／再印刷
	ヘッドアップ検出 スイッチ	ヘッドオープンを検出
	電源スイッチ	電源の ON /OFF
電源		100V、50/60Hz

項　目		内　容
環境条件	動作温度条件:	温度５～35 ℃、湿度 30 ～ 80 % : 結露無き事 (条件:通気性があり自然な対流が得られる事)
	保存温度条件:	温度 -20 ～ 60 ℃、湿度５～ 85 % 注）・通気性があり、自然な対流が得られること ・ヘッドアップ状態で保存のこと ・結露なきこと ・付属のテスト用ラベル紙を除く
外形寸法		約 231(W) × 289 (D) × 263 (H) mm
重量		約 4.9 kg
付属品	ラベルプリンタ（LP-100R）	・リボンホルダ　・用紙ホルダー及び用紙ホルダーガイド　・紙管 ・ヘッドクリーナー　・電源コード　・楽らくラベル CD-ROM ・ラベルプリンタ取扱説明書
	キーボードセットモデル（LP-100RS） （上記付属品に加えて）	・専用キーボード (LP-KB100)　・付属ケーブル (USBケーブル) ・メモリカード（CF）　・メモリカード（CF）リーダ / ライタ ・AC アダプタ　・電源コード　・保証書　兼　お客様登録用紙 ・専用キーボード取扱説明書
オプション		・オートカッターユニット　・剥離ユニット ・イーサネットボード

*1、*2 別途オプションの購入が必要です。
*3 1インチ未満の用紙ピッチを使用する場合は、「印刷設定」の「小型ラベル印字」設定を有効にして下さい。
*4 OCR フォントはリーダーによって認識率が低い場合があります。
*5 Agfa Corporation よりライセンスされている UFST™・TrueType™ ラスタライザを搭載しています。
TrueType™ は Apple Computer の商標です。
UFST™ and TrueType™ rasterizer are licensed from Agfa Corporation. UFST™ is a trademark of Agfa Corporation. TrueType™ is a trademark of Apple Computer.
*6 DATAMAX® は、米国 DATAMAX 社の登録商標です。

インターフェース

本プリンタはパソコンに接続され、パソコンから転送されるコマンドに従って印刷を行います。
パソコンとのインターフェース方法は３種類あり、これに適合する機器に接続することができます。また、オプションでイーサネットでパソコンに接続することができます。

シリアルインターフェース

仕様

転送方式	調歩同期式全二重通信
信号レベル	RS-232C
ボーレイト	2400、4800、9600、19200、38400、57600、115200bps
データ長	７ビット、８ビット
ストップビット	１ビット、２ビット
パリティ	偶数、奇数、無し
コネクタ	D-SUB 25PIN

信号線とピン配置

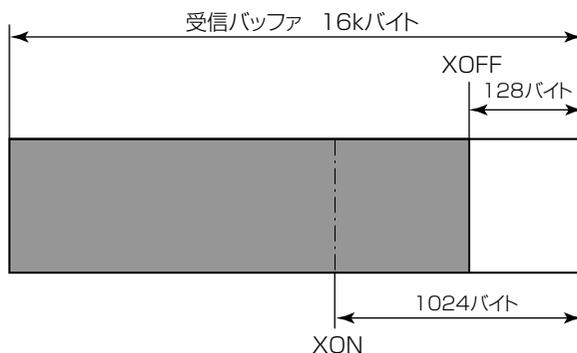
ピン番号	信号略号	信号名	機能
1	FG	保安用アース	保安用アース
2	TXD	送信データ	プリンタが外部機器へデータを出力する信号線
3	RXD	受信データ	外部機器からプリンタがデータを入力する信号線
4	RTS	送信要求	3.3KΩを介して+12V にプルアップ
5	NC	------	未使用
6	DSR	データセットレディ	外部機器がプリンタとインターフェース可能の状態のときアクティブとなる信号線
7	SGND	信号線アース	信号線のグランドレベルを示す
8-13	NC	------	未使用
14	VCC	+5V	(FACTORY USE ONLY)
15-19	NC	------	未使用
20	DTR	データ端末レディ	プリンタが外部機器とインターフェース可能の状態のときアクティブとなる信号線
21-25	NC	------	未使用

XON /XOFF プロトコル

XON コードを出力する条件

- 電源投入後に通信可能となった時。
- 受信バッファの残り容量が 128 バイト以下となり、XOFF を出力してから受信バッファの残り容量が、1024 バイト以上になった時。

XOFF コードを出力する条件

- 受信バッファの残り容量が、128 バイト以下になった時。

DTR プロトコル

DTR 信号が、“Ready (High)" になる条件

下記の条件を全て満たしている事

- 受信バッファの残り容量が、128 バイト以上の時。
  ※但し受信バッファの残り容量が、128 バイト以下となり DTR 信号が、BUSY (Low) 状態になった場合は、受信バッファの残り容量が、1024バイト以上になる迄は、BUSY 状態を保持する。

DTR 信号が、“Busy (Low)" になる条件

- 受信バッファの残り容量が、128 バイト以下になった時。

パラレルインターフェース

仕様

転送方式	8 ビットパラレルデータ
受信バッファサイズ	16kB
転送モード	**コンパチブルモード** 非同期、バイト幅の順方向（パソコンからプリンタ）チャネルであり、データのインタフェース･ラインは、セントロニクスの信号線定義に従って動作します。 **NIBBLE モード** ニブルモードはパソコンがデータ転送を制御し、非同期の逆方向転送を行います。逆方向転送時のデータは 4 本ステータスライン(FAULT、SELECT、PE、BUSY)を使用し、2 回に分けてニブル転送します。また、ニブルモードはコンパチブルモードと共に使用することで、双方向データ転送が可能となります。 **ECP モード** ECP モードは非同期の双方向データ転送が可能で、インタロックハンドシェークにより、コンパチブルモードで必要であったタイミングが不要となります。
信号レベル	IEEE1284 準拠

信号線とピン配置

ピン番号	信号名	入出力	機能
1	*STROBE	入力	8 ビットデータを読み込むためのストローブ信号
2-9	DATA1-8	入力	8 ビットパラレル信号
10	*ACKNLG	出力	8 ビットデータ要求信号
11	BUSY	出力	プリンタの BUSY 状態を示す信号
12	PERROR	出力	紙なしを示す信号
13	SELECT	出力	プリンタがオンライン状態(印刷可能)にあるか、オフライン状態(待機状態)にあるかを示す信号
14	AUTOFD	入力	無効(無視されます)
15	NC	---	未使用
16	GND	---	グランド
17	FGND	---	フレームグランド
18	P.L.H	出力	Peripheral Logic High (1k Ωで +5V にプルアップされています)
19-30	GND	---	ツイストペアリターン用グランド
31	*INIT	入力	プリンタのリセット
32	*FAULT	出力	プリンタにエラーが発生したことを示す信号
33-35	NC	---	未使用
36	SELECTIN	入力	無効(無視されます)

USB インターフェース

仕様

規格	Universal Serial Bus Spcification に準拠
転送速度	12Mbps (フルスピード)転送に対応
受信バッファ	16kB
コネクタ	DUSB DUSB-BRA42-T11(DDK)

信号線とピン配置

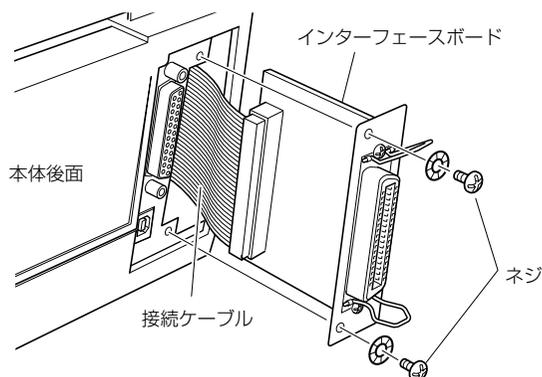
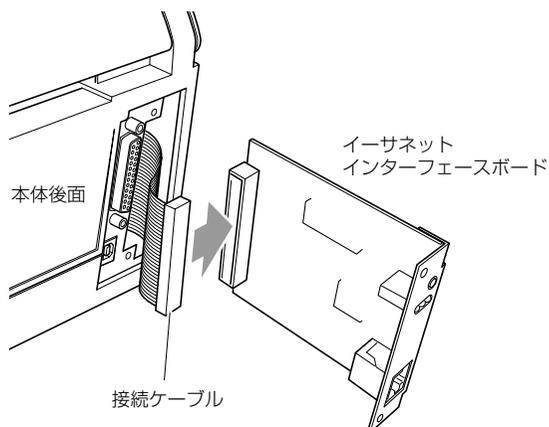
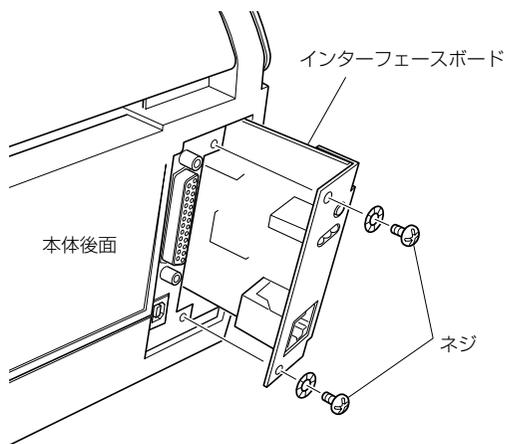
ピン番号	信号略号	信号名	機能
1	VBUS	USB 電源	USB 電源(+5V)
2	D+	信号線＋	＋信号線
3	D －	信号線－	－信号線
4	GND	GND	GND

インターフェースボードの交換

⚠注意

インターフェースボードの交換は必ずプリンタ本体の電源を切ってから行ってください。また、無理な抜き差しはしないでください。故障の原因となります。

交換のしかた

1. インターフェースボードのブラケットを固定しているネジ（2本）を取り外し、インターフェースボードを手前に引き抜きます。この時、接続ケーブルに損傷を与えるような無理な操作やケーブルの引っ張り過ぎに注意してください。
   故障の原因になります。

2. インターフェースボードから接続ケーブルを外し交換するインターフェースボードのコネクタにケーブルを接続してください。

3. 接続ケーブルを本体に引っ掛けないようにインターフェースボードをプリンタ本体に挿入し、取り外したネジ（2本）を使ってブラケットを固定します。

● 修理サービスおよび不明の点はお買い上げの販売店もしくは下記へお問い合わせください。

MAX マックス株式会社

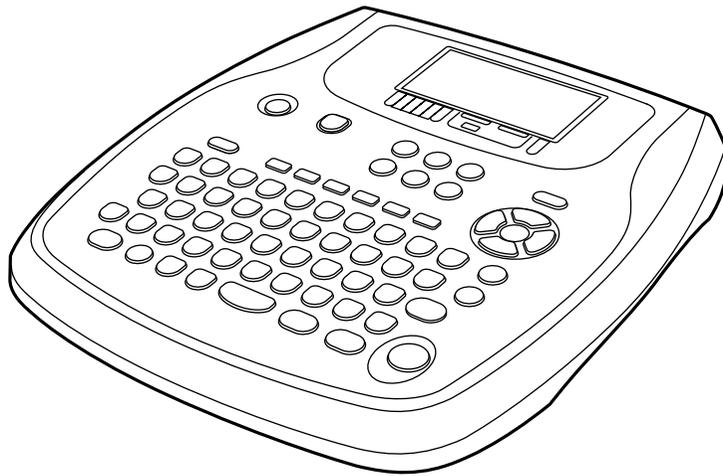
本社・営業本部	〒103-8502	中央区日本橋箱崎町6－6	TEL(03)3669-8108(代)
東京支店	〒103-8502	中央区日本橋箱崎町6－6	TEL(03)3669-8141(代)
札幌支店	〒060-0041	札幌市中央区大通東6－12－8	TEL(011)261-7141(代)
仙台支店	〒984-0002	仙台市若林区卸町東2－1－29	TEL(022)236-4121(代)
名古屋支店	〒461-0025	名古屋市東区徳川1－11－23	TEL(052)935-8531(代)
大阪支店	〒553-0004	大阪市福島区玉川1－3－18	TEL(06)6444-2031(代)
広島支店	〒733-0035	広島市西区南観音7－11－24	TEL(082)291-6331(代)
福岡支店	〒812-0006	福岡市博多区上牟田1－5－1	TEL(092)411-5416(代)
神戸営業所	〒652-0832	神戸市中央区楠町6－2－4	TEL(078)367-1580(代)
盛岡営業所	〒020-0824	盛岡市東安庭2－10－3	TEL(019)621-3541(代)
新潟マックス(株)	〒955-0081	三条市東裏館2－14－28	TEL(0256)34-2140(代)
群馬マックス(株)	〒371-0844	前橋市古市町233－5	TEL(027)210-7755(代)
埼玉マックス(株)	〒331-0044	さいたま市日進町3－421	TEL(048)651-5341(代)
千葉マックス(株)	〒284-0001	四街道市大日1870－1	TEL(043)422-7400(代)
横浜マックス(株)	〒241-0822	横浜市旭区さちが丘7－6	TEL(045)364-5661(代)
長野マックス(株)	〒399-0033	松本市笹賀8155	TEL(0263)26-4377(代)
静岡マックス(株)	〒422-8036	静岡市駿河区敷地1－3－26	TEL(054)237-6116(代)
金沢マックス(株)	〒921-8061	金沢市森戸2－15	TEL(076)240-1871(代)
兵庫マックス(株)	〒652-0832	神戸市兵庫区鍛冶屋町2－1－2	TEL(078)652-7370(代)
岡山マックス(株)	〒700-0971	岡山市野田3－23－28	TEL(086)246-9516(代)
四国マックス(株)	〒761-8056	高松市上天神町761－3	TEL(087)866-5599(代)
松山営業所	〒790-0951	松山市天山2－1－35	TEL(089)913-0608(代)
マックスサービス(株)札幌	〒060-0041	札幌市中央区大通東6－12－8	TEL(011)231-6487(代)
マックスサービス(株)仙台	〒984-0002	仙台市若林区卸町東2－1－29	TEL(022)237-0778(代)
マックスサービス(株)高崎	〒370-0031	群馬県高崎市上大類町412	TEL(027)350-7820(代)
マックスサービス(株)埼玉	〒330-0038	埼玉県さいたま市宮原町2－99－5	TEL(048)667-6448(代)
マックスサービス(株)名古屋	〒461-0025	名古屋市東区徳川1－11－23	TEL(052)935-8210(代)
マックスサービス(株)大阪	〒553-0004	大阪市福島区玉川1－3－18	TEL(06)6446-0815(代)
マックスサービス(株)広島	〒733-0035	広島市西区南観音7－11－24	TEL(082)291-5670(代)
マックスサービス(株)福岡	〒812-0006	福岡市博多区上牟田1－5－1	TEL(092)451-6430(代)

● 住所、電話番号などは都合により変更になる場合があります。

2006.10 Vol.1

LABEL PRINTER
LP-KB101

専用キーボード

取扱説明書

- ご使用の前に必ずこの取扱説明書をお読みください。
- この取扱説明書と保証書は必ず保管してください。
- 本書の内容の一部または全部を無断で転載する事は禁じられています。
- 本書の内容に関しては、将来予告なしに変更することがあります。

はじめに

このたびは、マックスラベルプリンタ専用キーボードLP-KB101をご購入いただき、誠にありがとうございます。本機はラベル作成専用ソフトウェア「楽らくラベル」で、簡単な操作でどなたにもラベルレイアウトを作成することができ、そのレイアウトを、コンパクトフラッシュカード（CFカード）に書き込み、専用キーボードにセットすることで、パソコンの無い環境でもラベル発行がおこなえます。

この取扱説明書は、機器の機能、操作方法、取り扱い上の注意などについて説明したものです。ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みいただき、正しくお使いください。
お読みになった後は、ご使用時にすぐにご覧になれるところに、大切に保管して下さい。ご使用中に操作がわからなくなったときなどにきっとお役に立ちます。

ご注意

- 本書の内容は、性能・機能の向上などにより、将来予告なしに変更することがあります。また、実際の画面表示内容が本書に記載の画面表示内容と異なることがあります。
- 本書の内容に関しては万全を期していますが、万一ご不審の点や誤りなどお気づきのことがありましたら、お手数ですが当社営業担当までご連絡ください。
- 本書の内容の全部または一部を無断で転載、複製することは禁止されています。

目次

4 その他の機能を使いこなす 32

安全にお使いいただくために

この取扱説明書では、本製品を安全に正しくお使いいただくためにいろいろな表示を使用しています。その表示と意味は次のようになっています。

警告	取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定され、絶対に行なってはいけないことが書いてあります。
注意	取扱いを誤った場合、使用者が障害を負う可能性が想定され、絶対に行なってはいけないことや物的損害のみの発生が想定され、絶対に行なってはいけないことが書いてあります。また、作成したデータが消失する可能性があり、絶対に行なってはいけないことが書いてあります。

お願い　機械が故障し修理が必要になることが想定される操作や、現状復帰するためにリセットなどの操作が必要になるので絶対に行なってはいけないことが書いてあります。

操作上のポイントおよび知っていると便利なことが書いてあります。

説明のページが異なる場合に参照するところが書いてあります。

■ 表示について

⊘	「してはいけないこと」を意味しています。 この記号の中や近くの表示は具体的な注意内容です。
△	「気をつけるべきこと」を意味しています。 この記号の中や近くの表示は具体的な注意内容です。
●	「しなければいけないこと」を意味しています。 この記号の中や近くの表示は具体的な注意内容です。

⚠ 警　告

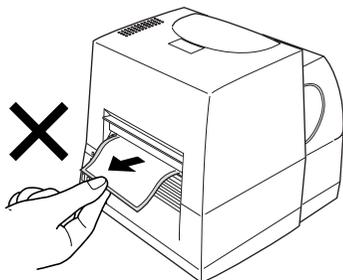
	本機は絶対に**分解または改造しない**でください。 火災、感電、故障の原因となります。
	本機の内部に指、ペン、針金などの異物を差し込まないでください。 本機が故障したり、火災、感電の原因になります。
	傷がついたり、いたんだりした電源コード、ケーブルは使わないでください。 火災・感電・故障の原因となります。
	電源は AC100V 専用コンセントを使用し、専用の AC アダプタ以外使用しないでください。 100V 以外の電源を使用すると本機が故障したり火災、感電の原因になります。
	電源は直接コンセントからとり**タコ足配線はしない**でください。 火災の原因になります。
	電源コードの上に重いものを絶対にのせないでください。 電源コードに傷がついて火災や感電の原因となります。
	濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の恐れがあります。
	水、薬品などが機械にかからないようにしてください。万一内部に水などが入った場合は電源プラグをコンセントからすぐに抜いて販売店に修理をご依頼ください。そのまま使用すると本機が故障したり、火災、感電の原因になります。
	故障のまま機械を使わないでください。煙が出ている、変な音やにおいがするなど、故障状態のまま使用すると火災、感電の原因になります。すぐに電源プラグをコンセントから抜いて販売店に修理をご依頼ください。
	プリンタのカッター部には、絶対に手や物を差し入れないでください。機械の故障の原因になるばかりでなく身体上の危険を生じることがあります。
	プリンタは必ず水平に設置してください。ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に設置しないでください。倒れたり台から落ちたりして、けがや故障の原因になります。

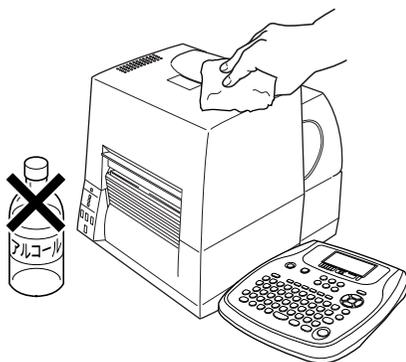
⚠ 注 意

禁止	**大きな容量を必要とする機器**（冷暖房機器、冷蔵庫、電子レンジ、OA 機器等）と**コンセントは共用しない**でください。電圧が下がり機械が誤動作する可能性があります。
禁止	**紙や布を本機の上にかぶせたり置いたりしない**でください。火災や故障の原因になります。
電源プラグを抜く	**連休等で長期間ご使用にならないときは、安全のために必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。**
!	**メモリカード（CF）の装着脱は、必ず［メモリカード取出し］キーが消灯した状態で行なってください。**［メモリカード取出し］キーの点灯中にメモリカード（CF）を装着脱すると、保存したデータが消失したり故障する場合があります。
!	**電源プラグは定期的に清掃してください。**長い間にホコリなどがたまり、火災や故障の原因になります。
!	電源プラグを抜くときは、**電源コードを引っ張らずに必ず電源プラグを持って抜いてください。**コードが破損して火災や感電の原因になります。
電源プラグを抜く	**設置場所を移動するときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いて行って**ください。電源プラグをつないだまま移動させるとコードが傷つき、火災、感電の原因になります。
⚠	**パソコンやメモリカード（CF）に保存した内容は、永久的な保存はできません。**故障、修理などに起因するデータ消失による損害、ならびに逸失利益については、責任を負いかねます。予めご了承ください。
接触禁止	**プリンタの印字ユニットには絶対にさわらない**でください。発行直後の印字ユニットは高温になっており、やけどをする恐れがあります。また、手の汚れが印字ユニットの故障の原因になることがあります。
!	**プリンタ内部にラベル、異物等がはさまるなどで、印字やラベルカットが正常に動作しない場合は、必ず電源を切ってから取り除いてください。**プリンタが不意に動作したとき、けがの原因になります。
!	**プリンタのトップカバーの開閉時には、手等をはさまないように注意してください。**
!	**プリンタを移動させる時は、必ずトップカバーを閉め、本体底部を持って運んでください。**落下等でけが、故障の原因になります。

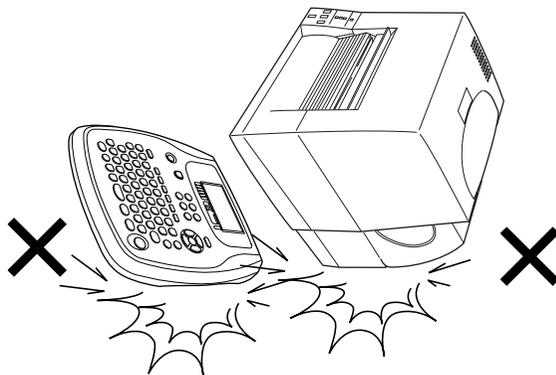
使用上の注意

トラブルを避け故障を未然に防止するために、下記の事項を必ず守ってください。

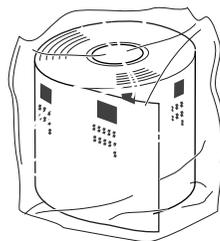
● プリンタの電源が入っているときに、ラベルをセットした状態で強く引っ張らないでください。

● コネクタには直接手で触れないでください。静電気により故障の原因となる場合があります。

● 専用キーボードやプリンタの汚れを落とす際には乾いた柔らかい布で拭いてください。
有機溶媒（アルコール、ベンジン、シンナーなど）や濡れ雑巾などは使用しないでください。機械が変形したり、変色することがあります。

● トラブルの原因になりますので、次のような場所では使用及び保管はしないでください。

- 直接日光の当たる場所やヒーター等熱源に近い場所
- ホコリや湿度の多い場所
- 振動や衝撃の加わる場所
- 温度が5℃以下、35℃以上になる場所で使用しないでください。
- 温度が0℃以下、40℃以上になる場所に保管しないでください。

● 落としたり、ぶつけたりして、強いショックを与えないでください。

● 専用キーボードのLCDディスプレイを強く押さないでください。割れることがあります。

● 消耗品（ラベル）は専用のものをお使いください。その他のものをご使用になると正常に動作しなかったり、発行できない場合があります。

● ラベルにホコリやゴミ等が付着すると、発行時にスジ状に印字が抜けることがあります。ラベルの保管は梱包の中に入っていたビニール袋に入れ、ホコリやゴミが付着しないようご注意ください。
なお、ホコリやゴミが付着した場合は、布などで取り除いてからご使用ください。

● プリンタ（LP-100R/LP-100HR）で使えるラベルは、専用熱転写紙、および専用感熱紙です。
ラベルの保管は、**直射日光や高温多湿の場所を避け、冷暗所に保管して**ください。

バーコード入りラベルを発行するときのご注意

プリンタ（LP-100R/LP-100HR）でJANコードなどのバーコードを含むラベルを発行する場合は、印字抜けにご注意ください。
ラベルプリンタLP-100R/LP-100HRでは、電源ON時にヘッド素子の検査を行っており、異常時にエラー500～502を表示します。詳しくは97ページを参照してください。

● ヘッドユニットにエラー（500～502）が出たときには、速やかにヘッドユニットを交換してください。

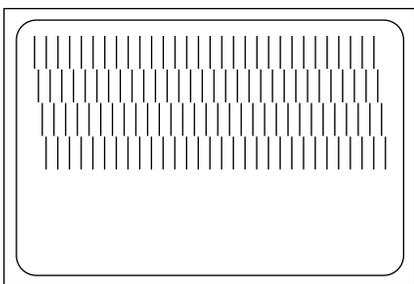
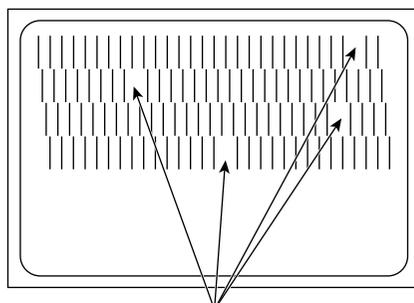
お願い

● 1日の作業開始前に、必ず以下の手順で印字抜けの状態を確認してください。

❶ 「分類選択」画面で、[シフト] キーを押しながら [0]（ためす）キーを押します。

印字抜けチェックパターンが発行されます。

● 線が抜けているよう見える場合は、印字抜けが発生しています。

- 印字抜けがない場合

- 印字抜けがある場合

❷ 印字抜けチェックパターン発行後、「分類選択」画面に戻ります。

お願い

● 印字抜けが確認された場合は、ラベル発行を止め、印字ユニットやローラーをクリーニングしてください。再度、「印字抜けチェック」を行ない改善しない場合は、すみやかに印字ユニットを交換してください。

クリーニング方法は「ラベルプリンタ取扱説明書」を参照してください。

⚠ 注　意

プリンタの印字ユニットの交換はご購入販売店様までご依頼ください。

バーコードは、細バーサイズ3ドット以上でご使用になることをお奨めします。

バーコード印字不良などによる損害、ならびに逸失利益については、弊社では責任を負いかねます。予めご了承ください。

1 まず確認しましょう

1.1 付属品を確認しましょう

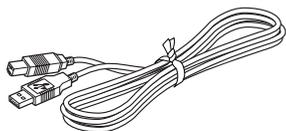
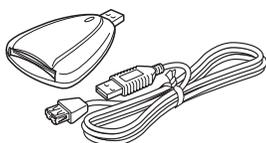
本製品を使用される前に、以下の付属品が揃っているか確認してください。万一、不足や破損がある場合は、お手数ですが、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

□ 専用キーボード（LP-KB101）

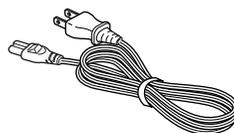
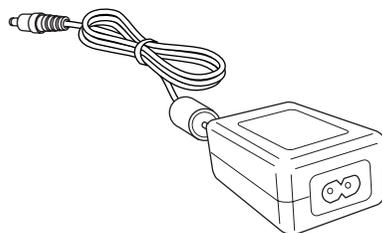
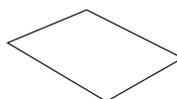
□ ラベルプリンタ（LP-100R/LP-100HR）

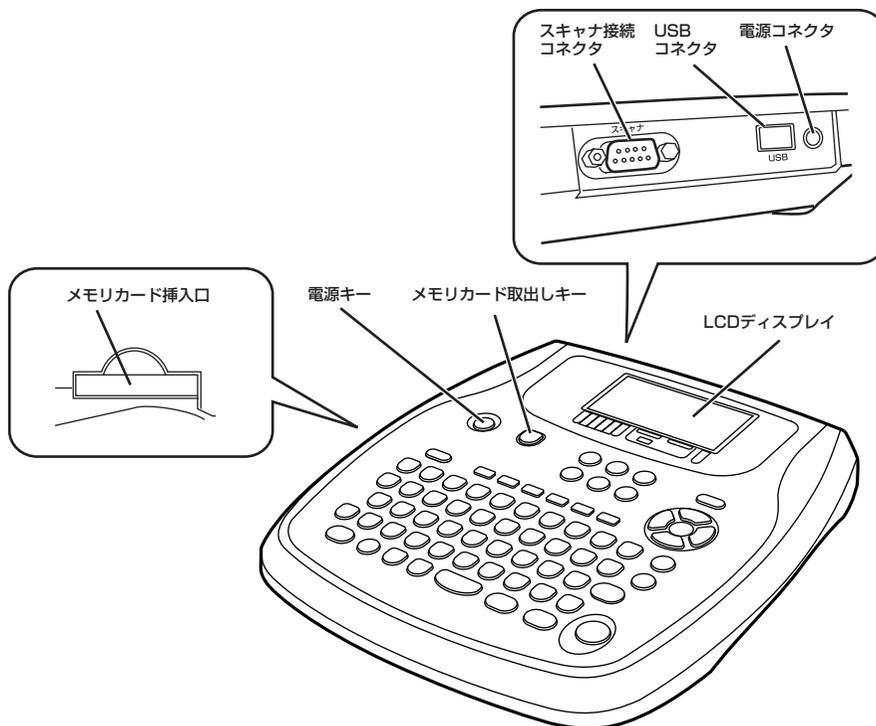
プリンタとその付属品については、「ラベルプリンタ取扱説明書」を参照してください。

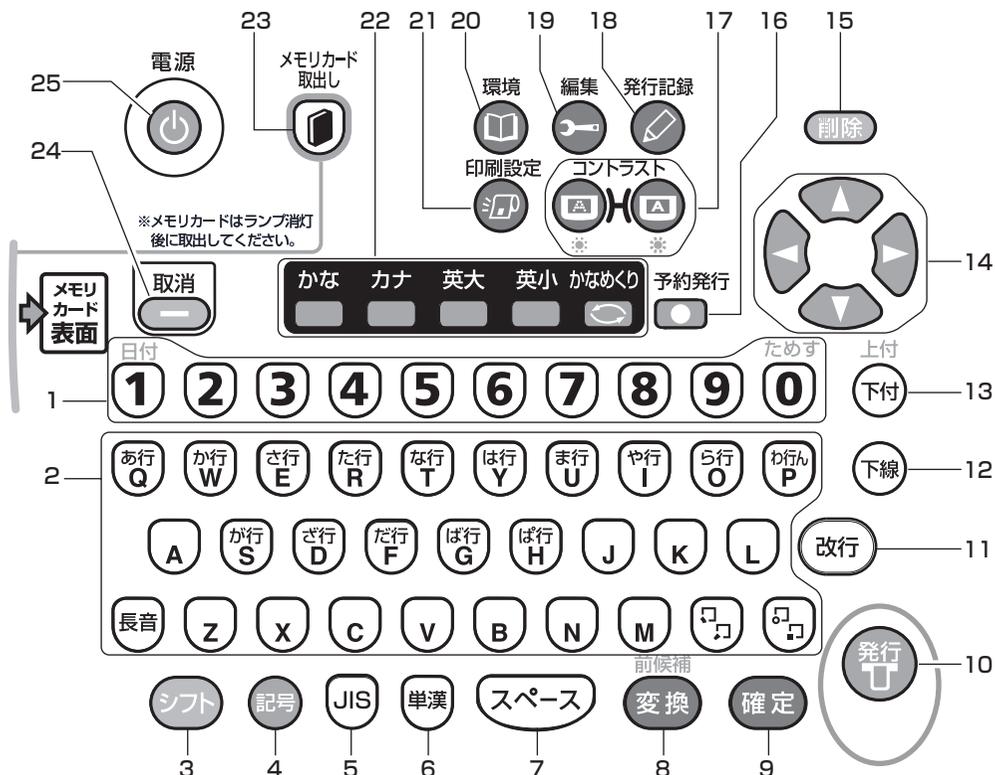
□ 付属ケーブル（USB ケーブル）

□ 電源コード

□ メモリカード（CF）リーダ／ライタ

□ AC アダプタ（LM12407）

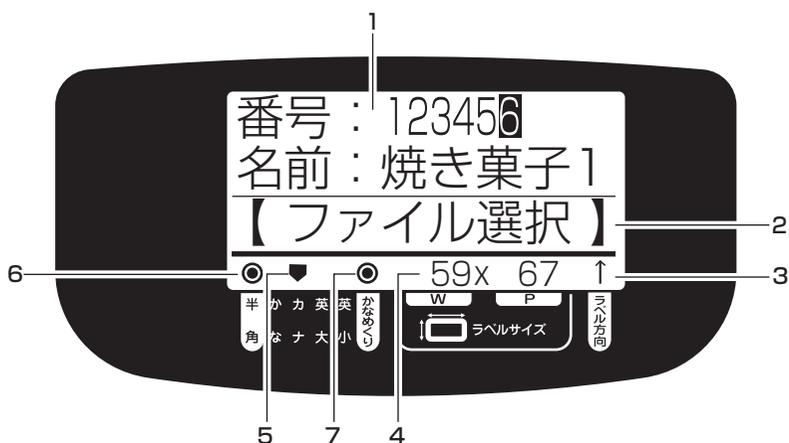
□ メモリカード（CF）

□ 専用キーボード取扱説明書（本書）

□ 保証書 兼 お客様登録用紙

1.2 各部の名称

専用キーボード外観

プリンタの外観、および各部の名称については、「ラベルプリンタ取扱説明書」を参照してください。

専用キーボード操作部

番号	キー名称	機　能	参照ページ
1	数字	発行枚数など数字を入力します。	40
2	文字	ラベルデータの修正のときに文字入力します。	35
3	シフト	青文字でキーボード上に表記されている機能を使う場合に、そのキーと一緒に押します。	45
4	記号	単位や記号を入力します。	42
5	JIS	JIS コード入力モードになります。	43
6	単漢	難しい漢字などの入力時に使います。単漢字入力モードになります。	37
7	スペース	ラベルデータを修正する際、空白（スペース）を挿入するときに押します。	44
8	変換	漢字変換するときに押します。	36
	前候補（シフトキーを押しながら変換）	漢字変換時にひとつ前の変換候補を表示するときに押します。	36
9	確定	選択項目を確定するときや、漢字の変換候補を確定するときに押します。	35
10	発行	ラベルを発行するときに押します。発行時の入力項目の確定もこのキーを使います。また、発行中は発行を中断します。	29

番号	キー名称	機　能	参照ページ
11	改行	ラベルデータの修正のときに、改行マークを入力します。	43
12	下線	ラベルデータの修正のときに、下線マークを入力します。	44
13	下付	ラベルデータの修正のときに、下付マークを入力します。	45
	上付 （シフトキーを押しながら下付）	ラベルデータの修正のときに、上付マークを入力します。	45
14	カーソル	ファイルの選択やカーソルを移動させるとき、項目の選択時などに押します。	29
15	削除	文字を削除するときに押します。	47
16	予約発行	複数の種類のラベルを一度に発行したい場合に、あらかじめ予約して発行します。	63
17	コントラスト	LCD ディスプレイの表示のコントラストを変えるときに押します。	85
	明るさ （シフトキーを押しながらコントラスト）	LCD ディスプレイの表示の明るさを変えるときに押します。	85
18	発行記録	発行記録を印刷したり、データとしてメモリカードに書き出すときに押します。	86
19	編集	表示しているラベルデータの修正をするときに押します。	46
20	環境	環境設定を変更するときに押します。	76
21	印刷設定	印刷設定を変更するときに押します。	71
22	入力	入力モードを変えるときに押します。 画面左下のインジケータが変わります。 操作画面で入力できない入力モードはキーを押しても受け付けません。	32
23	メモリカード取出し	メモリカード（CF）がセットされると点灯します（専用キーボードとプリンタを接続して使う場合は、メモリカードが必要です）。 メモリカード（CF）を取り出すときに押します。カードランプが消灯してからメモリカードを取り出します。	29
24	取消	操作中の画面をキャンセルして、前の画面に戻ります。	33
25	電源	専用キーボードの電源を ON ／ OFF します。	29

ディスプレイ

番号	名称	機　能	参照ページ
1	テキスト表示エリア	ファイル No. や編集中の文字、数値などを表示します。	29
2	モード表示エリア	現在のモードや状態を表示します。	29
3	ラベル方向エリア	選択されているラベルデータのラベル方向を表示します。	29
4	ラベルサイズ表示エリア	選択されているラベルデータのラベルサイズを表示します。	29
5	入力モードインジケータ	現在の入力モードを表示します。	32
6	半角インジケータ	半角モードにすると点灯します。	33
7	かなめくりインジケータ	かなめくりモードにすると点灯します。	33

1.3 本機でできること

本機は、お客様の環境にあわせて二種類の運用方法で使うことができます。

専用キーボードとプリンタを接続してラベルを発行するモード

■ パソコンで作成したラベルデータをメモリカード（CF）を介して簡単に発行できます。

- あらかじめお使いのパソコンにラベルプリンタのプリンタドライバをインストールしてください。
- パソコンから直接ラベルを発行してレイアウトの確認ができます（レイアウトによっては若干位置がずれることがあります）。
- 作成したレイアウトをメモリカードに保存して専用キーボードにセットすると、専用キーボード単体でラベル発行できます。また、専用キーボードでは、賞味期限や日付などの簡単なラベルデータの修正ができます。

■ バーコード入りのラベルが発行できます。（JAN8/13、Code39、Code128、ITF、QR コード）

バーコードの設定は、あらかじめパソコンで作成するラベルデータで行ないます。

■ パソコンと非常に親和性の高い操作性を実現しています。

パソコン用のレイアウトソフト「楽らくラベル」では、プリンタに搭載している専用フォントをパソコン上で表示することができるほか、数値や設定なども可能な範囲で入力するように制約されています。そのため、プリンタで実際に発行するレイアウトに近い表現を画面上で確認しながらラベルデータを作成することができます。

パソコンとプリンタを接続してラベルを発行するモード

■ Windows パソコン用の感熱ラベルプリンタとして使えます。

あらかじめお使いのパソコンにプリンタ（LP-100R/LP-100HR）のプリンタドライバをインストールしてください。

■ パソコンから直接発行する場合は、自由なデザインでラベルを作れます。

Windows の TrueTypeFont が使用でき、バーコードの種類、文字サイズ、文字幅の選択も広がります。

■ USB 接続のプリンタとして使えます。

ノートパソコンなどパラレルコネクタ（プリンタケーブルを接続するコネクタ）の無いパソコンでも簡単に接続できます。

メモ

● 「楽らくラベル」から他のドキュメント用プリンタに出力することも可能ですが、動作保証はしておりません。

1.4 操作の流れ

ここでは、あらかじめパソコンでラベルデータを作成しておき、日常のラベル発行作業を専用キーボードから行う操作の流れについて図解しています。

パソコンから直接ラベルを発行する操作については、「楽らくラベル取扱説明書」を参照してください。また、プリンタドライバのインストールについては、「ラベルプリンタ取扱説明書」を参照してください。

はじめてお使いのときのみの準備

ソフトウェア「楽らくラベル」とプリンタドライバをパソコンにインストールします。

「楽らくラベルをインストールする」20～21ページ

↓

日常のラベル作成・発行作業

【データ作成】パソコンでラベルデータを作成します。

「楽らくラベル」でラベルデータを作成します。

「例文を呼び出す」25～26ページ

↓

作成したラベルデータをパソコンに保存します。
また、メモリカード（CF）にデータを書き出します。

「ラベルデータをメモリカード（CF）に書き出す」27～28ページ

↓

【プリンタと専用キーボードの準備】

プリンタに専用ラベルをセットします

「ラベルプリンタ取扱説明書」を参照してください。

↓

専用キーボードにメモリーカード（CF）をセットします。

「メモリカード（CF）を専用キーボードにセットする」29ページ

↓

【専用キーボードからラベルの発行ができます】

ラベルデータを呼び出します。

「ファイルを指定してラベルを発行する」29～30ページ

↓

内容の一部変更や枚数を指定し発行します。

「ファイルを指定してラベルを発行する」29～30ページ

1.5 動作環境

以下の条件に適合したパソコンをお使いください。下記以外のパソコンでの動作は保証しかねます。

共通の使用条件	「Designed for Windows」のロゴが表記されている DOS/V 機 ※ 以下の動作環境は OS の制約により異なる場合があります。 プロセッサ　：Intel Pentium III 400MHz 以上、または これと互換のプロセッサ メモリ　：128MB 以上 ハードディスク　：空き容量が 300MB 以上あること CD-ROM ドライブを使用できること 画面サイズ　：1024 × 768（XGA）以上
必要なコネクタ	USB コネクタ、パラレルポート（IEEE1284）
対応 OS	Windows Vista/XP/2000
対応 OS に関するご注意	※ 対応 OS は、プリインストールマシンまたはクリーンインストールマシンに限っての動作保証となります。（アップグレード版は当社の動作保証外となります。） • プリインストールマシンとは予めパソコンメーカーが Windows をインストールした状態で工場出荷しているパソコンです。 • クリーンインストールマシンとは、各 Windows 動作環境を満たしたパソコンを初期化して Windows をインストールしたパソコンです。この場合、OSが正常に動作することが確認されているパソコンに限ります。 • Windows Vista、Windows XPの64bit版には対応しておりません。

1.6 インストールについて

楽らくラベルやプリンタドライバなどのインストールには、次の制約や注意事項があります。

■ インストール時の注意事項

- ● インストールおよび使用には「管理者」または「Administrators」グループのメンバーでのログインが必要です。
- ● インストール後に再起動します。複数ユーザーでログインしている場合は、管理者のみとし、他ユーザーはログオフしてからインストールしてください。
- ● プリンタはローカルプリンタとしてご使用ください。ネットワークプリンタとしての動作はできません。
- ● 必ず、添付の CD-ROM で起動するインストーラをお使いになりインストール、またはアンインストールしてください。
- ● 添付のCD-ROMからのインストールの際は、必ずご使用になる機種名（LP-100R/LP-100HR）のプリンタドライバのみインストールしてください。

■ 制約事項及びその他の注意点

楽らくラベルやプリンタドライバの動作には、次の制約や注意点があります。

- ● 楽らくラベルを Windows Vista、Windows XP、Windows 2000 で使用する場合、管理者（または Administrator）権限でログインしてご利用ください。
  ユーザー権限でログインすると使用できません。
- ● メモリカード（CF）のドライブ位置を設定してください。
  専用キーボードからラベルを発行する場合、メモリカード（CF）にデータを書き出すには、あらかじめメモリカード（CF）のドライブ位置を設定する必要があります。
  楽らくラベルをインストール後、「ファイル」－「設定」で「CF ドライブ位置」を設定してください。
  正しく設定されていないと、メモリカード（CF）へデータを書き出すことはできません。
  また、メモリカードリーダ／ライタを使用時のみパソコンに接続してお使いの場合、メモリカード ドライブ位置が毎回変わる場合がありますので、ご確認ください。

お願い

- インストールは、必ず本書に記載の手順通りに行なってください。
  （必ず添付の CD-ROM から起動するインストーラをお使いください。）
- 旧バージョンからアップデートする場合は、一度本書に従ってアンインストールしてから、再度インストールしなおしてください。
  ※このときお客様が作成したデータは削除されません。
- 本書とは異なる方法でインストールまたはアンインストールすると全く動作せず、修復に大変手間がかかる場合があります。わからなくなったところで、すぐにお問合せください。
  お客様相談ダイヤル：0120-510-200

メモ

- プリンタ、専用キーボード及びソフトウェア（楽らくラベル）に関する最新情報が、添付のCD-ROMの README ファイルに記載されています。必ずご一読ください。

2 作業の準備

2.1 パソコンの準備

ここでは、専用キーボードとプリンタを接続してラベルを発行するための準備について説明しています。パソコンから直接ラベルを発行するための準備については、「楽らくラベル取扱説明書」を参照してください。

楽らくラベルをインストールする

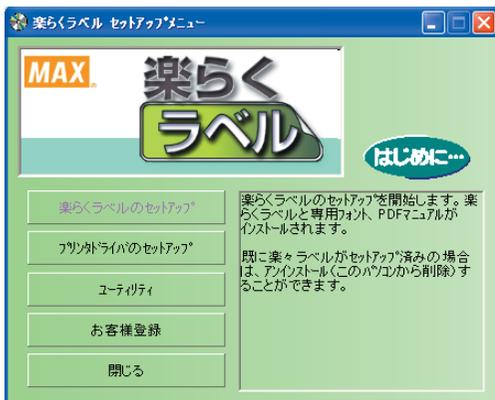
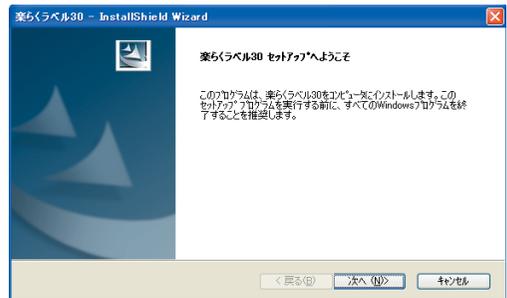
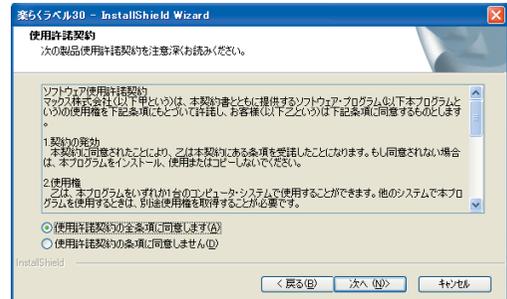
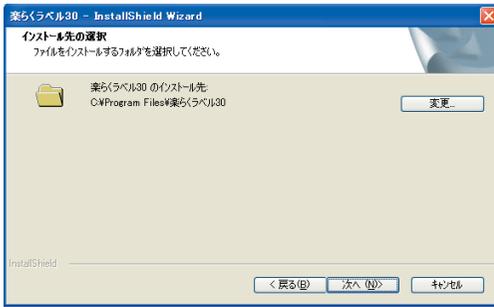
お願い

- プリンタドライバのインストールは、あらかじめプリンタをパソコンに接続し電源をONにすることで立ち上がる新しいハードウェアウィザードをキャンセルして行ってください。

詳しくは「ラベルプリンタ取扱説明書」を参照してください。

- あらかじめ起動しているアプリケーションソフトやウィルススキャンソフト等の常駐型ソフトをすべて終了します。

1. 添付のCD-ROMをパソコンにセットします。
「楽らくラベル」のセットアップメニューが表示されます。

2. [楽らくラベルのセットアップ] をクリックします。

3. [次へ] をクリックします。

4. 使用許諾契約をお読みいただき、ご同意いただいた上で [次へ] をクリックします。

⑤ プログラムフォルダが「楽らくラベル 35」になっていることを確認し［次へ］をクリックします。

⑥ ［インストール］をクリックします。

インストールが始まります。

⑦ ［完了］をクリックします。

「楽らくラベル」のセットアップメニューに戻ります。

メモ

- ラベル作成ソフト「楽らくラベル」には、製品に添付されているスタンダード版以外に、別途有償でお買い求めいただく Pro 版があります。
  スタンダード版と Pro 版の機能の違いは以下の通りです。
  スタンドアロンで使用できる機能です。

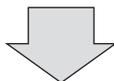
	楽らくラベル スタンダード版	楽らくラベル Pro 版
バーコード	JAN8/13、ITF、CODE39、QR コード	JAN8/13、ITF、CODE39、CODE128、QR コード
インストアバーコード	JAN8/13	JAN8/13、CODE39、QR コード
発行者管理	なし	あり
連番開始番号	あり（LP-100HR のみ）	あり（LP-100HR のみ）

2.2 プリンタと楽らくラベルの準備

プリンタの準備、プリンタドライバのインストール、ラベルのセット方法については、「ラベルプリンタ取扱説明書」を参照してください。また、ソフトウェアの環境設定については「楽らくラベル取扱説明書」を参照してください。

プリンタの準備

プリンタを箱から取り出して梱包を解きます。

プリンタに電源ケーブルを接続し、コンセントにつなぎます。

プリンタドライバのインストール

パソコンとプリンタを付属ケーブル（USB ケーブル）で接続し、プリンタの電源を ON にし、立ち上がる新しいハードウェアの検出ウィザードを終了します。

楽らくラベル CD に収録されているプリンタドライバインストールウィザードでプリンタドライバをインストールします。

● USBハブを用いると正しく認識されない場合があります。

「ラベルプリンタ取扱説明書」

ソフトウェアの環境設定

Windows上でインストールしたプリンタを確認し、はじめに表示したいラベルサイズを設定します。

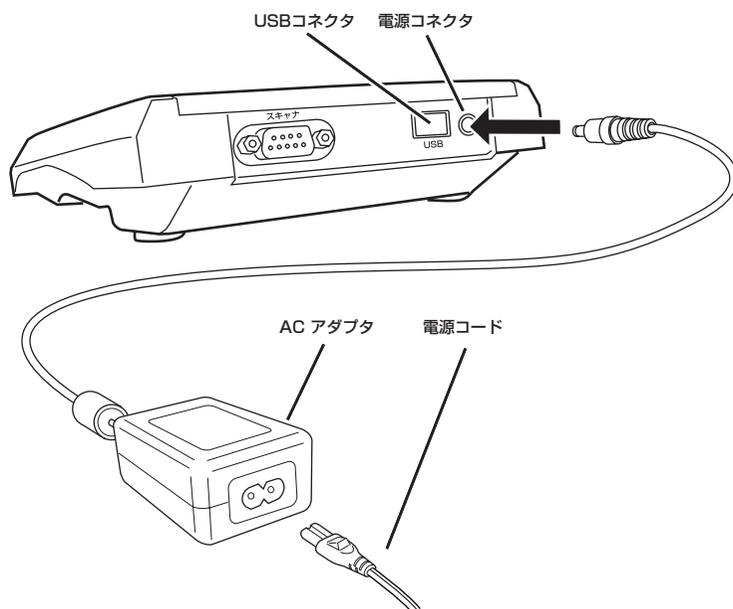
パソコンに専用キーボードに付属するメモリカードリーダ／ライタを接続し、「楽らくラベル」からメモリカード（CF）の場所（ドライブ位置）を設定します。

印刷の準備

プリンタにラベルをセットします。

2.3 専用キーボードの準備

専用キーボードには、下図のように付属の AC アダプタを接続します。
AC アダプタには電源コードを接続してコンセントにつないでください。

メモ

● 専用キーボードからラベルを発行するときは、USB コネクタに付属ケーブル（USB ケーブル）を接続し、プリンタと接続します。

3 基本的な使い方をマスターする

3.1 パソコンからメモリカード（CF）に書き出す

ここでは、あらかじめ楽らくラベルでラベルデータを作成済みとして説明しています。
作成したラベルデータをメモリカードに書き出すことで、専用キーボードからラベルの発行ができるようになります。
ここからの説明は LP-100RS を例に説明を行います。LP-100HR をお使いのお客様は読み替えてください。

メモ

- メモリカードに書き出したデータ形式は、パソコン上で保存した編集可能なデータの形式と異なります。したがって、パソコン上で作成したデータをメモリカードにコピーしても専用キーボードからラベル発行ができません。
- メモリカードに書き出したデータはパソコン上では編集できません。あらかじめパソコン上でもわかりやすい名前をつけて保存するようにしてください。

楽らくラベルを起動する

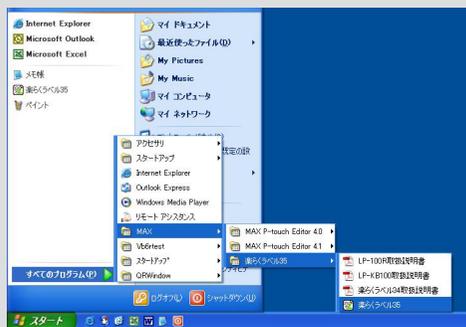
❶ **デスクトップの楽らくラベル35アイコンをダブルクリックして楽らくラベルを起動します。**

「楽らくラベルメニュー」画面が表示されます。

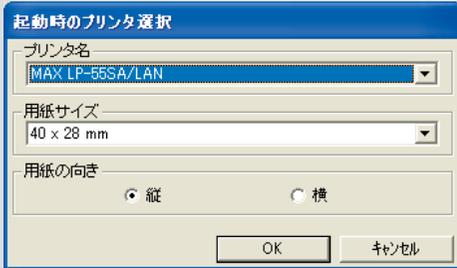
❷ **[本体のみでラベル発行するデータを作る]を選択します。**

「楽らくラベル」が起動します。

メモ

- デスクトップにアイコンがない場合に「楽らくラベル」を起動するには、[スタート] – [すべてのプログラム（プログラム）] – [MAX] – [楽らくラベル 35] – [楽らくラベル 35] をクリックします。

- 楽らくラベルは改良のため予告なくバージョンアップすることがあります。この場合、「楽らくラベル35」の「35」が異なる数字になります。

メモ

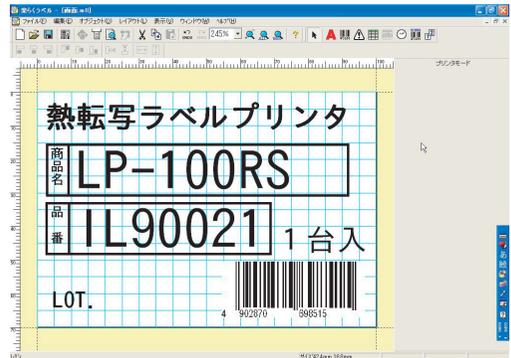
- ほかのマックスラベルプリンタ（LP-80やELP-60S など）のプリンタドライバがインストールされているときは、楽らくラベル起動時に次の画面が毎回表示されます。機種名、用紙サイズ（ラベルサイズ）を選んで［OK］をクリックし起動してください。

- はじめに表示される用紙サイズ（ラベルサイズ）を変更したいときは、「スタート」-「プリンタ（またはプリンタとFAX）」-（お使いの機種）で右クリックしプロパティを開きます。「印刷設定」をクリックして用紙サイズを選択し［OK］をクリックします。

例文を呼び出す

楽らくラベルのサンプルデータを呼び出します。

1. **楽らくラベルの［例文呼出］アイコンをクリックします。**
   サンプルデータ選択ウィンドウが表示されます。

2. **機種名、分類を選択します。ここでは機種名「LP-100R」、分類「物流 10070」を選択します。**

3. **参考にするラベルデータを選択し、［OK］をクリックします。**
   レイアウト画面に例文が呼び出されます。

4. **ラベルの内容を修正します。**

5. **付属ケーブルでプリンタを接続している場合は、ここで［ファイル］-［発行］を選び、「発行」画面で［OK］をクリックするとテスト発行できます。**

- 文字を修正するには、該当する文字枠の上でダブルクリックします。カーソルが中に表示されますので、文字を追加・削除して修正します。
- 文字枠を削除した場合は、楽らくラベルの「文字枠作成」アイコン（A）をクリックし、文字を入力したい範囲をドラッグします。
- 専用キーボードからラベルの内容を修正・登録する可能性がある場合は、変更したいオブジェクトを選択したときに画面右側に表示されるプロパティの「本体で編集する」にチェックします。専用キーボードでの編集機能の対象となります。
  このときプロパティの「本体での表示名」にわかりやすい名前を付けておくと、専用キーボードでの編集作業時につけた名前が画面に一緒に表示され、何を修正しようとしているかがわかりやすくなります。
  また、専用キーボードからラベルを発行する時に毎回項目を修正したい場合は、変更したいオブジェクトを選択したときに画面右側に表示されるプロパティの「発行時変更」にチェックします。専用キーボードからラベルを発行する時に毎回、入力を促す画面が表示されます。
- ほかのマックスラベルプリンタ用に作成されたデータ（LP-80用、ELP-60S用など）を開くと、次の画面が表示されます。
  用紙サイズや用紙の向きを確認し、選択されたプリンタ用にあらかじめ登録された用紙サイズを選択します。

各オブジェクトの詳しい設定方法・内容については、「楽らくラベル PDF マニュアル」を参照してください。

ラベルデータをメモリカード(CF)に書き出す

楽らくラベルを使い、作成したラベルデータをメモリカードに書き出します。

- メモリカードに書き出す前に、[ファイル] − [設定] でメモリカードリーダ／ライタの場所（CF ドライブ位置）を指定してください。
  お買い上げ時の設定は e:¥ です。

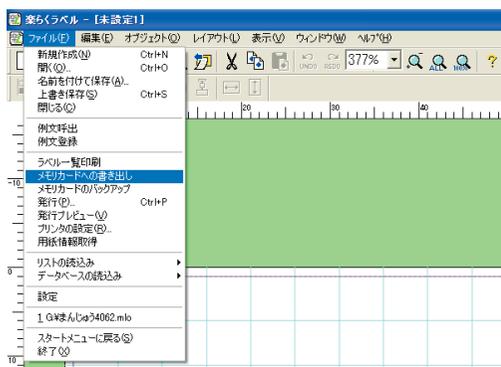
設定方法について、詳しくは「楽らくラベル取扱説明書」を参照してください。

❶ 付属のメモリカードリーダ/ライタをパソコンに接続します。

パソコンがメモリカードリーダ / ライタを認識するまで数秒待ちます。

詳しくはメモリカードリーダ／ライタ付属の取扱説明書を参照してください。

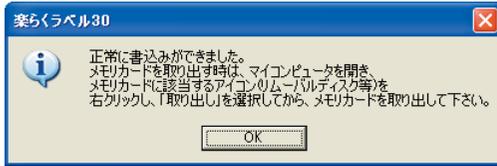
❷ メモリカード（CF）をメモリカードリーダ/ライタにセットします。

❸「楽らくラベル」のファイルメニューで [ファイル] − [メモリカードへの書き出し] をクリックします。

❹ 専用キーボードで呼び出すときの分類、番号、名前、よく発行する発行枚数（発行時にも変更できます）を入力し、[OK] をクリックします。

メモ

- 番号は半角数字で 6 桁、名前は全角 12 文字、半角 24 文字以内（全角半角混在も可能）で入力します。
- LP-100R/LP-100HR は標準では用紙カット機能がありません。カット枚数の設定はオプションのオートカッターユニットを接続した場合にのみ有効です。
- メモリカード（CF）へ書き出したデータ（拡張子 : .mlf）は直接パソコンで編集することはできません。
- 楽らくラベルで編集可能なラベルデータ（.mlo ファイル）は、[ファイル] − [名前をつけて保存] でパソコンに保存します。
- 「編集用ファイルをバックアップする」をチェックするとパソコンで編集可能なラベルデータのバックアップを自動保存します。
  保存先は下記のとおりです。

  保存先：
  C ドライブ − Documents and Settings −（ログインユーザー名）− My Documents − MAX − mlobackup

⑤ メモリカード（CF）に専用キーボード用ラベルデータが書き出され、確認メッセージが表示されます。[OK］をクリックします。

⑥ 続けてラベルデータを書き出す場合は、「例文を呼び出す」または新規作成から繰り返します。

メモリカードリーダ／ライタから メモリカード（CF）を取り出す

❶ [スタート] – [マイコンピュータ] を開きます。

❷ コンパクトフラッシュまたはリムーバブルディスクのアイコンを右クリックし、[取り出し］を選びます。

❸ メモリカード（CF）をメモリカードリーダ／ライタから取り出します。

メモ

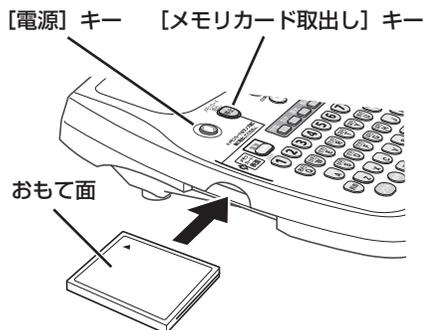
● 上記操作を行わないと、書き込んだラベルデータが壊れたり、メモリカード（CF）が故障する場合があります。
● OS によっては、リムーバブルディスクではなくコンパクトフラッシュなどと表示される場合があります。

3.2 専用キーボードからラベルを発行する

メモ

- あらかじめ、キーボードと専用プリンタを付属のケーブル（USBケーブル）で接続し、プリンタの電源を ON にしておきます。

メモリカード（CF）を専用キーボードにセットする

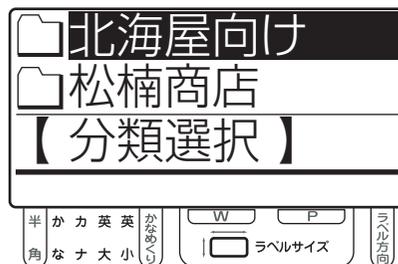
❶ ラベルデータを保存したメモリカード(CF)を、専用キーボードの左側にあるスロットに装着します。

❷ 専用キーボードの［電源］キーを押して、電源を ON にします。

画面にはまず、MAXロゴが表示され、キーボードの［メモリカード取出し］キーが数秒間点滅し、次に点灯状態になります。

メモ

- メモリカードを専用キーボードにセットし、電源を ON にしてもメモリカード取り出しボタンが点灯せずにブザー音が鳴る場合は、メモリカードが正常に認識されていません。電源をOFFにしてメモリカードのセットをやり直してください。
- メモリカードを取り出すときは、［メモリカード取出し］キーを押し、ランプが消えてからカードを取り出してください。ランプが点灯しているときにカードを取り出すと、内部のデータが失われることがあります。また、メモリカードの故障の原因となります。
- 電源を ON にした状態でしばらく操作しないでいると、節電のためにLCDディスプレイのバックライトが消えます。何らかのキー操作を行えば再びバックライトが点灯して、画面が再び明るくなります。

ファイルを指定してラベルを発行する

メモリカードが正しくセットされた状態で専用キーボードの電源を ON にすると、「分類選択」画面（または「ファイル選択」画面）が表示されます。

❶ カーソルキー（[↑]、[↓]）で、発行したいファイルのある分類フォルダを選択し、[確定］キーを押します。

メモ

- メモリカード内に有効なフォルダ（有効なデータをひとつ以上保存してあるフォルダ）がひとつしかないときは、「分類選択」画面は表示されません。手順 2 に進みます。

❷ カーソルキー（[↑]、[↓]）で発行したいファイルを選択し、[発行］キーを押します。

指定したファイルのラベルサイズが下欄に表示されます。サイズにあったラベルをセットしてください。

メモ

- ［↑］キーを押すごとに、分類フォルダ内の前のファイル番号を表示します。［↓］キーを押すごとに、メモリカード内の次のファイル番号を表示します。
- 数字キーで直接番号を入力し、ファイルを呼び出すこともできます。

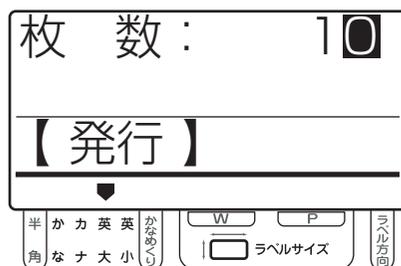
③「発行時変更」を設定している入力項目がある場合は、その項目の入力画面が表示されます。必要項目を入力し、［発行］キーを押します。

指定項目数分だけ入力画面が表示されますので、必要項目を入力し［発行］キーを押します。

メモ

- 楽らくラベルで「発行時変更」を設定すると、専用キーボードからのラベル発行時に設定した項目について修正入力する画面が毎回表示されるようになります。
- 「発行時変更」は、楽らくラベルでラベルデータを作成する際に、文字枠などのプロパティにある「発行時変更」設定をチェックすることで設定できます（専用キーボードからは設定できません）。
- 「発行時変更」のあるデータで、ラベル発行時に修正入力画面を表示したくない場合は、環境設定の「発行時変更の許可」で「しない」に設定します。

90ページ

④ 数字キーで枚数（発行枚数）を入力し、［発行］キーを押します。

プリンタからラベルの発行が開始されます。

メモ

- プリンタにオプションのオートカッターユニットを接続している場合は、「発行」画面でカット枚数を指定します。
  カット枚数とは、自動でカットする枚数の単位です。例えば、発行枚数100枚、カット枚数10枚とした場合は、10枚ずつカットして100枚（10枚の短冊を10個）発行します。
- はじめに表示される発行枚数とカット枚数は、ラベルデータ作成時（メモリカードへの書出し時）に設定します。
- 発行後のプリンタの動作は、プリンタに接続されているオプションによって異なります。
  - 標準（オプションなし）の場合
    指定枚数発行後にラベルを手切り位置まで空送りします。
  - 剥離ユニットが接続されている場合
    1枚発行ごとに停止します。剥離したラベルを取り除くと、次の1枚を発行して停止します。
  - オートカッターユニットが接続されている場合
    指定したカット枚数のラベルを発行するごとにラベルをカットします。
- 発行が終わると、専用キーボードの表示は「ファイル選択」画面または発行したファイルの「発行時変更」可能な先頭の項目に戻ります（環境設定により異なります）。

91ページ

発行を中止／再開する

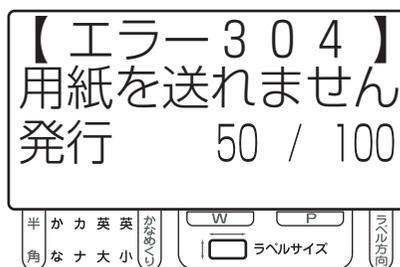
❶ **発行中に［発行］キーを押すと、発行が中断されます。**
発行を続けるかどうか確認する画面が表示されます。

❷ **カーソルキー（[←]、[→]）で、「はい」「いいえ」のいずれかを選び、［発行］キーを押します。**

● 「いいえ」を選択すると、発行を中止し、「ファイル選択」画面に戻ります。

用紙切れや紙詰まりの場合は

用紙が切れた場合など、指定枚数の途中で発行が中断された場合に、発行を継続することができます。

❶ **用紙が無くなった場合や紙詰まりなどのトラブルが発生した場合は、専用キーボードのブザーが鳴り、画面にエラーメッセージを表示します。**

❷ **電源 ON のままプリンタのトップカバーを開け、用紙をセットするなどトラブルに対処します。**

詳しくは「ラベルプリンタ取扱説明書」を参照してください。

❸ **トラブルに対処して、プリンタのポーズキーを押すと、専用キーボードの表示が変わります。カーソルキー（[←]、[→]）で、「はい」「いいえ」のいずれかを選び、［発行］キーを押します。**

メモ

● 「いいえ」を選択すると、発行を中止し、「ファイル選択」画面に戻ります。
● エラーの内容により、発行枚数が少なくなることがあります。

4 その他の機能を使いこなす

4.1 専用キーボードでラベルデータを修正する

「楽らくラベル」でラベルデータを作成するときに、「本体で編集する」にチェックを入れた文字枠の内容は、専用キーボードから修正することができます。
専用キーボードからラベルを発行する場合、明瞭な印字を実現するため、印字に使用するフォント（書体）はプリンタに搭載したビットマップフォントを使っています。そのため、専用キーボードでのラベルデータの修正は、レイアウトされた枠内での文字の修正などに制限されます。

●専用キーボードから修正できる項目

- 文字
- JAN コード
- QR コード（256 文字以内の場合のみ）
- ITF コード
- Code39
- Code128

●専用キーボードからは修正できない項目

- 新しいオブジェクトの作成
- 文字サイズ、文字枠の大きさ、書体
- 表や罫線の変更
- 画像データ（ロゴ、マークなど）の変更
- 各オブジェクトのレイアウト移動
- ラベルサイズの変更

メモ

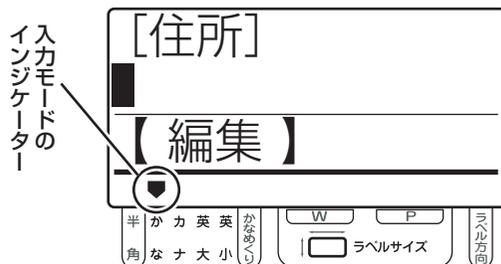
- **<u>専用キーボードからラベルデータを新たに作成することはできません。</u>**
  新たにラベルデータを作成する場合は「楽らくラベル」を使用します。

入力モードについて

発行時変更で修正する場合、または編集モードで入力されている文字を修正する場合に、専用キーボードから文字を入力できます。

入力モードの切り替え

入力する文字の種類を切り替えます。

❶ **［入力］キーを押します。**
画面左下のインジケータが切り替わります。
押した［入力］キーに応じて入力モードが変わります。

- かな　　　：ひらがなを入力します。
- カナ　　　：カタカナを入力します。
- 英大　　　：アルファベット大文字を入力します。
- 英小　　　：アルファベット小文字を入力します。
- かなめくり：ひらがな／カタカナ入力時にかなめくり入力とローマ字入力を切り替えます。

- **文字入力を行うときに、最初に選択される入力モードを設定できます。**

80 ページ

半角・全角の切り替え

半角／全角を切り替えることができるのは、カタカナ、アルファベット大文字、アルファベット小文字です。それぞれの［入力］キーを再度押すことで半角／全角を切り替えることができます。

❶ **カタカナ入力モードのときは、[カナ] キー、アルファベット大文字入力モードのときは［英大］ キー、アルファベット小文字入力モードのときは[英小] キーを押します。**

画面左下のインジケータが切り替わります。

メモ

- 半角入力に切り替わっている状態では、半角数字を入力できます。
  ただし、ひらがな入力モードでは半角数字を入力できません。半角数字を入力したい場合は、ひらがな以外の入力モードにして、半角に切り替えます。

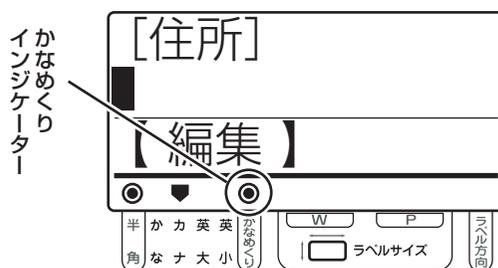
ローマ字入力・かなめくり入力の切り替え

ローマ字入力／かなめくり入力を切り替えることができるのは、ひらがな、およびカタカナです。

- ローマ字入力　：
  専用キーボードの英字キーを使い、ローマ字変換でひらがな／カタカナを入力します。
- かなめくり入力 ：
  専用キーボードの特定のキーを使い、ひらがな／カタカナを直接入力します。

❶ **［かなめくり］キーを押します。**

画面左下のインジケータが切り替わります。

メモ

- ひらがな／カタカナの入力を開始して「文字入力」画面に切り替わると、ローマ字入力／かなめくり入力の切り替えができなくなります。この場合は［取消］キーを押して「編集」画面まで戻って設定してください。

● かなめくりモードで入力できる文字

かなめくりモードでは、英字キーの上段に文字のあるキーを使用して文字を入力します。以下のように、キーを押すたびに入力される文字が切り替わります。

キー	ひらがな（全角のみ）	カタカナ（全角 / 半角とも）
あ行 Q	あ→い→う→え→お→ぁ→ぃ→ぅ→ぇ→ぉ→あ・・・	ア→イ→ウ→エ→オ→ァ→ィ→ゥ→ェ→ォ→ア・・・
か行 W	か→き→く→け→こ→ヵ→ヶ→か・・・	カ→キ→ク→ケ→コ→ヵ→ヶ→カ・・・
さ行 E	さ→し→す→せ→そ→さ・・・	サ→シ→ス→セ→ソ→サ・・・
た行 R	た→ち→つ→て→と→っ→た・・・	タ→チ→ツ→テ→ト→ッ→タ・・・
な行 T	な→に→ぬ→ね→の→な・・・	ナ→ニ→ヌ→ネ→ノ→ナ・・・
は行 Y	は→ひ→ふ→へ→ほ→は・・・	ハ→ヒ→フ→ヘ→ホ→ハ・・・
ま行 U	ま→み→む→め→も→ま・・・	マ→ミ→ム→メ→モ→マ・・・
や行 I	や→ゆ→よ→ゃ→ゅ→ょ→や・・・	ヤ→ユ→ヨ→ャ→ュ→ョ→ヤ・・・
ら行 O	ら→り→る→れ→ろ→ら・・・	ラ→リ→ル→レ→ロ→ラ・・・
わ行ん P	わ→を→ん→ゎ→ー（長音）→ゐ→ゑ→わ・・・	ワ→ヲ→ン→ヮ→ー（長音）→ヰ→ヱ→ワ・・・
が行 S	が→ぎ→ぐ→げ→ご→が・・・	ガ→ギ→グ→ゲ→ゴ→ガ・・・
ざ行 D	ざ→じ→ず→ぜ→ぞ→ざ・・・	ザ→ジ→ズ→ゼ→ゾ→ザ・・・
だ行 F	だ→ぢ→づ→で→ど→だ・・・	ダ→ヂ→ヅ→デ→ド→ダ・・・
ば行 G	ば→び→ぶ→べ→ぼ→ば・・・	バ→ビ→ブ→ベ→ボ→バ・・・
ぱ行 H	ぱ→ぴ→ぷ→ぺ→ぽ→ぱ・・・	パ→ピ→プ→ペ→ポ→パ・・・

● ［シフト］キーを押しながら上記のキーを押すと、小文字の先頭から始まります。ただし小文字の無いキーでは［シフト］キーは無効です。

文字を入力する

ひらがなの入力（ローマ字入力の場合）

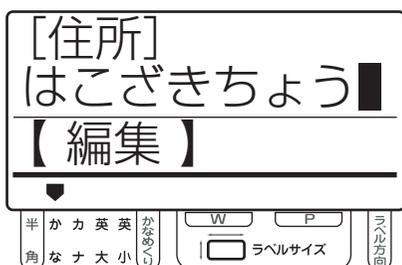
「はこざきちょう」と入力してみます。

❶ [かな] キーを押して「かな」入力モードにします。

❷ [H] [A] [K] [O] [Z] [A] [K] [I] [C] [H] [O] [U] と文字キーを押します。

❸ [確定] キーを押します。

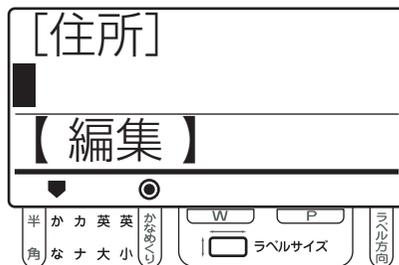
文字が確定し、入力されます。

メモ

● ローマ字入力／カナめくり入力のどちらでも、[確定] キーを押す前に [取消] キーを押すと文字入力前の「編集」画面に戻ります。

ひらがなの入力（かなめくり入力の場合）

「はこざきちょう」と入力してみます。

❶ [かな] キーを押して「かな」入力モードにします。

❷ [かなめくり] キーを押して「かなめくり」入力モードにします。

❸ [Y(は行)] キーを 1 回押します。
「は」が入力されます。

❹ [W(か行)] キーを 5 回押します。
「こ」が入力されます。

❺ [D(ざ行)] キーを 1 回押します。
「ざ」が入力されます。

❻ [W(か行)] キーを 2 回押します。
「き」が入力されます。

❼ [R(た行)] キーを 2 回押します。
「ち」が入力されます。

❽ [I(や行)] キーを 6 回押します。
「ょ」が入力されます。

❾ [Q(あ行)] キーを 3 回押します。
「う」が入力されます。

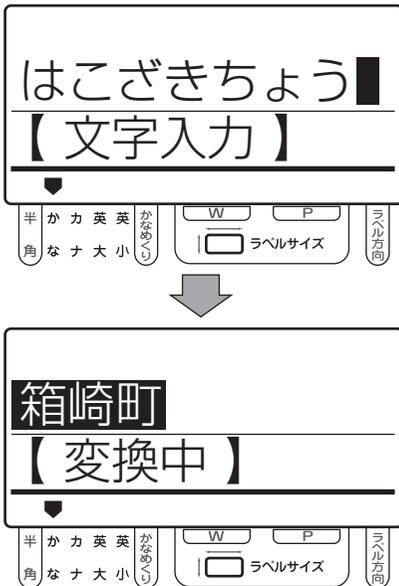
❿ [確定] キーを押します。

文字が確定し、入力されます。

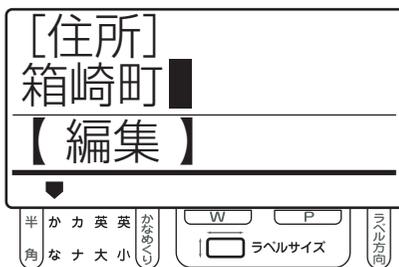
漢字の入力（漢字変換）

「箱崎町」と入力してみます。

❶ ひらがな入力で「はこざきちょう」と入力し、［変換］キーを押します。

ここでは、ひらがなで「はこざきちょう」と入力した状態で、［確定］キーを押さずに［変換］キーを押すことで漢字に変換しています。

❷ ［確定］キーを押します。

漢字への変換が確定し、入力されます。

メモ

● ［確定］キーを押す前に［取消］キーを押すと、漢字変換前の「文字入力」画面に戻ります。

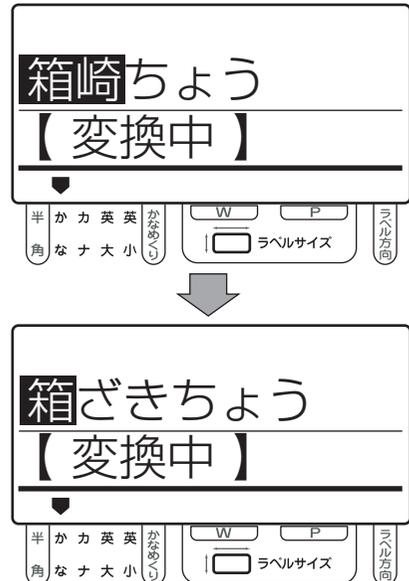
● **漢字変換の範囲指定**

パソコンで入力文字を漢字変換する場合と同様に、文字の変換範囲を変更できます。

ここでは、「函崎町」と入力してみます。

❶ ひらがな入力で「はこざきちょう」と入力し、［変換］キーを押します。

❷ カーソルキー（［←］、［→］）で変換範囲を変更します。

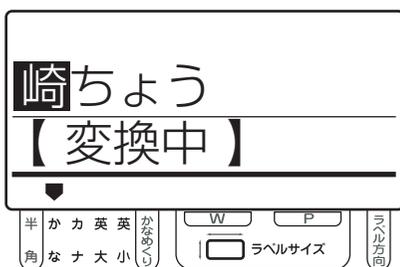
この場合、下図のように［←］キーを1回押すごとに変換範囲が変わります。

❸ 目的の漢字が表示されるまで［変換］キーを押します。

この場合は［変換］キーを一度押せば「箱」→「函」と表示が変わります。このように［変換］キーを押すごとに他の変換候補が表示されます。

メモ

● 前の候補を表示させたい場合には、［シフト］キーを押しながら［変換］キーを押します。

❹ 目的の漢字が表示されたら、［確定］キーを押します。

変換が確定した「函」の表示が消えます。

❺ 同様に「崎」「町」で［確定］キーを押します。

最後の変換が確定すると、「編集」画面に戻り、確定した「函崎町」が入力されています。

漢字の入力（単漢字変換）

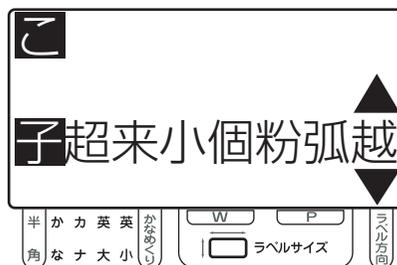
単漢字変換とは、**漢字１文字ごとに変換**する機能です。以下のような特徴があります。

- 単漢字変換は漢字１文字への変換です。送り仮名があるような単語や、２文字以上の漢字へ変換はできません。
- 単漢字変換では、変換候補が最大８件ずつまとめて表示されます。

ここでは、「個」と入力してみます。

❶ ひらがな入力で「こ」と入力します。

❷ ［単漢］キーを押します。

変換候補が８件ずつ表示されます。

❸ カーソルキー（［↑］、［↓］、［←］、［→］）で目的の漢字を選び、［確定］キーを押します。

この場合は、［→］キーを４回押せば「個」を選択できます。

● 単漢字変換画面の操作

［←］、［→］：表示されている変換候補から選択します。

［↑］：変換候補の前の８件を表示します。

［↓］：変換候補の次の８件を表示します。

［確定］：変換候補を確定します。

メモ

● ［確定］キーを押す前に［取消］キーを押すと、漢字変換前の「文字入力」画面に戻ります。

カタカナの入力（全角）

カタカナは、ひらがなと同様にローマ字入力またはかなめくり入力で入力できます。

ここでは、ローマ字入力を例にして「マックス」（全角）と入力してみます。

❶ **[カナ] キーを押して「カナ」入力モードにします。**

❷ **[M] [A] [K] [K] [U] [S] [U] と文字キーを押します。**

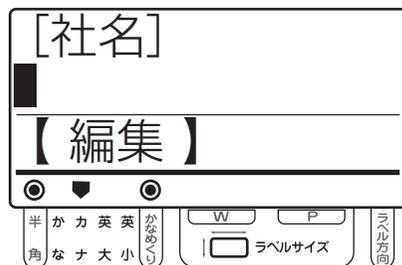
❸ **[確定] キーを押します。**
文字が確定し、入力されます。

● **ローマ字入力／カナめくり入力のどちらでも、[確定] キーを押す前に [取消] キーを押すと文字入力前の「編集」画面に戻ります。**

カタカナの入力（半角）

半角カタカナは、ひらがなと同様にローマ字入力またはかなめくり入力で入力できます。

ここでは、かなめくり入力を例にして「マックス」（半角）と入力してみます。

❶ **[カナ] キーを2回押して半角の「カナ」モードにし、次に [かなめくり] キーを押します。**
半角の「カナ」入力モードで、「かなめくり」入力ができるようになります。

❷ **[U(ま行)] キーを 1 回押します。**
「マ」が入力されます。

❸ **[シフト] キーを押しながら [R(た行)] キーを押します。**
「ッ」が入力されます。

❹ **[W(か行)] キーを 3 回押します。**
「ク」が入力されます。

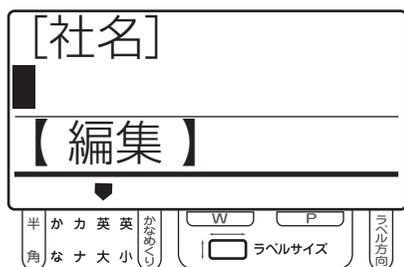
❺ **[E(さ行)] キーを 3 回押します。**
「ス」が入力されます。

❻ **[確定] キーを押します。**
文字が確定し、入力されます。

英文字の入力（全角）

アルファベットの大文字／小文字を全角で入力します。

ここでは、英大文字を例にして「ＭＡＸ」（全角）と入力してみます。

❶ ［英大］キーを押して「英大」入力モードにします。

❷ ［M］［A］［X］と文字キーを押します。

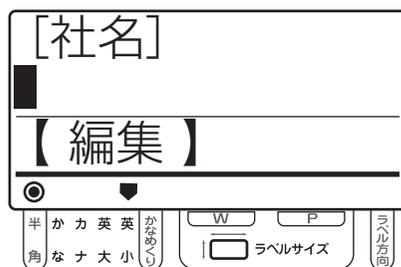
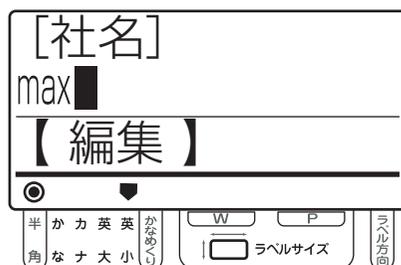
英文字の入力（半角）

アルファベットの大文字／小文字を半角で入力します。

ここでは、英小文字を例にして「max」（半角）と入力してみます。

❶ ［英小］キーを２回押して、半角の「英小」入力モードにします。

❷ ［M］［A］［X］と文字キーを押します。

メモ

● 英文字の入力中に［取消］キーを押すと、「ファイル選択」画面まで戻ります。

数字の入力（全角）

「３８０」（全角）と入力してみます。

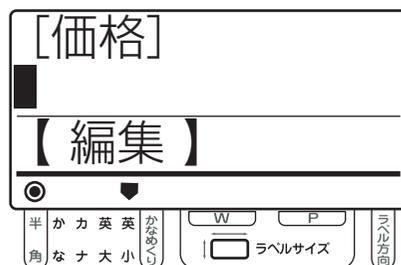
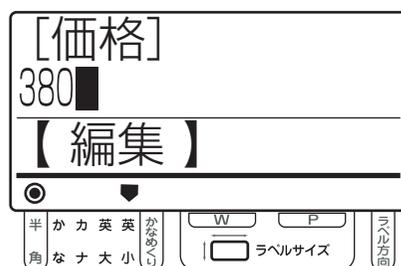
❶ **［入力］キーを押して全角の入力モードを設定します。**

半角のインジケータが表示されていない状態であれば、どの入力モードでも全角数字を入力できます。

❷ **［3］［8］［0］と文字キーを押します。**

数字の入力（半角）

「380」（半角）と入力してみます。

❶ **［カナ］（または［英大］、［英小］）キーを２回押して半角入力モードにします。**

❷ **［3］［8］［0］と文字キーを押します。**

● 数字の入力中に［取消］キーを押すと、「ファイル選択」画面に戻ります。

特殊な文字／記号を入力する

長音の入力

長音（全角「ー」／半角「-」）はすべての入力モードで入力できます。

ここでは、ローマ字入力で「サーモン」（全角）と入力してみます。

1. [カナ] キーを押して「カナ」入力モードにします。

2. [S] [A] [長音] [M] [O] [N] [N] と文字キーを押します。

3. [確定] キーを押します。
文字が確定し、入力されます。

句読点の入力

句読点はすべての入力モードで入力できます。使用するキーは以下のようになっています。

	入力モード	(読点)	(句点)
全角	かな／カナ	、	。
	英大／英小	，	．
半角	かな／カナ	､	｡
	英大／英小	,	.

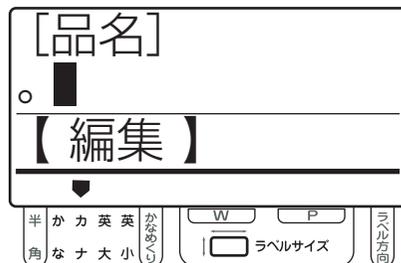
メモ

● 半角と全角の句読点は、ほぼ字体は同じですが、文字幅が異なります。

ここでは、「。」（全角）と入力してみます。

1. [入力] キーを押して全角の入力モードを設定します。

2. 句点キーを押します。
「。」が入力されます。

メモ

● 句読点は「編集」画面でのみ入力できます。ひらがなやカタカナの入力中の「文字入力」画面では入力できません。

記号（記号、省略文字、年号、ロシア文字、単位、ギリシャ文字、丸数字）の入力

記号はすべての入力モードで入力できます。
ここでは、「：」（全角）と入力してみます。

❶ **［入力］キーを押して全角の入力モードを設定します。**

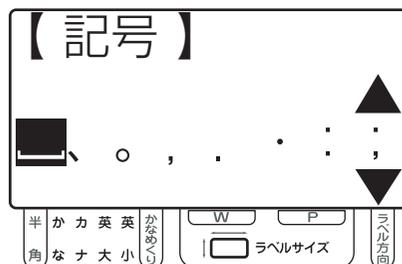
❷ **［記号］キーを押します。**

文字種別の選択画面が表示されます。

記号　省略
年号　ロシア
単位　ギリシャ
数字

- 記号　：各種記号を入力します。
  例　？！：；（　）“　”～
- 省略　：省略記号を入力します。
  例　No. TEL ㈱
- 年号　：年号を入力します。
  例　平成　昭和
- ロシア　：ロシア文字を入力します。
  例　А Б В Г а б в г
- 単位　：単位を入力します。
  例　℃ ￥ ＄ ％ ㎜ ㎝ ㎏
- ギリシャ　：ギリシャ文字を入力します。
  例　Α Β Γ Δ α β γ δ
- 数字　：丸数字を入力します。
  例　① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑨ ⑩

❸ **カーソルキー（［↑］、［↓］、［←］、［→］）で目的の種別を選び、［確定］キーを押します。**

この場合は、カーソルキーを押す必要はなく、そのまま「記号」を選択できます。
選択した種別の入力候補が８件ずつ表示されます。

❹ **カーソルキー（［↑］、［↓］、［←］、［→］）で目的の文字を選び、［確定］キーを押します。**

この場合は、［→］キーを６回押せば「：」を選択できます。

● **「記号」画面の操作**

［←］、［→］	：表示されている変換候補から選択します。
［↑］	：変換候補の前の８件を表示します。
［↓］	：変換候補の次の８件を表示します。
［確定］	：変換候補を確定します。

メモ

● ［記号］キーは「編集」画面でのみ有効です。ひらがなやカタカナの入力中の「文字入力」画面では無効になります。

● 「記号」画面の各文字は、この画面ではすべて全角で表示されます。しかし、一部の文字は［記号］キーを押したときの入力モード（半角／全角）によって入力される文字が変わります。
上記の例で、半角の入力モードで同じ操作をすると「:」（半角）が入力されます。

JIS コードによる入力

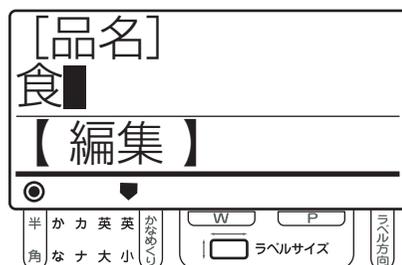
入力したい文字の JIS コードが分かっている場合は、JIS コードを入力することで文字を入力できます。
この入力方法では、入力モードに関係なく、入力した JIS コードに応じた文字が入力されます。

ここでは、「食」と入力してみます。

❶ **[JIS] キーを押します。**
JIS コードの入力画面になります。

❷ **「食」の JIS コードを入力します。[3] [F] [2] [9] と文字キーを押します。**

❸ **[確定] キーを押します。**
JIS コードで呼び出された文字が入力されます。

メモ

- JIS コード入力の誤りは、[削除] キーで修正できます。
- 存在しない JIS コードを入力した場合、手順３で [確定] キーを押しても画面は切り替わらず、JIS コードの入力画面のままになります。
- [JIS] キーは「編集」画面でのみ有効です。ひらがなやカタカナの入力中の「文字入力」画面では無効になります。

編集用記号を入力する

編集用記号（改行、スペース、上付、下付、下線）は、すべての入力モードで入力できます。
編集用記号自体は実際には印字されません。

改行の入力

入力内容の任意の位置で改行します。

ここでは、「マックス株式会社」の「マックス」の後で改行してみます。

❶ **カーソルキー（[←]、[→]）で改行したい位置にカーソルをあわせます。**

❷ **[改行] キーを押します。**
改行の編集用記号が入力されます。実際は、この位置で改行して印字します。

メモ

- 上記の例のように、画面の表示範囲（最大で全角８文字）を超えた文字は隠れてしまいますが、カーソルキー（[←]、[→]）でスクロールすれば内容を確認することができます。
- [改行] キーは「編集」画面でのみ有効です。ひらがなやカタカナの入力中の「文字入力」画面では無効になります。

スペース（空白）の入力

入力内容の任意の位置に1文字分の空白を入力します。半角／全角ともに入力できます。

ここでは、「マックス株式会社」の「マックス」の後で全角スペースを入力してみます。

❶ **カーソルキー（[←]、[→]）でスペースを入力したい位置にカーソルをあわせます。**

❷ **[スペース] キーを押します。**

スペースの編集用記号が入力されます。実際は、この位置に 1 文字分の空白を開けて印字します。

メモ

- **半角の入力モードでは、半角スペースを入力できますが、編集用記号は表示されません。実際の印字と同じ半角1文字分の空白が入力されます。**
- **上記の例のように、画面の表示範囲（最大で全角8文字）を超えた文字は隠れてしまいますが、カーソルキー（[←]、[→]）でスクロールすれば内容を確認することができます。**
- **[スペース] キーは「編集」画面でのみ有効です。ひらがなやカタカナの入力中の「文字入力」画面では無効になります。**

下線の入力

入力した文字の任意の範囲に下線を引きます。

ここでは、「PE」に下線を引いてみます。

❶ **カーソルキー（[←]、[→]）で下線を引きたい文字の先頭にカーソルをあわせます。**

❷ **[下線] キーを押します。**

下線の編集用記号が入力されます。

❸ **カーソルキー（[←]、[→]）で下線を引きたい文字の後ろにカーソルをあわせます。**

❹ **[下線] キーを押します。**

下線の編集用記号が入力されます。実際は編集用記号に挟まれた範囲の文字に下線を引いて印字します。

- 下線は改行マークを含んで設定できます。
- [下線] キーは「編集」画面でのみ有効です。ひらがなやカタカナの入力中の「文字入力」画面では無効になります。

上付き文字／下付き文字の入力

入力した数字を上付き、または下付きにします。

ここでは、「ビタミンB2」の「2」を下付き文字に変更し、「ビタミンB$_2$」とします。

❶ **カーソルキー（[←]、[→]）で上付きまたは下付きにしたい文字の先頭にカーソルをあわせます。**

❷ **下付きにしたい場合には [下付] キーを、上付きにしたい場合には [シフト] キーを押しながら [下付] キーを押します。**
ここでは、[下付] キーを押します。下付き文字の編集用記号が入力されます。

❸ **カーソルキー（[←]、[→]）で上付きまたは下付きにしたい文字の後ろにカーソルをあわせます。**

❹ **下付きにしたい場合には [下付] キーを、上付きにしたい場合には [シフト] キーを押しながら [下付] キーを押します。**
ここでは、[下付] キーを押します。下付き文字の編集用記号が入力されます。実際は編集用記号に挟まれた範囲の文字を下付きで印字します。

メモ

- 上付き文字／下付き文字は以下の条件の場合にのみ有効です。無効な設定をしている場合には、上付き／下付きの設定は無視されて印字されます。
  - 数字にのみ設定が有効です。
  - 書体をTBゴシックR に設定している文字枠のみに有効です。

  参照 専用キーボードからフォントの変更はできません。詳しくは「楽らくラベル PDF マニュアル」を参照してください。
- [下付] キー（または [シフト] キーを押しながら [下付] キー）は、「編集」画面でのみ有効です。ひらがなやカタカナの入力中の「文字入力」画面では無効になります。

文字を修正する

専用キーボードでは、ラベルデータの設定により、特定の文字枠の内容を修正できます。

メモ

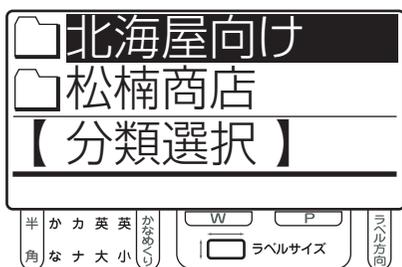
- 「楽らくラベル」上でオブジェクトの「本体で編集する」をチェックしていない項目は編集できません（チェックしなければ編集対象外にできます）。
- 「楽らくラベル」上で作成した時計オブジェクトは編集モードでは編集できません。
- 専用キーボードからは文字枠の大きさを変更できません。同じ文字数もしくは文字枠の大きさに収まる範囲で文字を差し替えてください。

通常項目の修正

ラベルデータ内の品名や個数、価格といった通常の項目を修正します。

ここでは、「内容量」の項目の数値を修正してみます。

1 カーソルキー（[↑]、[↓]）で、修正したいファイルのある分類フォルダを選択し、[確定] キーを押します。

メモ

- メモリカード内に有効なフォルダ（有効なデータを一つ以上保存してあるフォルダ）がひとつしかないときは、「分類選択」画面は表示されません。手順２に進みます。

2 カーソルキー（[↑]、[↓]）で修正したいファイルを選択します。

メモ

- [↑] キーを押すごとに、分類フォルダ内の前のファイル番号を表示します。[↓] キーを押すごとに、メモリカード内の次のファイル番号を表示します。
- [数字] キーで直接番号を入力し、ファイルを呼び出すこともできます。

3 「名前：」欄の内容を確認して ［編集］ キーを押します。

変更可能な文字枠のうち先頭のもの（左上に近いもの）が表示されます。

4 [確定] キーを押して変更したい項目まで移動します。

- **「編集」画面の操作**

[↑]	：	ひとつ前の項目に戻ります。
[↓]	：	ひとつ次の項目に移動します。
[←]、[→]	：	カーソルを任意の位置に移動します。
[確定]	：	修正したラベルデータを保存します。

❺「20個」を「15個」に変更してみます。[1] [5] と文字キーを押します。

「15」が挿入されます。

❻ [削除] キーを2回押して「20」を削除します。

❼ [確定] キーを押します。

次の項目に変わります。

- [↑] キーや [↓] キーで移動すると変更内容は反映されません。

❽ ほかに変更がなければ、保存確認の画面が表示されるまで [確定] キーを数回押します。

メモ

- 保存確認の画面が表示される前に[シフト]キーを押しながら [0] (ためす) キーを押すと、ラベルを1枚試し発行します。実際のラベルで編集した内容を確認できます。発行後は試し発行の操作前の画面に戻ります。

❾ 以下のような保存確認の画面が表示されたら、カーソルキー ([←]、[→]) で「保存」を選択し、[確定] キーを押します。

ここでは、そのまま [確定] キーを押します。

- 保存　　　：修正内容を保存します。
- 編集に戻る：手順2の画面に戻ります。

❿ 保存するファイル番号、およびファイル名を入力し、[確定] キーを押します。

元のラベルデータに上書きしたい場合は、そのまま [確定] キーを押します。

元のラベルデータとは別に保存したい場合は、まだ使っていない番号を入力し、分かりやすいファイル名をつけます。ファイル名だけを変更して上書きしたり、番号だけを変更して同一ファイル名の別データを保存することもできます。
ここではファイル番号のみ「103」に変更しています。

● 「保存ファイル」画面の操作

[↑]、[↓]：入力項目 (番号、名前) を移動します。「番号」はファイル番号を、「名前」はファイル名を表します (ラベルに印字される内容ではありません)。

[←]、[→]：「名前」項目の編集時にカーソルを任意の位置に移動します。

[確定]：修正したラベルデータを保存します。

「番号」項目：ファイル番号を設定します。メモリカード内のファイルの区別はこの番号で行われます。

「名前」項目：ファイル名を入力します。

● 保存先の分類（フォルダ）や分類名は変更できません。

⓫ **カーソルキー（[←]、[→]）で「保存」を選択し、[確定] キーを押します。**

ここでは、そのまま［確定］キーを押します。

- はい　：修正内容を保存します。
- いいえ　：手順９の画面に戻ります。

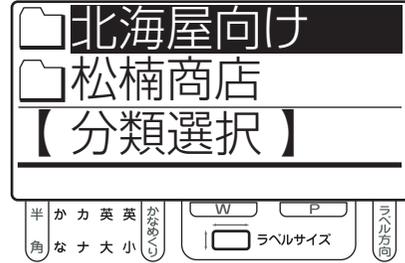
● 番号を変更しなかった場合、またはすでに登録されている番号を入力した場合には、上書き確認画面が表示されます。

- はい　：上書きします。
- いいえ　：手順９の画面に戻ります。

⓬ **保存が終了し、「ファイル選択」画面に戻ります。**

● 保存していない修正は、「編集」画面を抜けるとクリアされます。

バーコード項目の修正

ラベルデータ内のバーコードの内容を修正します。

❶ **カーソルキー（[↑]、[↓]）で、修正したいファイルのある分類フォルダを選択し、[確定] キーを押します。**

メモ

● メモリカード内に有効なフォルダ（有効なデータをひとつ以上保存してあるフォルダ）がひとつしかないときは、「分類選択」画面は表示されません。手順２に進みます。

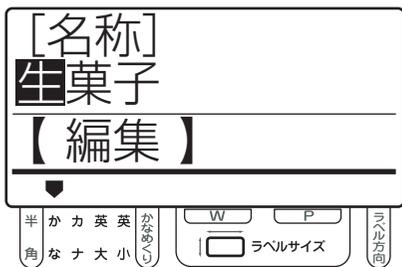
❷ **カーソルキー（[↑]、[↓]）で修正したいファイルを選択します。**

メモ

● [↑] キーを押すごとに、分類フォルダ内の前のファイル番号を表示します。[↓] キーを押すごとに、メモリカード内の次のファイル番号を表示します。

● [数字] キーで直接番号を入力し、ファイルを呼び出すこともできます。

❸ 「名前：」欄の内容を確認して［編集］キーを押します。

変更可能な文字枠のうち先頭のもの（左上に近いもの）が表示されます。

❹ ［確定］キーを押して変更したい項目まで移動します。

● 「編集」画面の操作

［↑］　：ひとつ前の項目に戻ります。
［↓］　：ひとつ次の項目に移動します。
［←］、［→］：カーソルを任意の位置に移動します。
［確定］：修正したラベルデータを保存します。

❺ バーコード先頭の「012」を「987」に変更してみます。［9］［8］［7］と文字キーを押します。

バーコード項目の編集では、カーソル位置に入力した内容が元の内容に上書きされます。ここでは、先頭の「012」がそのまま「987」に上書きされます。

● バーコード項目の修正では、以下のような制限があります。
- 半角の「英大」入力モードに固定されます。
- バーコードの種類によって有効なキーが変わり、無効なキーは入力できません。
- ［削除］キーが無効のため、元の値から桁数を変えることはできません。

❻ ［確定］キーを押します。

次の項目に変わります。

メモ

● ［↑］キーや［↓］キーで移動すると変更内容は反映されません。

❼ ほかに変更がなければ、保存確認の画面が表示されるまで［確定］キーを数回押します。

メモ

● 保存確認の画面が表示される前に［シフト］キーを押しながら［0］（ためす）キーを押すと、ラベルを１枚試し発行します。実際のラベルで編集した内容を確認できます。発行後は試し発行の操作前の画面に戻ります。

❽ 以下のような保存確認の画面が表示されたら、カーソルキー（［←］、［→］）で「保存」を選択し、［確定］キーを押します。

ここでは、そのまま［確定］キーを押します。

- 保存　　　：修正内容を保存します。
- 編集に戻る：手順２の画面に戻ります。

❾ 保存するファイル番号、およびファイル名を入力し、[確定] キーを押します。

元のラベルデータに上書きしたい場合は、そのまま [確定] キーを押します。
元のラベルデータとは別に保存したい場合は、まだ使っていない番号を入力し、分かりやすいファイル名をつけます。ファイル名だけを変更して上書きしたり、番号だけを変更して同一ファイル名の別データを保存することもできます。
ここではファイル番号のみ「103」に変更しています。

● **「保存ファイル」画面の操作**

[↑]、[↓]：入力項目（番号、名前）を移動します。「番号」はファイル番号を、「名前」はファイル名を表します（ラベルに印字される内容ではありません）。

[←]、[→]：「名前」項目の編集時にカーソルを任意の位置に移動します。

[確定]：修正したラベルデータを保存します。

「番号」項目：ファイル番号を設定します。メモリカード内のファイルの区別はこの番号で行われます。

「名前」項目：ファイル名を入力します。

メモ

● **保存先の分類（フォルダ）や分類名は変更できません。**

❿ カーソルキー（[←]、[→]）で「保存」を選択し、[確定] キーを押します。

ここでは、そのまま [確定] キーを押します。

- はい　：修正内容を保存します。
- いいえ：手順８の画面に戻ります。

● 番号を変更しなかった場合、またはすでに登録されている番号を入力した場合には、上書き確認画面が表示されます。

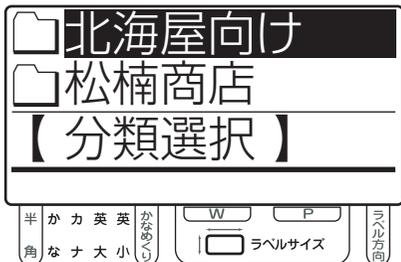
- はい　：上書きします。
- いいえ：手順８の画面に戻ります。

⓫ 保存が終了し、「ファイル選択」画面に戻ります。

● **保存していない修正は、「編集」画面を抜けるとクリアされます。**

QR コード項目の修正

ラベルデータ内のQRコードの内容を修正します。

ここでは、「QR コード」項目の URL を修正してみます。

❶ **カーソルキー（[↑]、[↓]）で、修正したいファイルのある分類フォルダを選択し、[確定］キーを押します。**

メモ

- メモリカード内に有効なフォルダ（有効なデータをひとつ以上保存してあるフォルダ）がひとつしかないときは、「分類選択」画面は表示されません。手順２に進みます。

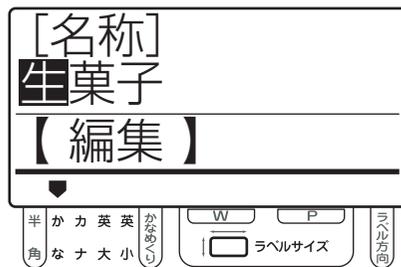
❷ **カーソルキー（[↑]、[↓]）で修正したいファイルを選択します。**

番号 ： 123456
名前 ：焼き菓子1
【ファイル選択】
59x 67 ↑

メモ

- [↑] キーを押すごとに、分類フォルダ内の前のファイル番号を表示します。[↓] キーを押すごとに、メモリカード内の次のファイル番号を表示します。
- [数字] キーで直接番号を入力し、ファイルを呼び出すこともできます。

❸ **「名前：」欄の内容を確認して［編集］キーを押します。**

変更可能な文字枠のうち先頭のもの（左上に近いもの）が表示されます。

❹ **[確定］キーを押して変更したい項目まで移動します。**

● **「編集」画面の操作**

[↑]	： ひとつ前の項目に戻ります。
[↓]	： ひとつ次の項目に移動します。
[←]、[→]	： カーソルを任意の位置に移動します。
[確定]	： 修正したラベルデータを保存します。

❺ **「http://www.max-ltd.co.jp/op/」を「http://www.max-ltd.co.jp/label/」に変更してみます。まず、[英小］キーを２回押して、半角の英小文字入力モードにします。**

❻ ［→］キーを押して「o」までカーソルを移動し、［L］［A］［B］［E］［L］と文字キーを押します。

QR コード項目の編集では、カーソル位置に入力した内容が元の内容に上書きされます。ここでは、「op/」がそのまま「label」に上書きされます。

❼ ［記号］キーを押して、「記号」項目の「/」を選択し、［確定］キーを押します。

❽ ［確定］キーを押します。

次の項目に変わります。

メモ

● ［↑］キーや［↓］キーで移動すると変更内容は反映されません。

❾ ほかに変更がなければ、保存確認の画面が表示されるまで［確定］キーを数回押します。

メモ

● 保存確認の画面が表示される前に［シフト］キーを押しながら［0］（ためす）キーを押すと、ラベルを1枚試し発行します。実際のラベルで編集した内容を確認できます。発行後は試し発行の操作前の画面に戻ります。

❿ 以下のような保存確認の画面が表示されたら、カーソルキー（［←］、［→］）で「保存」を選択し、［確定］キーを押します。

ここでは、そのまま［確定］キーを押します。

- 保存　　　：修正内容を保存します。
- 編集に戻る：手順2の画面に戻ります。

⓫ 保存するファイル番号、およびファイル名を入力し、［確定］キーを押します。

元のラベルデータに上書きしたい場合は、そのまま［確定］キーを押します。

元のラベルデータとは別に保存したい場合は、まだ使っていない番号を入力し、分かりやすいファイル名をつけます。ファイル名だけを変更して上書きしたり、番号だけを変更して同一ファイル名の別データを保存することもできます。

ここではファイル番号のみ「103」に変更しています。

● 「保存ファイル」画面の操作

［↑］、［↓］：入力項目（番号、名前）を移動します。「番号」はファイル番号を、「名前」はファイル名を表します（ラベルに印字される内容ではありません）。

［←］、［→］：「名前」項目の編集時にカーソルを任意の位置に移動します。

［確定］　　：修正したラベルデータを保存します。

「番号」項目：ファイル番号を設定します。メモリカード内のファイルの区別はこの番号で行われます。

「名前」項目：ファイル名を入力します。

- 保存先の分類（フォルダ）や分類名は変更できません。

⑫ **カーソルキー（[←]、[→]）で「保存」を選択し、[確定] キーを押します。**

ここでは、そのまま［確定］キーを押します。

- はい　：修正内容を保存します。
- いいえ：手順 10 の画面に戻ります。

- 番号を変更しなかった場合、またはすでに登録されている番号を入力した場合には、上書き確認画面が表示されます。

- はい　：上書きします。
- いいえ：手順 10 の画面に戻ります。

⑬ **保存が終了し、「ファイル選択」画面に戻ります。**

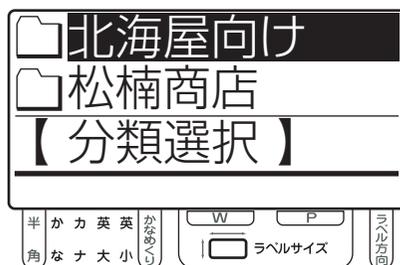
- 保存していない修正は、「編集」画面を抜けるとクリアされます。

インストアマーキング項目の修正

ラベルデータ内のインストアマーキングの内容を修正します。リンク先がある場合はリンク元の内容を修正できます。

- インストアマーキングとは、バーコードの一種で、バーコード内の桁が区分ごとに区切られています。専用キーボードから編集する場合は、それぞれの区分ごとに編集画面が表示され、直接内容を変更することができます。
- 専用キーボードでリンク先の内容を変更したい場合には、リンク元のファイルがメモリカード内に保存されている必要があります。

参照　詳しくは「楽らくラベル PDF マニュアル」を参照してください。

① **カーソルキー（[↑]、[↓]）で、修正したいファイルのある分類フォルダを選択し、[確定] キーを押します。**

メモ

- メモリカード内に有効なフォルダ（有効なデータをひとつ以上保存してあるフォルダ）がひとつしかないときは、「分類選択」画面は表示されません。手順 2 に進みます。

❷ **カーソルキー（[↑]、[↓]）で修正したいファイルを選択します。**

メモ

- **[↑] キーを押すごとに、分類フォルダ内の前のファイル番号を表示します。[↓] キーを押すごとに、メモリカード内の次のファイル番号を表示します。**
- **[数字] キーで直接番号を入力し、ファイルを呼び出すこともできます。**

❸ **「名前：」欄の内容を確認して［編集］キーを押します。**

変更可能な文字枠のうち先頭のもの（左上に近いもの）が表示されます。

❹ **［確定］キーを押して変更したい項目まで移動します。**

- **「編集」画面の操作**

[↑]	：	ひとつ前の項目に戻ります。
[↓]	：	ひとつ次の項目に移動します。
[←]、[→]	：	カーソルを任意の位置に移動します。
[確定]	：	修正したラベルデータを保存します。

❺ **生産者コードの「49」を「12」に変更してみます。［1］［2］と文字キーを押します。**

インストアマーキング項目の編集では、カーソル位置に入力した内容が元の内容に上書きされます。ここでは、先頭の「49」がそのまま「12」に上書きされます。

メモ

- **インストアマーキング項目の修正では、以下のような制限があります。**
  - **半角の「英大」入力モードに固定されます。**
  - **数字キー以外は無効です。**
  - **［削除］キーが無効のため、元の値から桁数を変えることはできません。**

❻ **［確定］キーを押します。**

次の項目に変わります。

メモ

- **[↑] キーや [↓] キーで移動すると変更内容は反映されません。**

❼ **ほかに変更がなければ、保存確認の画面が表示されるまで［確定］キーを数回押します。**

メモ

- **保存確認の画面が表示される前に[シフト]キーを押しながら［0］（ためす）キーを押すと、ラベルを1枚試し発行します。実際のラベルで編集した内容を確認できます。発行後は試し発行の操作前の画面に戻ります。**

❽ **以下のような保存確認の画面が表示されたら、カーソルキー（[←]、[→]）で「保存」を選択し、[確定] キーを押します。**

ここでは、そのまま [確定] キーを押します。

- 保存　　　：修正内容を保存します。
- 編集に戻る：手順２の画面に戻ります。

❾ **保存するファイル番号、およびファイル名を入力し、[確定] キーを押します。**

元のラベルデータに上書きしたい場合は、そのまま [確定] キーを押します。

元のラベルデータとは別に保存したい場合は、まだ使っていない番号を入力し、分かりやすいファイル名をつけます。ファイル名だけを変更して上書きしたり、番号だけを変更して同一ファイル名の別データを保存することもできます。

ここではファイル番号のみ「103」に変更しています。

番号：000103
名前：焼き菓子１
【保存ファイル】
59x　67　↑

●「保存ファイル」画面の操作

[↑]、[↓]	入力項目（番号、名前）を移動します。「番号」はファイル番号を、「名前」はファイル名を表します（ラベルに印字される内容ではありません）。
[←]、[→]	「名前」項目の編集時にカーソルを任意の位置に移動します。
[確定]	修正したラベルデータを保存します。
「番号」項目	ファイル番号を設定します。メモリカード内のファイルの区別はこの番号で行われます。
「名前」項目	ファイル名を入力します。

メモ

● **保存先の分類（フォルダ）や分類名は変更できません。**

❿ **カーソルキー（[←]、[→]）で「保存」を選択し、[確定] キーを押します。**

ここでは、そのまま [確定] キーを押します。

- はい　：修正内容を保存します。
- いいえ：手順８の画面に戻ります。

● 番号を変更しなかった場合、またはすでに登録されている番号を入力した場合には、上書き確認画面が表示されます。

- はい　：上書きします。
- いいえ：手順８の画面に戻ります。

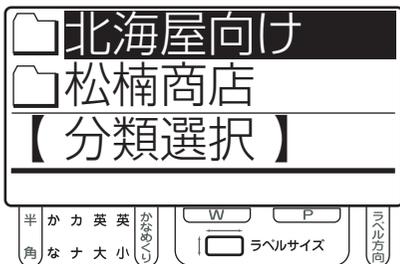
⓫ **保存が終了し、「ファイル選択」画面に戻ります。**

メモ

● **保存していない修正は、「編集」画面を抜けるとクリアされます。**

加算日数の修正

ラベルデータ内の消費期限といった加算日数を設定する項目を修正します。

1. カーソルキー（[↑]、[↓]）で、修正したいファイルのある分類フォルダを選択し、[確定] キーを押します。

メモ

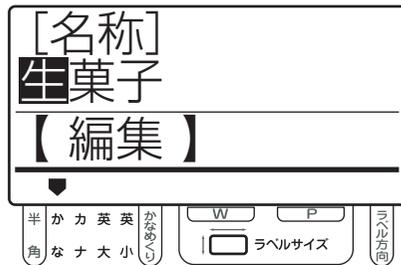
- メモリカード内に有効なフォルダ（有効なデータをひとつ以上保存してあるフォルダ）がひとつしかないときは、「分類選択」画面は表示されません。手順２に進みます。

2. カーソルキー（[↑]、[↓]）で修正したいファイルを選択します。

メモ

- [↑] キーを押すごとに、分類フォルダ内の前のファイル番号を表示します。[↓] キーを押すごとに、メモリカード内の次のファイル番号を表示します。
- [数字] キーで直接番号を入力し、ファイルを呼び出すこともできます。

3. 「名前：」欄の内容を確認して［編集］キーを押します。

変更可能な文字枠のうち先頭のもの（左上に近いもの）が表示されます。

4. [確定] キーを押して変更したい項目まで移動します。

● 「編集」画面の操作

[↑]	：	ひとつ前の項目に戻ります。
[↓]	：	ひとつ次の項目に移動します。
[←]、[→]	：	カーソルを任意の位置に移動します。
[確定]	：	修正したラベルデータを保存します。

❺ 加算日数を修正します。

● カレンダからの加算日数を変更する場合

初期状態ではこの画面が表示されます。
仮想カレンダからの加算日数を設定します。
必要項目を［数字］キーで入力します。

［シフト］キーを押しながら［←］キーを押す

［シフト］キーを押しながら［→］キーを押す

● 消費期限を記載しない場合

枠外記載などでラベルに消費期限を印刷しない場合は、［シフト］キーを押しながら［→］キーを押して表示を切り替えます。
この画面で日付の代わりに記載する項目を［←］［→］キーで選択します。

メモ

- 「日付語句」画面から「加算日数変更」画面へ戻したい場合は、［シフト］キーを押しながら［←］キーを押します。
- 日付語句は以下の５種類から選択できます。
  - 「枠外上部に記載」
  - 「枠外下部に記載」
  - 「フタに記載」
  - 「空白」
  - あらかじめ設定した日付語句

参照 83ページ

❻ ［確定］キーを押します。

次の項目に変わります。

メモ

- ［↑］キーや［↓］キーで移動すると変更内容は反映されません。

❼ ほかに変更がなければ、保存確認の画面が表示されるまで［確定］キーを数回押します。

メモ

- 保存確認の画面が表示される前に［シフト］キーを押しながら［0］（ためす）キーを押すと、ラベルを１枚試し発行します。実際のラベルで編集した内容を確認できます。発行後は試し発行の操作前の画面に戻ります。

❽ 以下のような保存確認の画面が表示されたら、カーソルキー（［←］、［→］）で「保存」を選択し、［確定］キーを押します。

ここでは、そのまま［確定］キーを押します。

- 保存　：修正内容を保存します。
- 編集に戻る：手順２の画面に戻ります。

❾ 保存するファイル番号、およびファイル名を入力し、［確定］キーを押します。

元のラベルデータに上書きしたい場合は、そのまま［確定］キーを押します。
元のラベルデータとは別に保存したい場合は、まだ使っていない番号を入力し、分かりやすいファイル名をつけます。ファイル名だけを変更して上書きしたり、番号だけを変更して同一ファイル名の別データを保存することもできます。
ここではファイル番号のみ「103」に変更しています。

●「保存ファイル」画面の操作

［↑］、［↓］：入力項目（番号、名前）を移動します。「番号」はファイル番号を、「名前」はファイル名を表します（ラベルに印字される内容ではありません）。
［←］、［→］：「名前」項目の編集時にカーソルを任意の位置に移動します。
［確定］：修正したラベルデータを保存します。
「番号」項目：ファイル番号を設定します。メモリカード内のファイルの区別はこの番号で行われます。
「名前」項目：ファイル名を入力します。

メモ

● **保存先の分類（フォルダ）や分類名は変更できません。**

❿ カーソルキー（［←］、［→］）で「保存」を選択し、［確定］キーを押します。

ここでは、そのまま［確定］キーを押します。

- はい　：修正内容を保存します。
- いいえ：手順８の画面に戻ります。

● 番号を変更しなかった場合、またはすでに登録されている番号を入力した場合には、上書き確認画面が表示されます。

- はい　：上書きします。
- いいえ：手順８の画面に戻ります。

⓫ 保存が終了し、「ファイル選択」画面に戻ります。

メモ

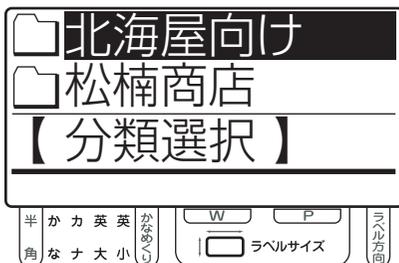
● **保存していない修正は、「編集」画面を抜けるとクリアされます。**

4.2 さまざまな発行方法を使いこなす

リンク枠にラベルデータを入力して発行する

「リンク枠」とは、あらかじめデータベースを作成しておき、リンク枠データを使ってそのデータを呼び出すことで必要項目を入力する機能です。リンク枠データの入力には、専用キーボードから入力する方法と、オプションのスキャナから読み取る方法があります。

参照

詳しくは「楽らくラベルPDFマニュアル」を参照してください。
スキャナを使用する場合は、91ページも併せて参照してください。

❶ カーソルキー（[↑]、[↓]）で、発行したいファイルのある分類フォルダを選択し、[確定] キーを押します。

メモ

● メモリカード内に有効なフォルダ（有効なデータをひとつ以上保存してあるフォルダ）がひとつしかないときは、「分類選択」画面は表示されません。手順２に進みます。

❷ カーソルキー（[↑]、[↓]）で発行したいファイルを選択し、[発行] キーを押します。

指定したファイルのラベルサイズが下欄に表示されます。サイズにあったラベルをセットしてください。

メモ

● [↑] キーを押すごとに、分類フォルダ内の前のファイル番号を表示します。[↓] キーを押すごとに、メモリカード内の次のファイル番号を表示します。
● [数字] キーで直接番号を入力し、ファイルを呼び出すこともできます。

❸ 選択したファイルにファイルに「リンク枠」を設定している場合は、リンク枠データの入力画面が表示されます。必要項目を入力し、[発行] キーを押します。

その他の機能を使いこなす

④「発行時変更」を設定している入力項目がある場合は、その項目の入力画面が表示されます。必要項目を入力し、[発行] キーを押します。

指定項目数分だけ入力画面が表示されますので、必要項目を入力し [発行] キーを押します。

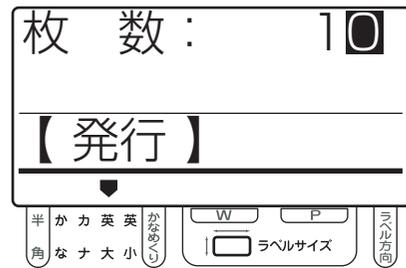
メモ

● 楽らくラベルで「発行時変更」を設定すると、専用キーボードからのラベル発行時に設定した項目について修正入力する画面が毎回表示されるようになります。

●「発行時変更」は、楽らくラベルでラベルデータを作成する際に、文字枠などのプロパティにある「発行時変更」設定をチェックすることで設定できます（専用キーボードからは設定できません）。

●「発行時変更」のあるデータで、ラベル発行時に修正入力画面を表示したくない場合は、環境設定の「発行時変更の許可」で「しない」に設定します。

90 ページ

⑤ [数字] キーで枚数（発行枚数）を入力し、[発行] キ ーを押します。

プリンタからラベルの発行が開始されます。

メモ

● プリンタにオプションのオートカッターユニットを接続している場合は、「発行」画面でカット枚数を指定します。
カット枚数とは、自動でカットする枚数の単位です。例えば、発行枚数 100 枚、カット枚数 10 枚とした場合は、10 枚ずつカットして 100 枚（10 枚の短冊を 10 個）発行します。

● はじめに表示される発行枚数とカット枚数は、ラベルデータ作成時（メモリカードへの書出し時）に設定します。

● 発行後のプリンタの動作は、プリンタに接続されているオプションによって異なります。
  - 標準（オプションなし）の場合
    指定枚数発行後にラベルを手切り位置まで空送りします。
  - 剥離ユニットが接続されている場合
    1 枚発行ごとに停止します。剥離したラベルを取り除くと、次の 1 枚を発行して停止します。
  - オートカッターユニットが接続されている場合
    指定したカット枚数のラベルを発行するごとにラベルをカットします。

● 発行が終わると、専用キーボードの表示は「ファイル選択」画面または発行したファイルの「発行時変更」可能な先頭の項目に戻ります（環境設定により異なります）。

91 ページ

仮想カレンダの日付で発行する

仮想カレンダは、休み明けに製造する商品のラベルを前もって発行したい場合などに利用できます。また、設定した仮想の日付を使い、消費期限などが設定できます。

メモ

● 日付設定で「仮想カレンダ使用」を「する」に設定する必要があります。

82ページ

❶ **カーソルキー（[↑]、[↓]）で、発行したいファイルのある分類フォルダを選択し、[確定] キーを押します。**

メモ

● メモリカード内に有効なフォルダ（有効なデータをひとつ以上保存してあるフォルダ）がひとつしかないときは、「分類選択」画面は表示されません。手順２に進みます。

❷ **カーソルキー（[↑]、[↓]）で発行したいファイルを選択し、[発行] キーを押します。**

指定したファイルのラベルサイズが下欄に表示されます。サイズにあったラベルをセットしてください。

メモ

● [↑] キーを押すごとに、分類フォルダ内の前のファイル番号を表示します。[↓] キーを押すごとに、メモリカード内の次のファイル番号を表示します。

● [数字] キーで直接番号を入力し、ファイルを呼び出すこともできます。

❸ **「発行時変更」を設定している入力項目がある場合は、その項目の入力画面が表示されます。必要項目を入力し、[発行] キーを押します。**

指定項目数分だけ入力画面が表示されますので、必要項目を入力し［発行］キーを押します。

メモ

● 楽らくラベルで「発行時変更」を設定すると、専用キーボードからのラベル発行時に設定した項目について修正入力する画面が毎回表示されるようになります。

● 「発行時変更」は、楽らくラベルでラベルデータを作成する際に、文字枠などのプロパティにある「発行時変更」設定をチェックすることで設定できます（専用キーボードからは設定できません）。

● 「発行時変更」のあるデータで、ラベル発行時に修正入力画面を表示したくない場合は、環境設定の「発行時変更の許可」で「しない」に設定します。

90ページ

④「仮想カレンダ」を使用する設定の場合は、日付の入力画面が表示されます。必要項目を入力し、［発行］キーを押します。

⑤「賞味期限」など加算日数を使用する項目がある場合は、加算日数を修正します。

● カレンダからの加算日数を変更する場合

初期状態ではこの画面が表示されます。
仮想カレンダからの加算日数を設定します。
必要項目を［数字］キーで入力し、［発行］キーを押します。

［シフト］キーを押しながら［←］キーを押す

［シフト］キーを押しながら［→］キーを押す

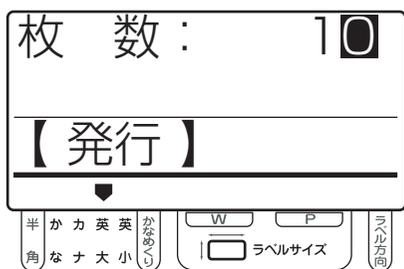
● 消費期限を記載しない場合

枠外記載などでラベルに消費期限を印刷しない場合は、［シフト］キーを押しながら［→］キーを押して表示を切り替えます。
この画面で日付の代わりに記載する項目を［←］［→］キーで選択し、［発行］キーを押します。

メモ

● 「日付語句」画面から「加算日数変更」画面へ戻したい場合は、［シフト］キーを押しながら［←］キーを押します。
● 日付語句は以下の５種類から選択できます。
  • 「枠外上部に記載」
  • 「枠外下部に記載」
  • 「フタに記載」
  • 「空白」
  • あらかじめ設定した日付語句

参照 83ページ

6 [数字] キーで枚数（発行枚数）を入力し、[発行] キーを押します。

プリンタからラベルの発行が開始されます。

メモ

- プリンタにオプションのオートカッターユニットを接続している場合は、「発行」画面でカット枚数を指定します。
  カット枚数とは、自動でカットする枚数の単位です。例えば、発行枚数100枚、カット枚数10枚とした場合は、10枚ずつカットして100枚（10枚の短冊を10個）発行します。
- はじめに表示される発行枚数とカット枚数は、ラベルデータ作成時（メモリカードへの書出し時）に設定します。
- 発行後のプリンタの動作は、プリンタに接続されているオプションによって異なります。
  - 標準（オプションなし）の場合
    指定枚数発行後にラベルを手切り位置まで空送りします。
  - 剥離ユニットが接続されている場合
    1枚発行ごとに停止します。剥離したラベルを取り除くと、次の1枚を発行して停止します。
  - オートカッターユニットが接続されている場合
    指定したカット枚数のラベルを発行するごとにラベルをカットします。
- 発行が終わると、専用キーボードの表示は「ファイル選択」画面または発行したファイルの「発行時変更」可能な先頭の項目に戻ります（環境設定により異なります）。

91ページ

予約発行する

予約した複数のラベルを最大20件までまとめて発行できます。

ラベル発行を予約する

ラベルの発行を予約して予約リストを作ります。

1 カーソルキー（[↑]、[↓]）で、発行したいファイルのある分類フォルダを選択し、[確定] キーを押します。

- メモリカード内に有効なフォルダ（有効なデータをひとつ以上保存してあるフォルダ）がひとつしかないときは、「分類選択」画面は表示されません。手順2に進みます。

2 カーソルキー（[↑]、[↓]）で発行したいファイルを選択し、[発行] キーを押します。

指定したファイルのラベルサイズが下欄に表示されます。サイズにあったラベルをセットしてください。

その他の機能を使いこなす

メモ

- ［↑］キーを押すごとに、分類フォルダ内の前のファイル番号を表示します。［↓］キーを押すごとに、メモリカード内の次のファイル番号を表示します。
- ［数字］キーで直接番号を入力し、ファイルを呼び出すこともできます。

❸「発行時変更」を設定している入力項目がある場合は、その項目の入力画面が表示されます。必要項目を入力し、［発行］キーを押します。

指定項目数分だけ入力画面が表示されますので、必要項目を入力し［発行］キーを押します。

メモ

- 楽らくラベルで「発行時変更」を設定すると、専用キーボードからのラベル発行時に設定した項目について修正入力する画面が毎回表示されるようになります。
- 「発行時変更」は、楽らくラベルでラベルデータを作成する際に、文字枠などのプロパティにある「発行時変更」設定をチェックすることで設定できます（専用キーボードからは設定できません）。
- 「発行時変更」のあるデータで、ラベル発行時に修正入力画面を表示したくない場合は、環境設定の「発行時変更の許可」で「しない」に設定します。

参照 90 ページ

❹［数字］キーで枚数（発行枚数）を入力し、［予約発行］キ ーを押します。

現在の予約数が表示されたあと、［ファイル選択］画面に戻ります。

- 予約を続ける場合は、手順2からの操作を繰り返します。
- 予約を追加しないときは、「■ 予約リストから発行する」に進みます。

メモ

- 予約は同じ分類の中のファイルのみ登録できます。予約した後で「ファイル選択」画面から［取消］キーを押して「フォルダ選択」画面に戻ると、予約した内容は消去されます。
- 予約できるファイル数は最大 20 です。
- 同じファイルを予約したときは後から予約した内容で上書きされます。
- ラベルサイズの異なるファイルは予約できません。
- ファイルごとの発行時変更や発行枚数、その他の設定は、すべて予約時に行います。ただし、仮想カレンダの設定は発行時に行います。

予約リストから削除する

発行を予約したファイルを予約リストから削除します。

❶ **予約後のファイル選択画面で、［予約発行］キーを押します。**

「予約リスト」画面が表示されます。

❷ **カーソルキー（［↑］、［↓］）で削除したい予約を選択し、［削除］キーを押します。**

カーソル位置の予約が削除されます。

メモ

● 予約リストに 3 件以上の予約がある場合は、［↑］［↓］キーで表示をスクロールできます。

❸ **［予約発行］キーを押します。**

手順 1 の画面に戻ります。

予約リストから発行する

❶ **予約後のファイル選択画面で、［予約発行］キーを押します。**

「予約リスト」画面が表示されます。

❷ **［発行］キーを押します。**

発行が開始されます。

❸ **発行が終わると、予約リストは消去され、「ファイル選択」画面に戻ります。**

メモ

● 仮想カレンダを使用する設定の場合には、手順2で発行を開始する前に日付の入力画面が表示されます。

参照 82ページ

● 予約発行の途中で停止すると、予約リストは消去されます。ただし、一時停止の場合は消去されません。

連番を設定して発行する

楽らくラベルで連番文字あるいは連番バーコードを設定した項目があると、連番を付けたラベルを発行できます。
連番設定には以下の制約があります。

- 連番の最大値は 9999 です。
- 増加数（インクリメント：1 カウントあたり加算される数）は 1 ～ 9 から選択できます。

上記は楽らくラベルでのデータ作成時の制限です。詳しくは「楽らくラベル PDF マニュアル」を参照してください。

❶ カーソルキー（[↑]、[↓]）で、発行したいファイルのある分類フォルダを選択し、[確定] キーを押します。

メモ

- メモリカード内に有効なフォルダ（有効なデータをひとつ以上保存してあるフォルダ）がひとつしかないときは、「分類選択」画面は表示されません。手順 2 に進みます。

❷ カーソルキー（[↑]、[↓]）で発行したいファイルを選択し、[発行] キーを押します。

指定したファイルのラベルサイズが下欄に表示されます。サイズにあったラベルをセットしてください。

メモ

- [↑] キーを押すごとに、分類フォルダ内の前のファイル番号を表示します。[↓] キーを押すごとに、メモリカード内の次のファイル番号を表示します。
- [数字] キーで直接番号を入力し、ファイルを呼び出すこともできます。

❸「発行時変更」を設定している入力項目がある場合は、その項目の入力画面が表示されます。必要項目を入力し、[発行] キーを押します。

指定項目数分だけ入力画面が表示されますので、必要項目を入力し [発行] キーを押します。

メモ

- 楽らくラベルで「発行時変更」を設定すると、専用キーボードからのラベル発行時に設定した項目について修正入力する画面が毎回表示されるようになります。
- 「発行時変更」は、楽らくラベルでラベルデータを作成する際に、文字枠などのプロパティにある「発行時変更」設定をチェックすることで設定できます（専用キーボードからは設定できません）。
- 「発行時変更」のあるデータで、ラベル発行時に修正入力画面を表示したくない場合は、環境設定の「発行時変更の許可」で「しない」に設定します。

90 ページ

❹ 連番の開始番号を設定し、[発行] キーを押します。

- この画面は、楽らくラベルで接続プリンタにLP-100HRを指定し、かつ、連番の「発行時変更」を「する」に設定してCF書き出ししたときに表示されます。
  ※ LP-100R使用の時は、開始番号の設定はできません。
- ひとつのラベルに複数の連番が設定されている場合には、上記の画面が設定数表示されますので、それぞれ設定を行います。

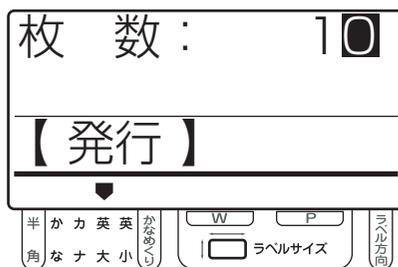
❺「連番カウント」を使用する設定の場合は、連番数の入力画面が表示されます。必要項目を入力し、[発行] キーを押します。

メモ

- 環境設定で「発行時変更の保存」を「する」に設定している場合は、ここで設定した値をカウント数に加え、新しい連番の初期値として保存します。

参照 76ページ

❻ [数字] キーで枚数（発行枚数）を入力し、[発行] キーを押します。

プリンタからラベルの発行が開始されます。

メモ

- 設定例：
  元の連番数「05」の文字枠に、増加数＝2で連番設定した場合、カウント＝4、発行枚数＝2枚とすると、実際に発行されるラベルは次のようになります。
  - 「05」と印字したラベル2枚
  - 「07」と印字したラベル2枚
  - 「09」と印字したラベル2枚
  - 「11」と印字したラベル2枚

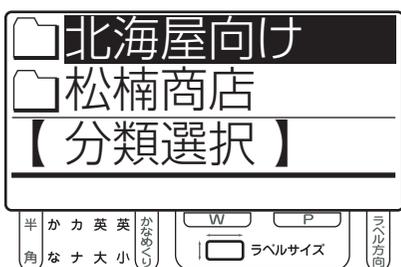
❼ 発行が終わると、予約リストは消去され、「ファイル選択」画面に戻ります。

試し発行をする

試し発行は以下の 3 つの場面で行え、それぞれ内容が異なります。

ラベルの内容を試し発行で確認する

「ファイル選択」画面で試し発行を行うと、画面に表示中のラベルを 1 枚発行します。ラベルの内容を印字して確認したい場合に便利です。

❶ **カーソルキー（[↑]、[↓]）で、試し発行したいファイルのある分類フォルダを選択し、[確定］キーを押します。**

メモ

- メモリカード内に有効なフォルダ（有効なデータをひとつ以上保存してあるフォルダ）がひとつしかないときは、「分類選択」画面は表示されません。手順 2 に進みます。

❷ **カーソルキー（[↑]、[↓]）で試し発行したいファイルを選択します。**

指定したファイルのラベルサイズが下欄に表示されます。サイズにあったラベルをセットしてください。

メモ

- [↑] キーを押すごとに、分類フォルダ内の前のファイル番号を表示します。[↓] キーを押すごとに、メモリカード内の次のファイル番号を表示します。
- 数字キーで直接番号を入力し、ファイルを呼び出すこともできます。

❸ **[シフト］キーを押しながら［0］（ためす）キーを押します。**

ラベルを1枚試し発行します。発行が終了すると、発行前の画面に戻ります。

編集結果を試し発行で確認する

専用キーボードでラベルデータを編集するときは、最後に保存するまでデータを更新できません。しかし編集中に試し発行を行うと、編集した結果のラベルを 1 枚発行して、編集結果を印字し、保存前に確認することができます。

❶ **「編集」画面で［シフト］キーを押しながら［0］（ためす）キーを押します。**

ラベルを1枚試し発行します。発行が終了すると、発行前の画面に戻ります。

印字抜けをチェックする

チェックパターンを発行することで、プリンタの状態を確認できます。

参照 9ページ

4.3 パソコン上で取扱説明書を見る

パソコン上で本書を見る

楽らくラベルをインストールしていると、本書（「専用キーボード取扱説明書」）をパソコン上で参照できます。

❶ **［スタート］－［すべてのプログラム］－［MAX］－［楽らくラベル35］－［専用キーボード取説］をクリックします。**
Adobe Readerが起動し、本書（「専用キーボード取扱説明書」）が表示されます。

楽らくラベルのPDFマニュアルを見る

楽らくラベルをインストールしていると、楽らくラベルのPDFマニュアルをパソコン上で参照できます。

❶ **［スタート］－［すべてのプログラム］－［MAX］－［楽らくラベル35］－［楽らくラベル取説］をクリックします。**
Adobe Readerが起動し、「楽らくラベルPDFマニュアル」が表示されます。

5 専用キーボードの各種設定

5.1 設定機能について

専用キーボードでは、印刷に関する設定や専用キーボード自体の環境設定、内蔵時計の日時設定など、各種の設定ができます。また、設定した内容は、電源を OFF にしても保持されます（「仮想カレンダ使用」は除きます）。

設定項目の一覧

分　類	機　能　名	参照ページ
印刷設定	印字濃度	71
	印刷の向き	71
	送り位置調整	72
	幅位置調整	72
	停止位置調整	73
	印刷速度	73
	用紙の種類（1、2、3）	74
	カット機能／剥離機能	75
環境設定	発行時変更の許可	90
	発行時変更の保存	76
	発行時の枚数表示	77
	発行後の戻り先	91
	発行者管理機能	77
	バーコードのガードバー表示	79
	キー音	79
	スキャナ入力確認	92
	CODE39 の読込設定	93
	入力初期モード	80
	パスワード設定	89
	設定値の保存	80
	バージョン表示	81
日付設定	仮想カレンダ使用	82
	カレンダ初期設定	83
	日付語句の登録	83
	時刻合せ	84
画面設定	コントラスト	85
	明るさ	85

5.2 印刷設定でできること

印字濃度

印字濃度を０～30 の31 段階で設定します。
数字が大きいほど印字が濃くなります。
お買い上げ時の設定は「10」です。

❶「分類選択」画面で［印刷設定］キーを押します。

❷ カーソルキー（[↑]、[↓]）で目的の設定画面を選択します。

ここでは、最初に表示されるのが「印字濃度」画面なので、そのまま手順３に進みます。

❸ カーソルキー（[←]、[→]）で設定を選択し、［確定］キーを押します。

［確定］キーを押した時点で設定は保存されます。次の設定項目に表示が切り替わります。

メモ

● ［数字］キーで設定することもできます。

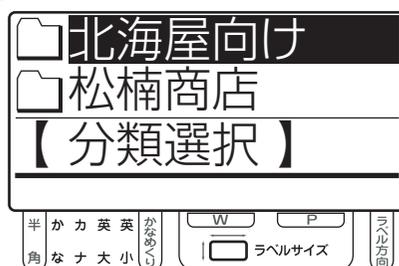
❹ 続けて他の印刷設定を行うときは、カーソルキー（[↑]、[↓]）で他の設定項目に移動できます。設定を終えるときは、［取消］キーを押します。

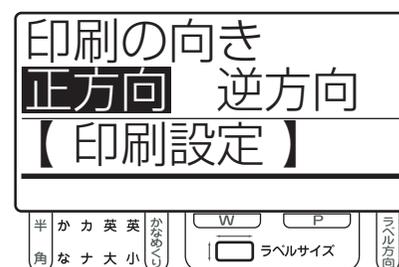
［取消］キーを押すと、「分類選択」画面に戻ります。

メモ

● 手順3で［確定］を押さずに［↑］［↓］キーで項目を移動した場合や、［取消］キーを押した場合には変更内容が保存されません。

印刷の向き

印刷するラベルの向きを設定します。
お買い上げ時の設定は「正方向」です。

❶「分類選択」画面で［印刷設定］キーを押します。

❷ カーソルキー（[↑]、[↓]）で目的の設定画面を選択します。

❸ カーソルキー（[←]、[→]）で設定を選択し、［確定］キーを押します。

［確定］キーを押した時点で設定は保存されます。次の設定項目に表示が切り替わります。

- 正方向　：ラベルの先頭から印刷します。
- 逆方向　：ラベルの末尾から逆に印刷します。

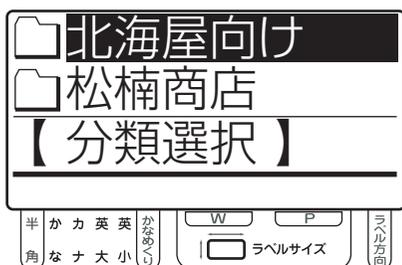
❹ 続けて他の印刷設定を行うときは、カーソルキー（[↑]、[↓]）で他の設定項目に移動できます。設定を終えるときは、［取消］キーを押します。

［取消］キーを押すと、「分類選択」画面に戻ります。

メモ

● 手順3で［確定］を押さずに［↑］［↓］キーで項目を移動した場合や、［取消］キーを押した場合には変更内容が保存されません。

送り位置調整

印刷の開始位置を -25.4 ～ +25.4mm の範囲で 0.1mm ステップで設定します。
お買い上げ時の設定は「+0mm」です。

❶ 「分類選択」画面で［印刷設定］キーを押します。

❷ カーソルキー（[↑]、[↓]）で目的の設定画面を選択します。

❸ カーソルキー（[←]、[→]）で設定を選択し、［確定］キーを押します。

［確定］キーを押した時点で設定は保存されます。次の設定項目に表示が切り替わります。

- ［←］　：設定値を 0.1mm 単位で減らします（0mm のときは -0.1mm になります）。
- ［→］　：設定値を 0.1mm 単位で増やします。

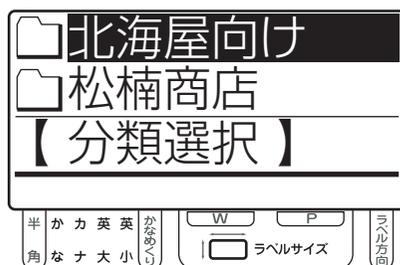
❹ 続けて他の印刷設定を行うときは、カーソルキー（[↑]、[↓]）で他の設定項目に移動できます。設定を終えるときは、［取消］キーを押します。

［取消］キーを押すと、「分類選択」画面に戻ります。

メモ

- 手順3で［確定］を押さずに [↑] [↓] キーで項目を移動した場合や、［取消］キーを押した場合には変更内容が保存されません。

幅位置調整

横方向の印刷位置を-25.4～+25.4mmの範囲で 0.1mm ステップで設定します。
お買い上げ時の設定は「+0mm」です。

❶ 「分類選択」画面で［印刷設定］キーを押します。

❷ カーソルキー（[↑]、[↓]）で目的の設定画面を選択します。

❸ カーソルキー（[←]、[→]）で設定を選択し、［確定］キーを押します。

［確定］キーを押した時点で設定は保存されます。次の設定項目に表示が切り替わります。

- ［←］　：設定値を 0.1mm 単位で減らします（0mm のときは -0.1mm になります）。
- ［→］　：設定値を 0.1mm 単位で増やします。

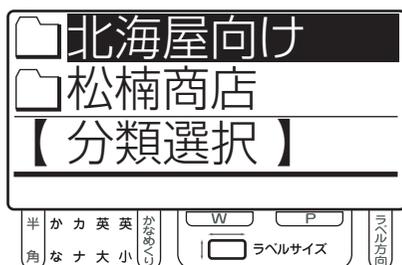
❹ 続けて他の印刷設定を行うときは、カーソルキー（[↑]、[↓]）で他の設定項目に移動できます。設定を終えるときは、［取消］キーを押します。

［取消］キーを押すと、「分類選択」画面に戻ります。

メモ

- 手順3で［確定］を押さずに [↑] [↓] キーで項目を移動した場合や、［取消］キーを押した場合には変更内容が保存されません。

停止位置調整

印刷終了時の停止位置を-25.4～+25.4mmの範囲で0.1mmステップで設定します。
お買い上げ時の設定は「+0mm」です。

❶「分類選択」画面で［印刷設定］キーを押します。

❷ カーソルキー（[↑]、[↓]）で目的の設定画面を選択します。

❸ カーソルキー（[←]、[→]）で設定を選択し、［確定］キーを押します。

［確定］キーを押した時点で設定は保存されます。次の設定項目に表示が切り替わります。

- ［←］　：設定値を0.1mm単位で減らします（0mmのときは-0.1mmになります）。
- ［→］　：設定値を0.1mm単位で増やします。

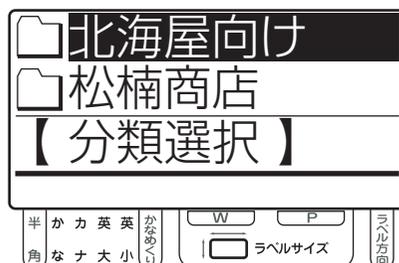
❹ 続けて他の印刷設定を行うときは、カーソルキー（[↑]、[↓]）で他の設定項目に移動できます。設定を終えるときは、［取消］キーを押します。

［取消］キーを押すと、「分類選択」画面に戻ります。

メモ

- 「カット機能」または「剥離機能」の設定が「有効」の時は、ここで設定した値に25.4mmを加えた値を印刷の停止位置とします。
- 手順3で［確定］を押さずに［↑］［↓］キーで項目を移動した場合や、［取消］キーを押した場合には変更内容が保存されません。

印刷速度

印刷の速さを3段階で設定します。
お買い上げ時の設定は「高速」です。

❶「分類選択」画面で［印刷設定］キーを押します。

❷ カーソルキー（[↑]、[↓]）で目的の設定画面を選択します。

❸ カーソルキー（[←]、[→]）で設定を選択し、［確定］キーを押します。

［確定］キーを押した時点で設定は保存されます。次の設定項目に表示が切り替わります。

- 高速　：約100 mm/秒（4lps）で印刷します。
- 中速　：約75 mm/秒（3lps）で印刷します。
- 低速　：約50 mm/秒（2lps）で印刷します。

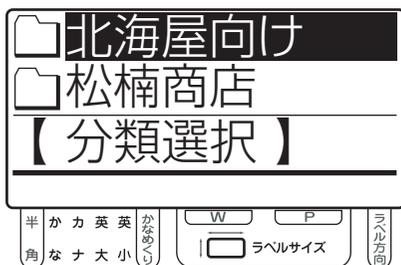
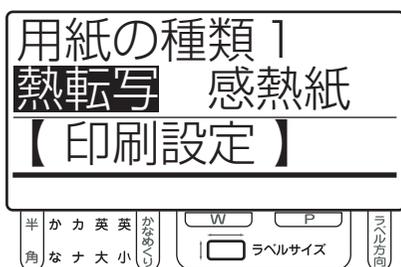
❹ 続けて他の印刷設定を行うときは、カーソルキー（[↑]、[↓]）で他の設定項目に移動できます。設定を終えるときは、［取消］キーを押します。

［取消］キーを押すと、「分類選択」画面に戻ります。

- 手順3で［確定］を押さずに［↑］［↓］キーで項目を移動した場合や、［取消］キーを押した場合には変更内容が保存されません。

用紙の種類

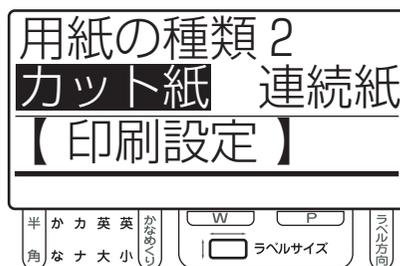
ラベルの発行に使う用紙の種類を「用紙の種類 1」〜「用紙の種類 3」の 3 つの項目で選択します。
お買い上げ時の設定は「熱転写」「カット紙」「マークなし」です。

❶ **「分類選択」画面で［印刷設定］キーを押します。**

❷ **カーソルキー（[↑]、[↓]）で目的の設定画面を選択します。**

❸ **「用紙の種類 1」画面で、カーソルキー（[←]、[→]）で設定を選択し、［確定］キーを押します。**

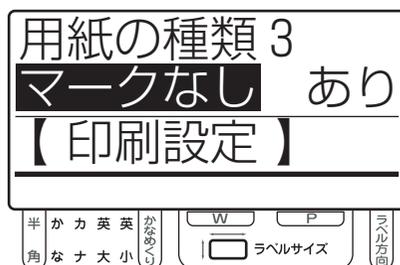
［確定］キーを押した時点で設定は保存されます。「用紙の種類 2」画面に表示が切り替わります。

- 熱転写 ： 熱転写タイプの用紙を使用します。
- 感熱紙 ： 感熱紙タイプの用紙を使用します。

❹ **「用紙の種類2」画面で、カーソルキー（[←]、[→]）で設定を選択し、［確定］キーを押します。**

［確定］キーを押した時点で設定は保存されます。「用紙の種類 3」画面に表示が切り替わります。

- カット紙 ： カット紙を使用します。
- 連続紙 ： 連続紙を使用します。

❺ **「用紙の種類3」画面で、カーソルキー（[←]、[→]）で設定を選択し、［確定］キーを押します。**

［確定］キーを押した時点で設定は保存されます。次の設定項目に表示が切り替わります。

- マークなし ： マークなしのカット紙を使用します。
- あり ： マークのあるカット紙を使用します。

メモ

● 「用紙の種類 3」の設定は、「用紙の種類 2」の設定が「カット紙」の場合にのみ有効です。

⑥ **続けて他の印刷設定を行うときは、カーソルキー（[↑]、[↓]）で他の設定項目に移動できます。設定を終えるときは、[取消] キーを押します。**

[取消] キーを押すと、「分類選択」画面に戻ります。

メモ

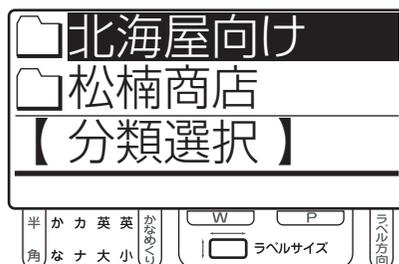
● 手順3〜5で [確定] を押さずに [↑] [↓] キーで項目を移動した場合や、[取消] キーを押した場合には変更内容が保存されません。

カット機能／剥離機能

この項目はプリンタにオプションのオートカッターユニットや剥離ユニットが装着されている場合に表示され、それぞれの機能を有効にするかどうかを設定します。
お買い上げ時の設定は「有効」です。

❶ **「分類選択」画面で [印刷設定] キーを押します。**

❷ **カーソルキー（[↑]、[↓]）で目的の設定画面を選択します。**

メモ

● プリンタに装着されているオプションにより、画面表示が「カット機能」または「剥離機能」に自動的に切り替わります。

❸ **カーソルキー（[←]、[→]）で設定を選択し、[確定] キーを押します。**

[確定] キーを押した時点で設定は保存されます。次の設定項目に表示が切り替わります。

- 有効　：プリンタのカット機能／剥離機能を有効にします。
- 無効　：プリンタのカット機能／剥離機能を無効にします。

❹ **続けて他の印刷設定を行うときは、カーソルキー（[↑]、[↓]）で他の設定項目に移動できます。設定を終えるときは、[取消] キーを押します。**

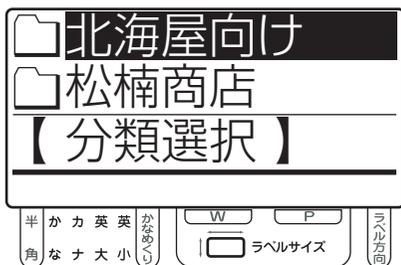
[取消] キーを押すと、「分類選択」画面に戻ります。

メモ

● 手順3で [確定] を押さずに [↑] [↓] キーで項目を移動した場合や、[取消] キーを押した場合には変更内容が保存されません。

5.3 環境設定でできること

発行時変更の保存

この設定では、ラベルデータについて発行時変更で修正入力した内容に書き換える設定を行なうことができます。
この設定を「する」にすると、発行したラベルについて「発行時変更」で修正した内容があれば、データがその内容に置き換わります。
お買い上げ時の設定は「しない」です。

参照 90ページ

❶ 「分類選択」画面で［環境］キーを押します。

❷ カーソルキー（［↑］、［↓］）で目的の設定画面を選択します。

❸ カーソルキー（［←］、［→］）で設定を選択し、［確定］キーを押します。

［確定］キーを押した時点で設定は保存されます。次の設定項目に表示が切り替わります。

- する　：ラベルデータを発行時に修正した内容で書き換えます。
- しない：発行時の修正を保存しません。

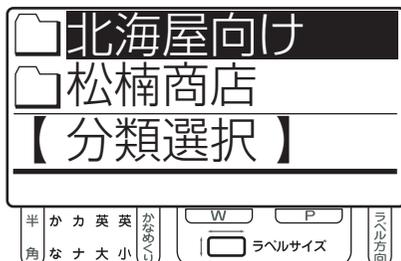
❹ 続けて他の環境設定を行うときは、カーソルキー（［↑］、［↓］）で他の設定項目に移動できます。設定を終えるときは、［取消］キーを押します。

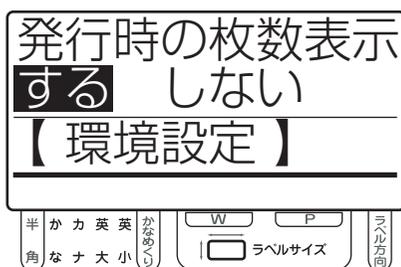
［取消］キーを押すと、「分類選択」画面に戻ります。

メモ

- 手順3で［確定］を押さずに［↑］［↓］キーで項目を移動した場合や、［取消］キーを押した場合には変更内容が保存されません。

発行時の枚数表示

ラベルの発行時に、専用キーボードから発行枚数を設定できるかどうかを設定します。
お買い上げ時の設定は「する」です。

❶「分類選択」画面で［環境］キーを押します。

❷ カーソルキー（[↑]、[↓]）で目的の設定画面を選択します。

❸ カーソルキー（[←]、[→]）で設定を選択し、［確定］キーを押します。

［確定］キーを押した時点で設定は保存されます。次の設定項目に表示が切り替わります。

- する　：専用キーボードからラベルの発行枚数を設定できます。
- しない：専用キーボードからの発行枚数指定は行いません。常にラベルデータで設定された枚数を発行します。

❹ 続けて他の環境設定を行うときは、カーソルキー（[↑]、[↓]）で他の設定項目に移動できます。設定を終えるときは、［取消］キーを押します。

［取消］キーを押すと、「分類選択」画面に戻ります。

メモ

● 手順3で［確定］を押さずに［↑］［↓］キーで項目を移動した場合や、［取消］キーを押した場合には変更内容が保存されません。

発行者管理機能（楽らくラベル Pro 対応）

スタンドアロンモードで誰がラベルを発行したか発行履歴を CF カード内に残すかどうかを設定します。
この機能を「有効」に設定すると、発行者の ID を 入力しないとラベル発行ができなくなります。

メモ

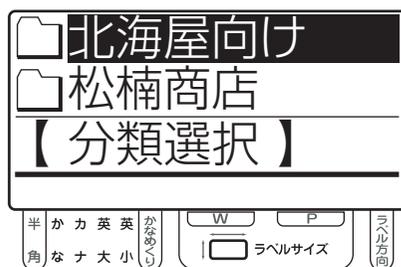
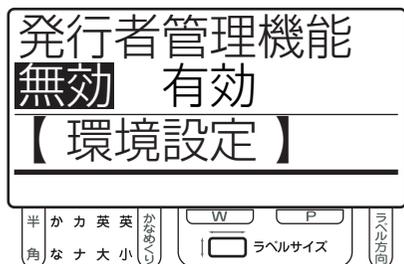
● 発行者管理機能を有効にするには、予め発行者名前と発行者 ID を一覧したファイルを作成し、メモリカードに登録しておく必要があります。

詳しくは、楽らくラベル PDF マニュアルを参照してください。

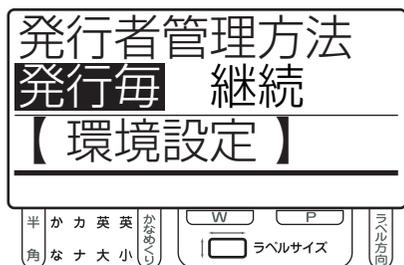
メモ

● この機能の「有効」／「無効」を設定変更するには、本機にパスワードが設定されている必要があります。

89ページ

❶「分類選択」画面で［環境］キーを押します。

❷ **カーソルキー（[↑]、[↓]）で目的の設定画面を選択します。**

❸ **カーソルキー（[←]、[→]）で設定を選択し、[確定］キーを押します。**

［確定］キーを押した時点で設定が保存され、次の「発行者管理方法」画面に切り替わります。

- 無効　：発行者管理機能は使いません。
- 有効　：発行者管理機能を有効にします。

❹ **カーソルキー（[←]、[→]）で設定を選択し、[確定］キーを押します。**

［確定］キーを押した時点で設定は保存されます。次の設定項目に表示が切り替わります。

- 発行毎：ラベル発行毎に、発行者のID入力を求めます。
- 継続　：一度IDを入力すると、ログアウトするまで同一の発行者がラベルを発行するものと見なします。

- 発行者管理方法を「継続」に設定した場合、ラベル発行が終了したら次の操作でログアウトします。

1. ［環境］キーを押します。
   次の画面が表示されます。

2. カーソルキー（[←]、[→]）で「しない」を選択し、［確定］キーを押します。
   これでIDの継続が終了します。

- 発行者の名前とIDを一覧したファイルは、パソコンの表計算ソフトで作成することができます。
  下例の様に、発行者ID（半角英字、数字８桁）と発行者名の一覧を作り、usrlst.cvsというファイル名でcvs形式で保存します。

	A	B
1	発行者ID	発行者名
2	ABC12345	松楠　太郎
3	12345678	松楠　太郎
4	ABCD1234	松楠　太郎
5		

メモリカードのルートにLP_UseMngという名前のフォルダを作り、その中に作成したusrlst.cvsをコピーします。

バーコードのガードバー表示

バーコードJAN8/JAN13に対してガードバーの印刷設定を行います。
楽らくラベル側の設定によらずスタンドアロンモードで固定的にガードバー印刷の「あり」／「なし」を設定できます。

❶「分類選択」画面で［環境］キーを押します。

❷ カーソルキー（［↑］、［↓］）で目的の設定画面を選択します。

❸ カーソルキー（［←］、［→］）で設定を選択し、［確定］キーを押します。

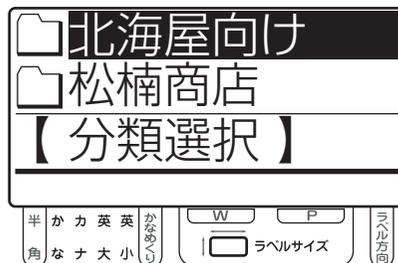
［確定］キーを押した時点で設定は保存されます。次の設定項目に表示が切り替わります。

- あり　：常にガードバーを印刷します。
- なし　：ガードバーは印刷しません。
- 自動　：自動で印刷します。

メモ

● 楽らくラベルで複数のバーコードを入力し、バーコード毎にガードバーの「あり」／「なし」設定で印字する場合は、「自動」を選択してください。

キー音

専用キーボードのキーを押すたびに音を出すかどうかを設定します。
お買い上げ時の設定は「あり」です。

❶「分類選択」画面で［環境］キーを押します。

❷ カーソルキー（［↑］、［↓］）で目的の設定画面を選択します。

❸ カーソルキー（［←］、［→］）で設定を選択し、［確定］キーを押します。

［確定］キーを押した時点で設定は保存されます。次の設定項目に表示が切り替わります。

- あり　：キーを押すたびに「ピッ」と鳴らします。
- なし　：キーの音を鳴らしません。

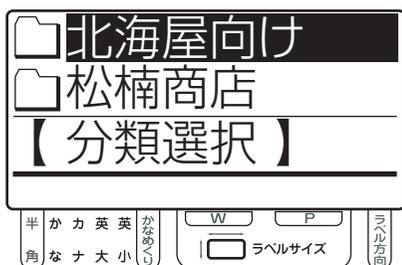
❹ 続けて他の環境設定を行うときは、カーソルキー（［↑］、［↓］）で他の設定項目に移動できます。設定を終えるときは、［取消］キーを押します。

［取消］キーを押すと、「分類選択」画面に戻ります。

メモ

● 手順3で［確定］を押さずに［↑］［↓］キーで項目を移動した場合や、［取消］キーを押した場合には変更内容が保存されません。

入力初期モード

専用キーボードから文字を入力するときの、初期の入力モードを設定します。
お買い上げ時の設定は「半英（半角の英大文字）」です。

❶「分類選択」画面で［環境］キーを押します。

❷ カーソルキー（［↑］、［↓］）で目的の設定画面を選択します。

❸ カーソルキー（［←］、［→］）で設定を選択し、［確定］キーを押します。

［確定］キーを押した時点で設定は保存されます。次の設定項目に表示が切り替わります。

- 半英　：半角の英大文字入力モードにします。
- 全英　：全角の英大文字入力モードにします。
- かな　：かな入力モードにします。

❹ 続けて他の環境設定を行うときは、カーソルキー（［↑］、［↓］）で他の設定項目に移動できます。設定を終えるときは、［取消］キーを押します。

［取消］キーを押すと、「分類選択」画面に戻ります。

● 手順3で［確定］を押さずに［↑］［↓］キーで項目を移動した場合や、［取消］キーを押した場合には変更内容が保存されません。

設定値の保存

設定機能（印刷設定／環境設定／日時設定）で設定した内容を、メモリカード（CF）に保存します。メモリカードに保存した設定を読み込んで、専用キーボードを設定することもできます。
複数の専用キーボードを同じ設定で使用したいときに便利です。

❶「分類選択」画面で［環境］キーを押します。

❷ カーソルキー（［↑］、［↓］）で目的の設定画面を選択します。

❸ カーソルキー（［←］、［→］）で項目を選択し、［確定］キーを押します。

保存または読込みが終了すると、元の画面に戻ります。

- 保存　：「印刷設定」「環境設定」「日時設定」で設定したそれぞれの項目の内容を、メモリカードに保存します。
- 読込み：メモリカードに保存されている設定ファイルを、専用キーボードに読み込んで設定します。

❹ **続けて他の環境設定を行うときは、カーソルキー（[↑]、[↓]）で他の設定項目に移動できます。設定を終えるときは、［取消］キーを押します。**

［取消］キーを押すと、「分類選択」画面に戻ります。

メモ

- 手順3で［確定］を押さずに［↑］［↓］キーで項目を移動した場合や、［取消］キーを押した場合には変更内容が保存されません。
- 設定値を保存すると、メモリカード内のLP100フォルダに、「設定値.bin」ファイルが作成されます。

バージョン表示

専用キーボードのファームウェアのバージョンを表示します。

❶ **「分類選択」画面で［環境］キーを押します。**

❷ **カーソルキー（[↑]、[↓]）で目的の設定画面を選択します。**

「バージョン表示」画面でバージョンを確認できます。

❸ **続けて他の環境設定を行うときは、カーソルキー（[↑]、[↓]）で他の設定項目に移動できます。設定を終えるときは、［取消］キーを押します。**

［取消］キーを押すと、「分類選択」画面に戻ります。

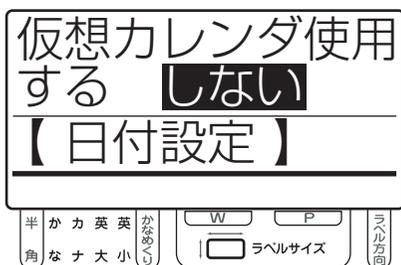
5.4 日付設定でできること

仮想カレンダ

明日の分の賞味期限の入ったラベルを今日印刷しておきたい場合など、一時的に専用キーボードの時計設定を変更したいときに設定します。お買い上げ時の設定は「しない」です。

❶「分類選択」画面で［シフト］キーを押しながら［1］（日付）キーを押します。

❷ カーソルキー（［↑］、［↓］）で目的の設定画面を選択します。

ここでは、最初に表示されるのが「仮想カレンダ使用」画面なので、そのまま手順3に進みます。

❸ カーソルキー（［←］、［→］）で設定を選択し、［確定］キーを押します。

［確定］キーを押した時点で設定は保存されます。次の設定項目に表示が切り替わります。

- する　：ラベルの発行時に仮想カレンダを設定して、その日時を元に賞味期限などを計算します。
- しない：ラベルの発行時に専用キーボードの内蔵時計を使用して、その日時を元に賞味期限などを計算します。

❹ 続けて他の日付設定を行うときは、カーソルキー（［↑］、［↓］）で他の設定項目に移動できます。設定を終えるときは、［取消］キーを押します。

［取消］キーを押すと、「分類選択」画面に戻ります。

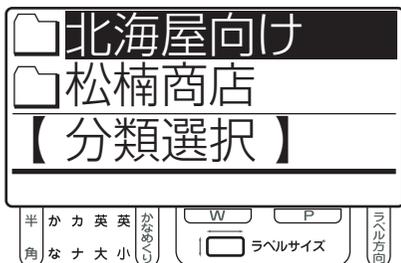
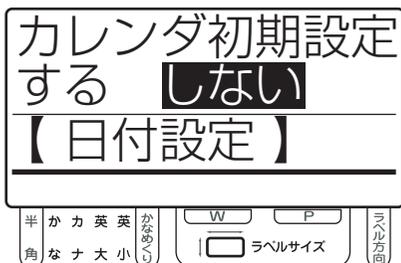
メモ

- 手順3で［確定］を押さずに［↑］［↓］キーで項目を移動した場合や、［取消］キーを押した場合には変更内容が保存されません。
- 仮想カレンダを使用した場合も、ラベルの発行記録は実際に発行した日に集計されます。
- この設定は電源をOFFにするまで有効です。次に電源をONにしたときに仮想カレンダを使いたい場合は、「カレンダ初期設定」を「する」にします。

参照　83ページ

カレンダ初期設定

仮想カレンダをよく使う場合、電源 ON 時に仮想カレンダを使用する設定にします。
通常は電源をOFFにするたびに仮想カレンダは使用しない設定になりますが、「カレンダ初期設定」を「する」に設定した場合は、常に仮想カレンダを使用することができます。
お買い上げ時の設定は「しない」です。

1 「分類選択」画面で［シフト］キーを押しながら［1］（日付）キーを押します。

2 カーソルキー（［↑］、［↓］）で目的の設定画面を選択します。

3 カーソルキー（［←］、［→］）で設定を選択し、［確定］キーを押します。

［確定］キーを押した時点で設定は保存されます。次の設定項目に表示が切り替わります。

- する　：電源をONにしたときに、自動的に仮想カレンダを使用する設定にします。
- しない：電源をONにしたときに、自動的に仮想カレンダを使用しない設定にします。

4 続けて他の日付設定を行うときは、カーソルキー（［↑］、［↓］）で他の設定項目に移動できます。設定を終えるときは、［取消］キーを押します。

［取消］キーを押すと、「分類選択」画面に戻ります。

メモ

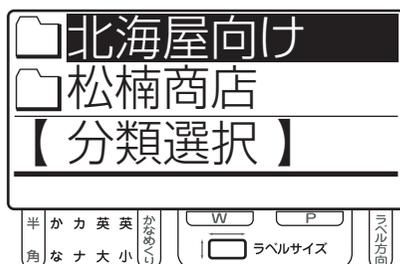
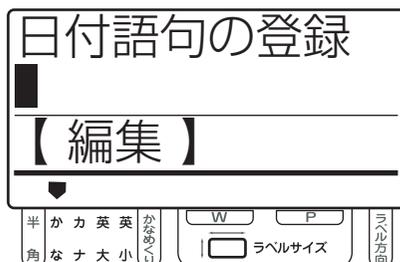
- 手順3で［確定］を押さずに［↑］［↓］キーで項目を移動した場合や、［取消］キーを押した場合には変更内容が保存されません。

日付語句の登録

専用キーボードには、日時の代わりに印字する語句として、次の語句が登録されています。

- 「枠外上部に記載」
- 「枠外下部に記載」
- 「フタに記載」
- 「空白」

これら以外の語句を印字したい場合に、最大全角8文字まで入力して日付語句を登録できます。

1 「分類選択」画面で［シフト］キーを押しながら［1］（日付）キーを押します。

2 カーソルキー（［↑］、［↓］）で目的の設定画面を選択します。

3 日付語句を入力し、［確定］キーを押します。

［確定］キーを押した時点で設定は保存されます。次の設定項目に表示が切り替わります。

4 続けて他の日付設定を行うときは、カーソルキー（［↑］、［↓］）で他の設定項目に移動できます。設定を終えるときは、［取消］キーを押します。

［取消］キーを押すと、「分類選択」画面に戻ります。

メモ

- 手順3で［確定］を押さずに［↑］［↓］キーで項目を移動した場合や、［取消］キーを押した場合には変更内容が保存されません。

時刻合せ

専用キーボードの内蔵時計の日付、および時刻を設定します。

- 発行記録は日時と連動させて記録を残しています。時刻を変更すると日時と発行記録の整合が取れなくなるため、「時刻合せ」を行った場合には、手順４で発行記録データを消去してください。「時刻合せ」をする前までの発行記録が必要な場合は、あらかじめ発行記録をファイルに保存しておきます。

87ページ

❶「分類選択」画面で［シフト］キーを押しながら［1］（日付）キーを押します。

❷ カーソルキー（［↑］、［↓］）で目的の設定画面を選択します。

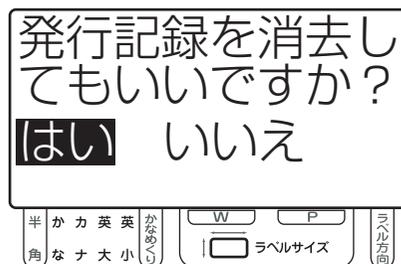
❸ 数字キーで日付と時刻を設定し、［確定］キーを押します。

［確定］キーを押した時点で設定は保存されます。

- **「時刻合せ」画面の操作**

［←］、［→］：入力項目を移動します。
［確定］：修正した日付と時刻を保存します。

❹ 発行記録を消去するかどうか選択します。カーソルキー（［←］、［→］）で設定を選択し、［確定］キーを押します。

「分類選択」画面に戻ります。

- はい　：発行記録を消去して、新しい日付と時刻に更新します。
- いいえ：発行記録を更新しません。

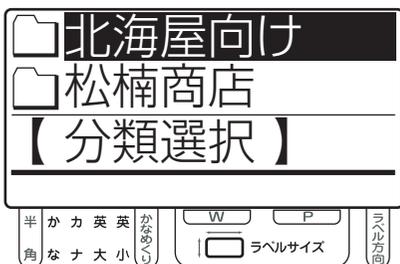
メモ

- 手順3で［確定］を押さずに［↑］［↓］キーで項目を移動した場合や、［取消］キーを押した場合には変更内容が保存されません。
- 時刻合せで設定できる日時は、2000年1月1日～2099年12月31日までです。
- 2月30日など、あり得ない日時を設定すると、エラー画面を表示し、「時刻合せ」画面に戻ります。

5.5 画面設定でできること

コントラスト

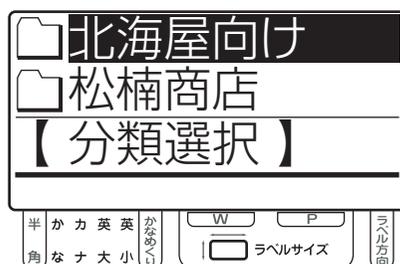
画面の濃さを 32 段階で切り替えることができます。

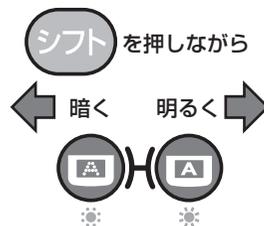
❶「分類選択」画面で［コントラスト］キーを押します。

❷［コントラスト］キーを押して画面のコントラストを調整します。

しばらくすると「分類選択」画面に戻ります。

明るさ

画面の明るさを 32 段階で切り替えることができます。

❶「分類選択」画面で［シフト］キーを押しながら［コントラスト］キーを押します。

❷［シフト］キーを押しながら［コントラスト］キーを押して画面の明るさを調整します。

しばらくすると「分類選択」画面に戻ります。

6 管理機能（発行枚数の管理、発行作業の手順管理）

6.1 専用キーボードからの発行枚数を管理する

発行記録枚数のレポートを印刷する

発行した枚数を日別、週別、月別にレポートを印刷して管理することができます。

● レポートの出力例

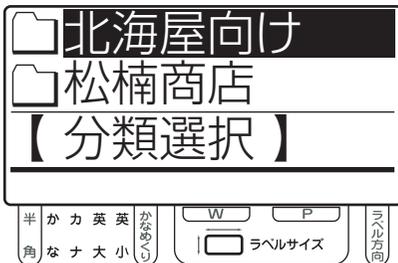
発行記録　月別発行
2006/12/01(金)～2006/12/31(日)
分類＜北海屋向け＞
ﾌｧｲﾙ　　　発行枚数
000001 00000005
000002 00000010
:
000008 00002000
計 01234567 1/1

メモ

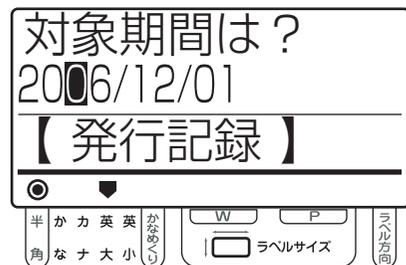
- 日時設定の「時刻合せ」で日付を変更したときに、それまでの発行記録を消去するかどうかを選択できます。

参照　84 ページ

- 予約発行で発行した枚数も含めて記録しています。
- 仮想カレンダを設定しても、発行記録は実際に発行された日付で記録されます。
- 内蔵時計からさかのぼって、最大で 62 日前の発行記録を保存しています。

❶「分類選択」画面で［発行記録］キーを押します。

❷ カーソルキー（[↑]、[↓]）で印刷する期間（月別、週別、日別）を選択し、［確定］キーを押します。

- 月別ファイル印刷 ：
  次の手順で設定する開始年月日からひと月分（翌月の指定日前日まで）の発行記録を印刷します。
  例）3月21日を設定した場合の集計期間は、3 月 21 日～ 4 月 20 日
- 週別ファイル印刷 ：
  次の手順で設定する開始年月日から 7 日分の発行記録を印刷します。
- 日別ファイル印刷 ：
  次の手順で設定する日付の発行記録を印刷します。

❸ 数字キーで対象期間の開始年月日を入力し、［確定］キーを押します。

❹ **用紙の確認画面が表示されます。プリンタの用紙を確認し、［確定］キーを押します。**

該当する発行記録があれば、発行を開始します。発行後、「分類選択」画面に戻ります。

● 用紙サイズによって一枚の用紙に印字できる集計数が変わるため、用紙サイズが小さいほど必要な出力枚数が増えます。

発行記録をファイルに保存する

専用キーボードから発行したラベルの履歴をCSV ファイルに出力できます。
作成したファイルはパソコン上でエクセルなどの表計算ソフトにて編集・加工ができます。

● CSV ファイルの出力例

	A	B	C	D
1	分類名	発行日	ファイル番号	発行枚数
2	北海屋向け	2006/3/21	1	100
3	北海屋向け	2006/3/21	1	500
4	北海屋向け	2006/3/22	3	10
5	北海屋向け	2006/3/22	4	5
6	北海屋向け	2006/3/26	200	20
7	北海屋向け	2006/3/26	201	5
8	:	:	:	:
9	松楠商店	2006/5/19	301	10
10	松楠商店	2006/5/20	303	100
11	松楠商店	2006/5/20	305	50
12	松楠商店	2006/5/20	308	1000
13	松楠商店	2006/5/20	311	20
14	松楠商店	2006/5/20	323	20
15	松楠商店	2006/5/20	334	5

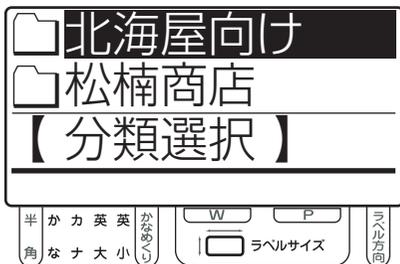
● 日時設定の「時刻合せ」で日付を変更したときに、それまでの発行記録を消去するかどうかを選択できます。

84 ページ

● 予約発行で発行した枚数も含めて記録しています。
● 仮想カレンダを設定しても、発行記録は実際に発行された日付で記録されます。
● CSVファイルには、ファイルを作成した日を含めて最大で 62 日前までの発行記録が保存されます。

❶ CSVファイルを保存するメモリカードを用意し、専用キーボードに挿入します。

● ラベルデータを保存しているメモリカードに保存できます。発行記録のファイルを保存してもラベルデータが失われることはありません。

❷「分類選択」画面で［発行記録］キーを押します。

❸ カーソルキー（[↑]、[↓]）で「CSV ファイル保存」を選択し、［確定］キーを押します。

この場合は、最初に「CSV ファイル保存」が選択されているので、そのまま［確定］を押します。

❹ メモリカード内の LP100 フォルダの中に「LP100MON.csv」ファイルが作成されます。

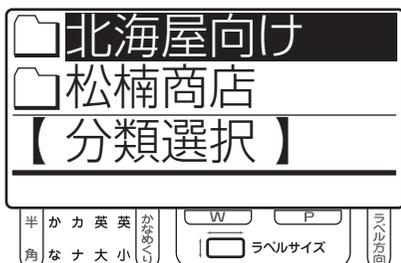
CSV ファイルの出力後、「分類選択」画面に戻ります。

6.2 ラベルの発行手順をカスタマイズする

各種設定のパスワード保護

管理者以外が専用キーボードの設定（印刷設定、環境設定、日付設定）を変更できないようにパスワード保護を設定することができます。

パスワードを設定する

❶「分類選択」画面で［環境］キーを押します。

❷ カーソルキー（［↑］、［↓］）で目的の設定画面を選択します。

❸ パスワードを４文字で設定し、［確定］キーを押します。

［確定］キーを押した時点で設定は保存されます。次の設定項目に表示が切り替わります。

メモ

- パスワードの設定は全角の英数字で行います。
- パスワードを変更したい場合や、パスワードの設定を解除したい場合には、［削除］キーを押して入力内容を削除します。

❹ 続けて他の環境設定を行うときは、カーソルキー（［↑］、［↓］）で他の設定項目に移動できます。設定を終えるときは、［取消］キーを押します。

［取消］キーを押すと、「分類選択」画面に戻ります。

メモ

- 手順３で［確定］を押さずに［↑］［↓］キーで項目を移動した場合や、［取消］キーを押した場合には変更内容が保存されません。

パスワードを入力する

パスワードが設定されている場合、以下の操作を行ったときに「パスワード」画面が表示されます。

- 印刷設定（「分類選択」画面で［印刷設定］キーを押す）
- 環境設定（「分類選択」画面で［環境］キーを押す）
- 日付設定（「分類選択」画面で［シフト］キーを押しながら［1］（日付）キーを押す）

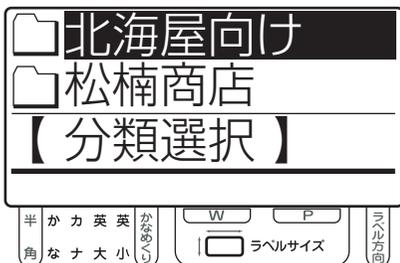
❶「パスワード」画面が表示されたら、４文字のパスワードを入力し、［確定］キーを押します。

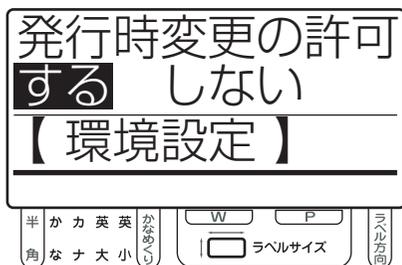
❷ 正しいパスワードを入力すると、各種設定画面が表示されます。

誤ったパスワードを入力した場合はエラーになり、手順１の画面に戻ります。

発行時に文字や日付を変更できなくする

専用キーボードからのラベル発行操作では、楽らくラベルで「発行時変更」を設定した項目の入力画面が表示されます。以下の設定を行なうことで、「発行時変更」項目の表示をしないように設定できます。同時に編集も禁止になります。お買い上げ時の設定は「する」です。

1. 「分類選択」画面で［環境］キーを押します。

2. カーソルキー（［↑］、［↓］）で目的の設定画面を選択します。

   この場合は、最初に表示される画面なので、そのまま手順３に進みます。

3. カーソルキー（［←］、［→］）で設定を選択し、［確定］キーを押します。

   ［確定］キーを押した時点で設定は保存されます。次の設定項目に表示が切り替わります。

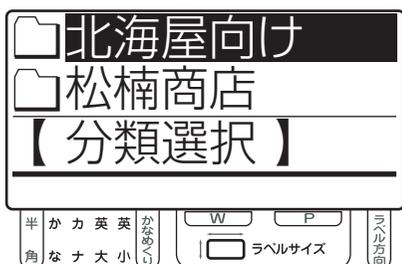
   - する　：ラベル発行時に、発行時変更が設定されている項目を表示します。
   - しない：発行時にラベルの変更を行いません。

4. 続けて他の環境設定を行うときは、カーソルキー（［↑］、［↓］）で他の設定項目に移動できます。設定を終えるときは、［取消］キーを押します。

   ［取消］キーを押すと、「分類選択」画面に戻ります。

- 手順3で［確定］を押さずに［↑］［↓］キーで項目を移動した場合や、［取消］キーを押した場合には変更内容が保存されません。

同じラベルを繰り返し発行する

ラベル発行後の画面の戻り先を設定します。戻り先を「項目」に設定すると、同じラベルを繰り返し発行したい場合に便利です。
お買いあげ時の設定は「ファイル」です。

❶ **「分類選択」画面で［環境］キーを押します。**

❷ **カーソルキー（[↑]、[↓]）で目的の設定画面を選択します。**

❸ **カーソルキー（[←]、[→]）で設定を選択し、［確定］キーを押します。**
［確定］キーを押した時点で設定は保存されます。次の設定項目に表示が切り替わります。

- ファイル ： ラベル発行後、「ファイル選択」画面で発行したファイルを表示します。
- 項目 ： ラベル発行後、発行したファイルの「発行時変更」可能な先頭の項目を表示します。

❹ **続けて他の環境設定を行うときは、カーソルキー（[↑]、[↓]）で他の設定項目に移動できます。設定を終えるときは、［取消］キーを押します。**
［取消］キーを押すと、「分類選択」画面に戻ります。

メモ

● **手順3で［確定］を押さずに［↑］［↓］キーで項目を移動した場合や、［取消］キーを押した場合には変更内容が保存されません。**

スキャナの使いかた

オプションのバーコードスキャナを使うと、リンク枠を設定しているラベルデータで入力の手間やミスを防ぐことができます。専用キーボードに接続した専用バーコードスキャナで、バーコードを読み取ってリンク枠データを入力します。

メモ

● **接続できるバーコードスキャナについては、販売店または当社営業までお問い合わせください。**

スキャナ入力使用時の設定や条件

バーコードスキャナを使ってデータを入力する際の、基本設定と条件は以下のとおりです。

● ラベルデータの制限
リストデータと関連付けたリンク枠のあるラベルデータである必要があります。
リストデータもメモリカードに書き込まれている必要があります。

詳しくは「楽らくラベル PDF マニュアル」の「リンク枠を使ってラベルを発行する」を参照してください。

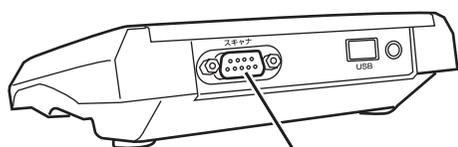
● 専用キーボードの設定
基本的な設定は下表のように設定してください。この設定は、リストデータと関連付けたラベルデータの発行を想定しています。

設定項目	設定内容	参照ページ
スキャナ入力確認	「自動」	92
発行時枚数表示	「しない」	77
発行後の戻り先	「項目」	91

この設定で以下のような作業が可能となります。
(1) スキャナでバーコードを読み込みます。
(2) 2秒間読み取りデータの確認画面が表示された後、ラベルがあらかじめ設定した枚数発行されます。
(3) 発行が終了すると、発行したラベルデータの先頭の項目に戻り、(1)に戻って読み込みを続けることができます。

スキャナを接続する

❶ 専用キーボードの電源を OFF にします。

❷ 背面のスキャナコネクタにスキャナを接続し、コネクタのビスで固定します。

❸ 専用キーボードの電源を ON にします。

スキャナ入力の確定条件を設定する

オプションのスキャナを使ってデータを入力するときの読み込みデータの確定条件を設定します。お買い上げ時の設定は「自動」です。

❶「分類選択」画面で［環境］キーを押します。

❷ カーソルキー（［↑］、［↓］）で目的の設定画面を選択します。

❸ カーソルキー（［←］、［→］）で設定を選択し、［確定］キーを押します。

［確定］キーを押した時点で設定は保存されます。次の設定項目に表示が切り替わります。

- 自動　：スキャナからの入力を読み込んで2秒後に、自動的に次の項目へ移ります。
- 確定キー：スキャナからの入力後、［確定］キーが押されるまで次の項目に移りません。

❹ 続けて他の環境設定を行うときは、カーソルキー（［↑］、［↓］）で他の設定項目に移動できます。設定を終えるときは、［取消］キーを押します。

［取消］キーを押すと、「分類選択」画面に戻ります。

メモ

● 手順3で［確定］を押さずに［↑］［↓］キーで項目を移動した場合や、［取消］キーを押した場合には変更内容が保存されません。

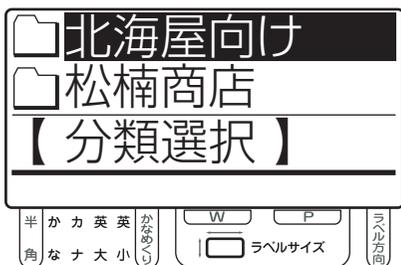
メモ

● この設定を行う前に、スキャナ機能設定を行ってください。

CODE39 バーコードの読込設定

読み込むバーコードが CODE39 の場合、バーコードにチェックデジットがあるかどうかを設定します。

お買い上げ時の設定は「C/D あり」です。

❶ **「分類選択」画面で［環境設定］キーを押します。**

❷ **カーソルキー（［↑］、［↓］）で目的の設定画面を選択します。**

❸ **カーソルキー（［←］、［→］）で設定を選択し、［確定］キーを押します。**

［確定］キーを押した時点で設定は保存されます。次の設定項目に表示が切り替わります。

- C/D あり ： チェックデジット付きのバーコードを読み込みます。
- なし ： チェックデジットの無いバーコードを読み込みます。

❹ **続けて他の環境設定を行うときは、カーソルキー（［↑］、［↓］）で他の設定項目に移動できます。設定を終えるときは、［取消］キーを押します。**

［取消］キーを押すと、「分類選択」画面に戻ります。

メモ

- 手順3で［確定］を押さずに［↑］［↓］キーで項目を移動した場合や、［取消］キーを押した場合には変更内容が保存されません。

7 こんなときは

エラー表示と対処方法

LCD 画面に次のエラーメッセージが表示されたときは、下表に従って対処してください。

エラー番号	エラーメッセージ	エラーの原因と対処方法
100	最大入力文字数は２５６文字です	256 文字を超える文字を入力しました。
101	設定文字数を超えました	入力できる文字数を超えました。保存ファイル名は 24 文字以内、日付語句は 8 文字以内で入力してください。
102	設定文字数に足りません	バーコードなどが必要桁数に足りません。「楽らくラベル」で設定した桁数で入力してください。
103	入力した日付は存在しません	ありえない日付・時刻を入力しました。
104	現在日以降の日を入力してください	仮想カレンダの入力で、現在日付より前の年月日を入力しました。
106	最大発行合計枚数は９９９９枚です	一度に発行する合計枚数が 9999 枚を超えました。発行枚数か連番カウント、または予約ファイル数を減らしてください。
107	アンダーラインの設定が不正です	アンダーラインの設定が 2 個対になっていません。
108	上付き／下付きの設定が不正です	上付き／下付きの設定が 2 個対になっていません。
109	上付き／下付きは数字のみ可能です	上付き／下付きの対の中に数字以外の文字が設定されています。
111	予約ファイルは２０までです	21 ファイル目を追加しようとしました。一旦印刷するか、いらない予約ファイルを削除してください。
112	用紙サイズが違い予約できません	予約の追加に用紙サイズの異なるファイルを選択しました。
113	予約ファイルがありません	予約ファイルがないときに［予約発行］キーを押しました。
115	入力できない文字が入力されました	発行枚数に 0 を入力しました。発行枚数は 1 ～ 9999 枚を入力してください。

エラー番号	エラーメッセージ	エラーの原因と対処方法
116	専用のスキャナを接続してください	スキャナコネクタに他の機器を接続しました。
117	編集できる項目がありません	編集できるオブジェクトが存在しません。「楽らくラベル」でデータを作成するときに、編集したいオブジェクトのプロパティで[本体で編集する] にチェックを入れてください。
118	変更禁止に設定されています	「発行時変更の許可」を「しない」設定になっています。 設定を「する」に変更してください。
119	そのＪＩＳコードはありません	入力したJIS コードに該当する文字データがありません。
120	有効な分類がありません	メモリカード内に「LP100」フォルダおよびサブフォルダ（任意の名前）が存在しません。
121	指定のファイルがありません	指定したファイル番号が存在しません。専用キーボードで名前が表示されるファイルを選択してください。
122	該当するファイルがありません	有効なファイルが存在しないか、あるいは壊れています。「楽らくラベル」で再度「メモリカードへの書出し」を行ってください。
123	該当するリストがありません	リンクに対応するリストファイルが存在しません。「楽らくラベル」で再度ファイルを作成してください。このとき関連付けるデータベースは、編集データを保存している同じフォルダ内にコピーしてお使いください。
125	メモリカードが抜かれました	メモリカードが［メモリカード取出し］キーのLED 点灯時に抜かれました。データが壊れている恐れがあります。
126	メモリカードにアクセスできません	メモリカードが物理的に壊れています。新しいメモリカードにデータを書き出してセットしてください。
127	有効なメモリカードではありません	メモリカード内のデータ・ファイルが壊れているか、またはフォーマットが違います。メモリカードをFATでフォーマットしてから、「楽らくラベル」でファイルを作成しなおしてください。
129	カードの空き容量が不足しています	メモリカードに作業上必要な空き容量が足りません。パソコンでエクスプローラを使用して、いらないファイルを削除してください。
130	過去２ヶ月以内を指定してください	発行記録の印字開始日に今日から2ヶ月以上前の日付、または明日以降の日付を指定しました。
131	パスワードが正しくありません	登録したパスワードと異なります。

エラー番号	エラーメッセージ	エラーの原因と対処方法
132	スキャナの接続が正しくありません	専用スキャナ、または専用キーボードのスキャナコネクタの破損が考えられます。修理が必要です。
133	バーコードが正しくありません	スキャナで読み取ったデータが指定外の文字でした。スキャナで読み取り可能なバーコードを使用してください。
199	用紙を正しく設定できません	用紙認識ができませんでした。
200	枚数が不足する可能性があります	プリンタにセットしているラベルの残り枚数より、発行枚数を多く設定しています。
201	ラベルサイズが異なります	プリンタにセットしているラベルと異なるサイズのラベルを発行しようとしました。ラベルを交換してください。
300	ラベルがセットされていません	プリンタにラベルがセットされていないか、ロールホルダが正常に取り付けられていません。ラベルを正しくセットしてください。
301	用紙なし	ラベルが無くなりました。新しいラベルをセットしてください。
302	ドアカバーが開いています	カバーが閉じている状態で発行を行おうとしました。プリンタのカバー（トップカバー）を閉じてから発行してください。
303	リボンなし	リボンが正しくセットされていません。「ラベルプリンタ取扱説明書」を参照して、リボンを正しくセットしてください。
304	送れません	紙詰まりなどによる用紙搬送上のトラブルです。プリンタのトップカバーを開け、ラベルの先頭数枚を引き出してから再度発行してください。改善しない場合は新しいラベルに交換してください。
305	カッターが正常に動作していません	カッターが原点にありません（戻っていません）。カッターの動作経路にカスなどが付着していれば除去してください。改善しない場合は修理が必要です。
306	ヘッドが放熱中、お待ちください	プリンタヘッドが高温になっています。そのままお待ちください。ヘッド温度が下がると、自動的に発行を再開します。
307	電源放熱中、お待ちください	AC（バッテリー）電源が一定温度以上になりました。そのままお待ちください。電源温度が下がると、自動的に発行を再開します。
401	受信したデータが異常です	通信エラーです（パソコンから受信したデータが正常ではありません）。パソコンとの接続（USB、LAN）を確認するか、またはパソコンを再起動してから発行しなおしてください。

エラー番号	エラーメッセージ	エラーの原因と対処方法
402	受信中にデータが途絶えました	通信タイムアウトエラーです(パソコンから受信したデータが途中で途絶えました)。パソコンを再起動してから発行しなおすか、パソコンの設定を変更してください。
403	電池の残量がありません	バッテリー残量が一定量以下になりました。 バッテリーユニットを充電してください。
404	ヘッド温度が異常です	電源 ON 時・発行時にヘッド温度が使用範囲外になりました。 プリンタが使用可能温度になるまで放置してください。
500	印字抜けエラー	発行時に印刷範囲のヘッド素子の破損を検出しました。印字抜けのおそれがあるため、ヘッドユニットを交換してください。
501	ヘッド素子が壊れています	電源ON時にヘッド素子の破損を検出しました。印字抜けのおそれがあるため、ヘッドユニットを交換してください。
502	プリンタヘッドが壊れています	プリンタヘッドが壊れています。ヘッドユニットを交換してください。

故障かなと思う前に

現　象	確認してください	対応のしかた	参照ページ
電源が入らない	電源コードがコンセントにしっかり差し込まれていますか。	電源コードをコンセントにしっかり差し込み、再度電源をONにしてください。	23,29
	LED ランプが点灯していますか。	点灯している場合、LCD ディスプレイの輝度が薄くなっている場合があります。LCD 濃度を調整してください。	29
プリンタが動作しない（パソコンから発行する場合）	付属ケーブル（USB ケーブル）が正しく接続されていますか。	付属ケーブルの接続を確認してください。	23
	パソコンのプリンタ設定が正しく設定されていますか。	「楽らくラベル」の設定で、出力プリンタの設定を「MAX LP-100R（接続機種名）」に設定してください。	「楽らくラベル取扱説明書」を参照してください。
きれいに印字されない	印字がかすれたり、尾を引いたりギザギザが出ていませんか。	パソコンからの出力の場合、プリンタドライバの設定（楽らくラベル：ファイル－発行－プロパティ）で印字濃度調整を行ってください。	「楽らくラベル取扱説明書」を参照してください。
		専用キーボードからの出力の場合、印刷設定で印字濃度調整を行ってください。	71
	ラベル表面にホコリ・ゴミ等が付着していませんか。	プリンタ内部にゴミ・ホコリ等がある場合は除去してからラベルをセットしてください。	8
	感熱紙をお使いの場合、ラベルが黄変していませんか。	直射日光の当たる所や高温になるところに保管すると、ラベルが感光し、正常な印字が出来なくなります。 ※　ラベルは冷暗所に保管してください。	8
	ヘッドまたはプラテンが汚れていませんか。	プリンタヘッドは、付属のヘッドクリーナでクリーニングしてください。 プラテンローラは、乾いた布でクリーニングしてください。	「ラベルプリンタ取扱説明書」を参照してください。
印字がきれる	正しくラベル紙がセットされていますか。	再度、ラベル紙をセットしなおしてください。	「ラベルプリンタ取扱説明書」を参照してください。
	印字位置がずれていませんか。	印刷設定で印字位置調整を行ってください。	72
印字されずにシートを送るラベル紙を送らない	用紙ガイドの位置がずれていませんか。	用紙ガイドを正しい位置にあわせてください。	「ラベルプリンタ取扱説明書」を参照してください。
	ヘッドユニットがきちんと閉じられていますか。	ヘッドユニットをしっかりと閉じてください。 電源を再度入れ直してください。	

現　象	確認してください	対応のしかた	参照ページ
ラベル紙が詰まる	ヘッドユニットがきちんと閉じられていますか。 ラベルはきちんとセットされていますか。	① 電源をOFF にし、詰まったラベル紙を取り除きます。 ② よれたラベル紙は切り落とし、再度ラベル紙をセットします。 ③ ヘッドユニットをしっかり閉じて、電源をON にします。	「ラベルプリンタ取扱説明書」を参照してください。
	（プリンタに剥離ユニットが装着されている場合） 剥離ユニットにラベル紙をセットしたまま、用紙認識動作を行っていませんか。	① 電源をOFF にし、詰まったラベル紙を取り除きます。 ② よれたラベル紙は切り落とし、再度ラベル紙をセットします。	－
	（プリンタにオートカッターユニットが装着されている場合） カッターがプリンタ正面から見て右側にありますか。	① 電源をOFF にし、詰まったラベル紙を取り除きます。 ② よれたラベル紙は切り落とし、再度ラベル紙をセットします。 ③ 電源をON にします。	－
ラベルをカットしてしまう	カット位置調整がずれています。	カット位置調整を行ってください。	「ラベルプリンタ取扱説明書」を参照してください。
メモリカード（CF）にデータが書き出せない	CF ドライブの位置は設定しましたか。	「楽らくラベル」を起動し、「ファイル」－「設定」－（保存先）「メモリカード」の設定をしてください。	「楽らくラベル取扱説明書」を参照してください。
スキャナが使えない	電源ON 時にスキャナを接続しましたか。	電源をOFF にして、再度電源を入れなおしてください。	92
ラベルが剥離できない	剥離紙セットの位置が適切ですか。 剥離紙にたわみがあり、ラベルと一緒に排出されていませんか。	剥離紙を再度セットしてください。	－
	剥離機能が「有効」になっていますか。	剥離機能を「有効」に設定してください。	75 「ラベルプリンタ取扱説明書」を参照してください。
	上記以外の場合	剥離機能を「有効」に設定し、印刷速度を「中速」にしてください。「高速」に設定していると、ラベル紙や使用環境によっては、剥離できない場合があります。	73,75
ラベルの中央に印字されない	ラベル紙はプリンタ正面から見て左側のガイドに合っていますか。	ラベル紙を左側のガイドに押し当ててセットし、用紙ホルダガイドで押さえてください。	「ラベルプリンタ取扱説明書」を参照してください。
	ラベル紙をプリンタ正面から見て左側のガイドに合わせたときに、右側の可変用紙ガイドの位置が正しくセットされていますか。	可変用紙ガイドをスライドさせ、正しい位置にセットしてください。	

ソフトウェアのトラブル

パソコンにプリンタを接続して電源を入れても、「新しいハードウェアの検出ウィザード」が表示されない

［取消］ボタンをクリック後、下記に従って再度プリンタドライバをインストールしてください。

付属ケーブルを延長している場合

次の手順で、再インストールを行なってください。

お願い

- あらかじめ、すべてのソフトを終了してください。

❶ 2m以内の長さのUSBケーブルをご用意ください。

❷ 再度インストールを行なってください。

プリンタドライバのインストールについては、「ラベルプリンタ取扱説明書」を参照してください。

USBハブをご使用の場合

次の手順で、再インストールを行なってください。

お願い

- あらかじめ、すべてのソフトを終了してください。

❶ 再度インストールを行なってください。

- このとき、接続の際に直接パソコンのUSBコネクタに付属ケーブルを接続してください。

  いくつかUSBコネクタがある場合は、他のUSBコネクタに接続してみてください。

  （パソコンの機種によっては、パソコン本体に装備されているUSBコネクタがすでにハブとなっているものがあります。）

プリンタドライバのインストールについては、「ラベルプリンタ取扱説明書」を参照してください。

画面上に指示がある前に、誤って付属ケーブルを接続してしまった場合

次の手順で、再インストールを行なってください。

お願い

- あらかじめ、すべてのソフトを終了してください。

❶ 「デバイスマネージャ」を起動します。

❷ パソコンにプリンタを接続し、電源をONにします。

❸ 「USB印刷サポート」「不明なデバイス」または「その他のデバイス」としてLP-100Rが表示されることを確認します。

- 例「不明なデバイス（LP-100R）」「USB印刷サポート」のように表示されます。

❹ 接続したときに新たに表示されたデバイスにポインタを合わせ、右クリックします。

❺ ポップアップメニューの「削除」を選びます。

❻ 確認メッセージが表示されたら、「LP-100R」であることを確認し、［OK］をクリックします。

❼ 「デバイスマネージャ」上から削除した「LP-100R」が消えていることを確認し、デバイスマネージャを閉じます。

❽ 付属ケーブルをパソコンから抜きます。

❾ 「楽らくラベル」用CDをパソコンにセットします。

❿ 再度インストールを行なってください。

プリンタドライバのインストールについては、「ラベルプリンタ取扱説明書」を参照してください。

PDF マニュアルが表示できない

■ Adobe Reader がインストールされていない場合

❶ 同梱の CD - ROM から Adobe Reader6.0 をインストールしてください。

■ Adobe Reader6.0をまだ起動したことが無い場合

次の手順で、一度 Adobe Reader を起動してください。

❶ [スタート] – [すべてのプログラム] – [Adobe Reader6.0] を開きます。

❷ 画面の指示に従って、起動します。

8 付録

主な仕様

項　目		仕　様
商品名		LP-100R/LP-100HR 専用キーボード（LP-KB101）
表示部		128 × 64dot グラフィック LCD（バックライト付）
操作部		70 キー、インジケート LED × 1（メモリカード取出しキー）、ブザー
インターフェイス	USB	USB Ver1.1 準拠　プリンタ接続用コネクタ× 1
	スキャナ	専用スキャナ用コネクタ× 1
	メモリカード	CF スロット× 1
対応バーコード	スタンドアロン時	JAN8/13、ITF、CODE39、CODE128、QRCODE
使用環境	温度・湿度	温度５～35℃　湿度 20 ～ 80%（ただし結露しないこと）
	パソコン用編集ソフト	マックス ラベル作成ソフト“楽らくラベル”、“楽らくラベル Pro”
電源		専用 AC アダプタ（LM12407） （入力 : AC100V ± 10%　50/60Hz　出力 : DC12V）
質量		約 500g（AC アダプタ除く）

各種サービス

ラベルデータの加工サービスについて

お客様のご使用になるラベルデータの作成を有償にて承っております。
変更数が多くて手間がかけられないときなど、ご利用ください。
詳しくは最寄りの弊社営業所、またはお客様相談ダイヤルまでお問合せください。

保証書／保守サービス

■ 保証書について

- 保証期間中万一故障した場合、保証記載内容に基づき無償修理いたします。くわしくは保証書をご覧ください。
- 保証期間後の修理はお買い求めの販売店、弊社営業所、又はマックスサービスファクトリー(株)窓口にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご依頼に応じ有償修理いたします。
- 保証書は、同梱されております。付属のお客様アンケートに所定の事項をご記入の上、ご返送ください。

■ 保守サービスについて

- お買い上げの販売店、又は弊社営業所、マックスサービスファクトリー(株)にご相談ください。
- 持ち込み修理：修理品を販売店、又はマックスサービスファクトリー(株)の窓口にお持ち込みください。

付録

お客様登録のおすすめ

マックスのホームページ：http://www.max-ltd.co.jp/op/では、次のようなサービスを無償提供しています。

- 最新ソフトのダウンロード
- メールでのお問い合わせ
- 新製品情報

※この画面は随時変わります。

お願い

- お客様登録をお願いします（画面右にあります）。
- 上記サイトにアクセスし「お客様登録」をクリックすると登録画面になります。

当社では、お客様の個人情報の重要性を深く認識し、お客様からご提供いただきました個人情報を適正に取扱い、その保護の徹底を図ることは当社の社会的責務であると考えております。
個人情報につきましては弊社HPに掲載しているプライバシーポリシーをご覧ください。

お問い合わせいただく前に

お尋ねになる前に、チェックシートを使ってお使いの状況を整理されることをお奨めします。

ご使用のOS	□Windows Vista □Windows XP □Windows 2000
ご使用の機種	□LP-KB100（専用キーボード） □LP-KB101（専用キーボード） □LP-100R（ラベルプリンタ） □LP-100HR（ラベルプリンタ）
ご使用のインターフェイス	□USB □RS232C □パラレル □LAN
接続の状況	接続ケーブルは、パソコン本体とプリンタ（LP-100R/LP-100HR）を直接接続していますか？ (はい ／ いいえ) USBケーブルは2m以内のものをお使いですか？ (はい ／ いいえ)
他のUSB機器接続の状況	他のUSB機器を利用していますか？ (はい ／ いいえ) その機器は正常に動作していますか？ (はい ／ いいえ)
お使いのCDのバージョン	Version ／ ※CDのバージョンはCD表面に記載されています。
お尋ねになりたいこと・症状など具体的に。	

ご不明な点は下記にお問い合わせください：

ホームページ：http://www.max-ltd.co.jp/op/

（お客様登録をお願いします。）
同サイトにアクセスし「お客様登録」をクリックすると登録画面になります。

お客様相談ダイヤル：0120 － 510 － 200

（月～金曜日（祝祭日除く）午前９時～午後６時）

マックス株式会社 オフィスプロダクツ営業部
〒 103 － 8502 東京都中央区日本橋箱崎町６－６

付録

索引

● 修理サービスおよび不明の点はお買い上げの販売店もしくは下記へお問い合わせください。

MAX マックス株式会社

本社・営業本部	〒103-8502	中央区日本橋箱崎町6－6	TEL(03)3669-8108(代)
札幌支店	〒060-0041	札幌市中央区大通東6－12－8	TEL(011)261-7141(代)
仙台支店	〒984-0002	仙台市若林区卸町東2－1－29	TEL(022)236-4121(代)
東京支店	〒103-8502	中央区日本橋箱崎町6－6	TEL(03)3669-8141(代)
名古屋支店	〒461-0025	名古屋市東区徳川1－11－23	TEL(052)935-8531(代)
大阪支店	〒553-0004	大阪市福島区玉川1－3－18	TEL(06)6444-2031(代)
広島支店	〒733-0035	広島市西区南観音7－11－24	TEL(082)291-6331(代)
福岡支店	〒812-0006	福岡市博多区上牟田1－5－1	TEL(092)411-5416(代)
盛岡営業所	〒020-0824	盛岡市東安庭2－10－3	TEL(019)621-3541(代)
千葉営業所	〒284-0001	四街道市大日1870－1	TEL(043)422-7400(代)
群馬営業所	〒371-0844	前橋市古市町233－5	TEL(027)210-7755(代)
長野営業所	〒399-0033	松本市笹賀8155	TEL(0263)26-4377(代)
新潟マックス(株)	〒955-0081	三条市東裏館2－14－28	TEL(0256)34-2140(代)
埼玉マックス(株)	〒331-0044	さいたま市日進町3－421	TEL(048)651-5341(代)
横浜マックス(株)	〒241-0822	横浜市旭区さちが丘7－6	TEL(045)364-5661(代)
静岡マックス(株)	〒422-8036	静岡市駿河区敷地1－3－26	TEL(054)237-6116(代)
金沢マックス(株)	〒921-8061	金沢市森戸2－15	TEL(076)240-1871(代)
岡山マックス(株)	〒700-0971	岡山市野田3－23－28	TEL(086)246-9516(代)
四国マックス(株)	〒761-8056	高松市上天神町761－3	TEL(087)866-5599(代)

マックスサービスファクトリー(株)

札幌	〒060-0041	札幌市中央区大通東6－12－8	TEL(011)231-6487(代)
仙台	〒984-0002	仙台市若林区卸町東2－1－29	TEL(022)237-0778(代)
高崎	〒370-0031	群馬県高崎市上大類町412	TEL(027)350-7820(代)
埼玉	〒330-0038	埼玉県さいたま市宮原町2－99－5	TEL(048)667-6448(代)
名古屋	〒461-0025	名古屋市東区徳川1－11－23	TEL(052)935-8210(代)
大阪	〒553-0004	大阪市福島区玉川1－3－18	TEL(06)6446-0815(代)
広島	〒733-0035	広島市西区南観音7－11－24	TEL(082)291-5670(代)
福岡	〒812-0006	福岡市博多区上牟田1－5－1	TEL(092)451-6430(代)

● 住所、電話番号などは都合により変更になる場合があります。

2008.05 Vol.1